

鴻巣市環境基本計画策定に係る
環境に関するアンケート調査報告書

目次

環境に関するアンケート結果の概要

1 市民アンケート結果	1
問1 回答者自身や家庭のこと.....	1
問2 家庭での省エネルギー・自然エネルギー設備の導入状況について.....	4
問3 日常生活での環境に配慮した取組（行動）について.....	5
問4 身のまわり（小学校区ぐらいの範囲）の生き物について.....	11
問5 身近な環境の満足度について.....	13
問7 鴻巣市の環境を良くしていく取組について.....	20
問8 環境保全に係る活動への参加について.....	22
問9 参加したいと思う環境学習や環境保全活動について.....	23
問10 鴻巣市環境基本計画や市の環境に係る情報などについて.....	26
市民自由記載意見の内容.....	27
2 事業者アンケート結果	37
問1 事業所のこと.....	37
問2 環境マネジメントの実施状況.....	39
問3 鴻巣市環境基本計画など市の環境保全等に関する情報.....	40
問4 環境問題に対する考えについて.....	42
問5 環境にどのような影響を与えているかについて.....	43
問6 活用しているまたは活用していきたい鴻巣市の環境や資源について.....	44
問7 事業所での環境保全対策の取組状況について.....	45
問8 鴻巣市の環境を良くしていく取組について.....	49
問9 地域の環境保全への貢献や協力について.....	51
事業者自由記載意見の内容.....	53
参考資料（調査票）	54
1 調査票（市民アンケート）の内容.....	55
2 調査票（事業者アンケート）の内容.....	61

（注）本調査報告書では、回答割合などを小数点以下または小数点第2位以下を四捨五入して表記しています。そのため、合計が100%、100.0%にならないことがあります。

環境に関するアンケート結果の概要

1 調査の目的

平成 25 年 3 月に策定した「鴻巣市環境基本計画」の改定に向けて、鴻巣市環境基本条例第 10 条第 3 項の規定に基づき、市民・事業者の「鴻巣市の環境」に関する意見や要望などを把握し、計画に反映させ、環境保全の方向性を明らかにするとともに、環境行政を総合的かつ計画的に推進することを目的に調査を実施しています。

2 調査対象と実施方法等

本調査では、平成 24 年度の鴻巣市環境基本計画改訂時において実施した市民・事業者意識調査（以下、「前回調査」という。）での調査対象及び実施方法を踏まえて調査を実施しています。調査内容については、前回調査との比較やその後の環境政策・環境保全等の取組の変化や動向等を考慮して新たに設定を行っています。

		今回の調査	【参考】前回の調査
1) 調査対象	市民	市内に居住する市民 1,000 人 ※平成 29 年 7 月 1 日現在、満 18 歳以上の市民 ※平成 29 年 7 月 1 日現在の住民基本台帳より無作為抽出	市民 1,000 人 ※満 20 歳以上の市民対象 ※年齢階層別男女別に住民基本台帳より無作為抽出
	事業者	市内の事業所 100 社 ※平成 29 年登録台帳より無作為抽出	市内の事業所 100 社
2) 調査方法		郵送による配布回収	郵送による配布回収
3) 調査実施時期		平成 29 年 7 月 14 日（金）から 平成 29 年 7 月 28 日（金）まで	平成 24 年 8 月実施

3 調査結果（回収状況等）

市民及び事業者からの調査票の回収状況は、前回調査より大きく減少しています。この原因として、前回調査は、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災及び福島第一原発事故に伴う放射能汚染など安全安心への関心の高まり、原子力発電の停止による緊急節電など節電・省エネへの意識の高まり、再生可能エネルギーへの期待などが高まっていた時期であること、また、災害廃棄物処理や地球温暖化対策に係る京都議定書の第一約束期間の最終年に当たるなど、さまざまな環境問題が発信されるなど、市民・事業者とも特に関心が高かったと考えられます。

		今回の調査	【参考】前回の調査
1) 市民	①調査票発送数	1,000	1,000
	②宛先不明	2	—
	③調査票回収数	300	563
	④有効回収率	30.1%	回収率 56.3%
2) 事業者	①調査票発送数	100	100
	②宛先不明	5	—
	③調査票回収数	26	63
	④有効回収率	27.4%	回収率 63.0%

1 市民アンケート結果

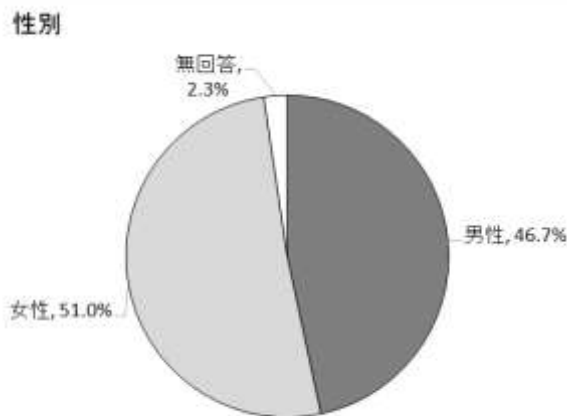
問1 回答者自身や家庭のこと

回答者の属性及び家族構成や住居の状況などについてたずねています。

問1-1) 性別

【単一回答】

選択肢	回答数	割合
男性	140	46.7%
女性	153	51.0%
無回答	7	2.3%
合計	300	100.0%



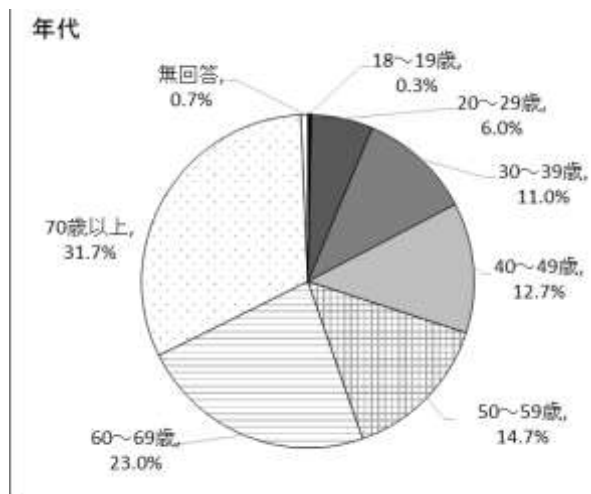
回答者の男性・女性の割合は、ほぼ同じ割合となっています。

なお、前回調査（H24.8 実施）と比べ、男性の割合が 10 ポイント増加しています。

問1-2) 年代

【単一回答】

選択肢	回答数	割合
18～19歳	1	0.3%
20～29歳	18	6.0%
30～39歳	33	11.0%
40～49歳	38	12.7%
50～59歳	44	14.7%
60～70歳	69	23.0%
70歳以上	95	31.7%
無回答	2	0.7%
合計	300	100.0%

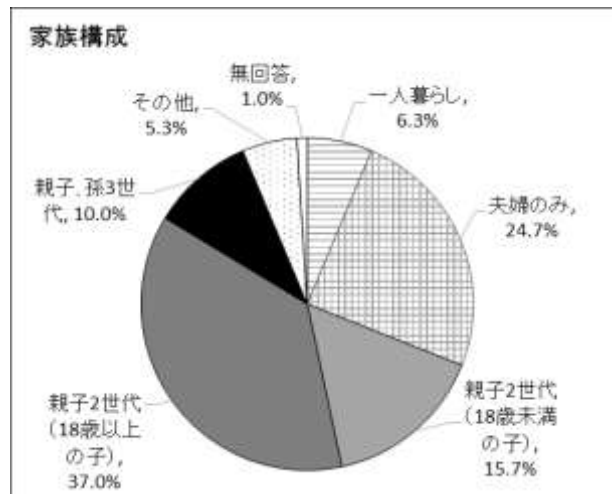


年代では、60歳以上が約55%と過半数を占めており、若い世代ほど回答率が低い状況となっています。この傾向は、前回調査もほぼ同様になっています。なお、今回調査では、60歳代と70歳以上の回答率がそれぞれ5ポイント前後増加しています。

問 1-3) 家族構成

【単一回答】

選択肢	回答数	割合
一人暮らし	19	6.3%
夫婦のみ	74	24.7%
親子2世代 (18歳未満の子)	47	15.7%
親子2世代 (18歳以上の子)	111	37.0%
親子、孫3世代	30	10.0%
その他	16	5.3%
無回答	3	1.0%
合計	300	100.0%



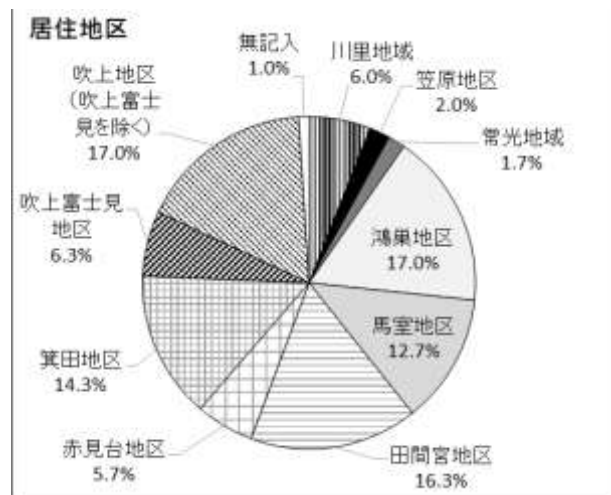
回答者の家族構成では、親子2世代（18歳未満の子、18歳以上の子含む）が約53%と半数以上を占めています。

前回調査と家族構成の割合は、ほぼ同様の傾向を示していますが、親子2世代の割合が7ポイント増加し、反面、親子・孫3世代が3.5ポイント減少となっています。

問 1-4) 居住地域

【単一回答】

選択肢	回答数	割合
川里地域	18	6.0%
笠原地区	6	2.0%
常光地域	5	1.7%
鴻巣地区	51	17.0%
馬室地区	38	12.7%
田間宮地区	49	16.3%
赤見台地区	17	5.7%
箕田地区	43	14.3%
吹上富士見地区	19	6.3%
吹上地区（吹上富士見を除く）	51	17.0%
無回答	3	1.0%
合計	300	100.0%



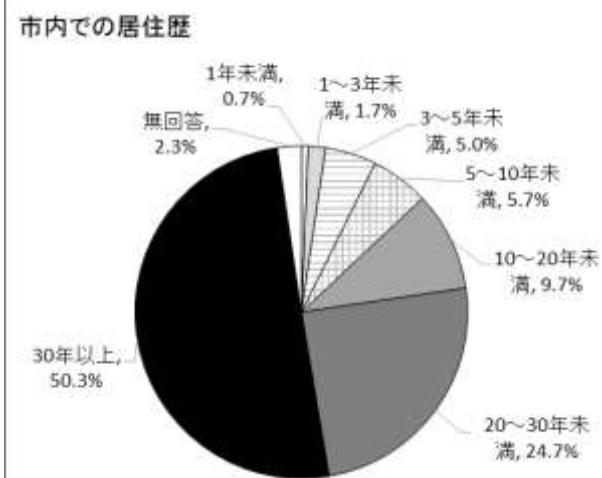
回答者の居住地域では、吹上地区（富士見地区を含む）が23%と最も多く、次いで、鴻巣地区、田間宮地区、箕田地区となっています。

吹上地区や川里地区、笠原地区、常光地区の割合は前回調査とほぼ同じ割合となっています。鴻巣地区は前回調査で26.5%と約4分の1を占めていましたが、今回調査では約10ポイント近く減少し、馬室地区で3ポイント、田間宮地区と赤見台・箕田地区で9ポイント増加となっています。

問 1-5) 市内での居住歴

【単一回答】

選択肢	回答数	割合
1年未満	2	0.7%
1～3年未満	5	1.7%
3～5年未満	15	5.0%
5～10年未満	17	5.7%
10～20年未満	29	9.7%
20～30年未満	74	24.7%
30年以上	151	50.3%
無回答	7	2.3%
合計	300	100.0%



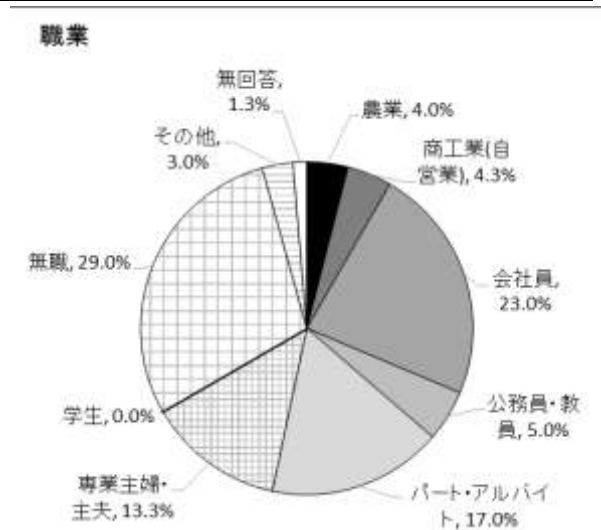
回答者の市内での居住年数は、30年以上が半数を占めており、居住年数が少なくなるにしたがって割合が低下しています。また、20～30年未満も24.7%と約4分の1を占めています。

前回調査と比べ、30年以上が13ポイント、20～30年未満が6ポイント増加しています。反面、大きく減少したのは10～20年未満で9.5ポイント減少し、また、1年未満や1～3年未満でも減少となっています。

問 1-6) 職業

【単一回答】

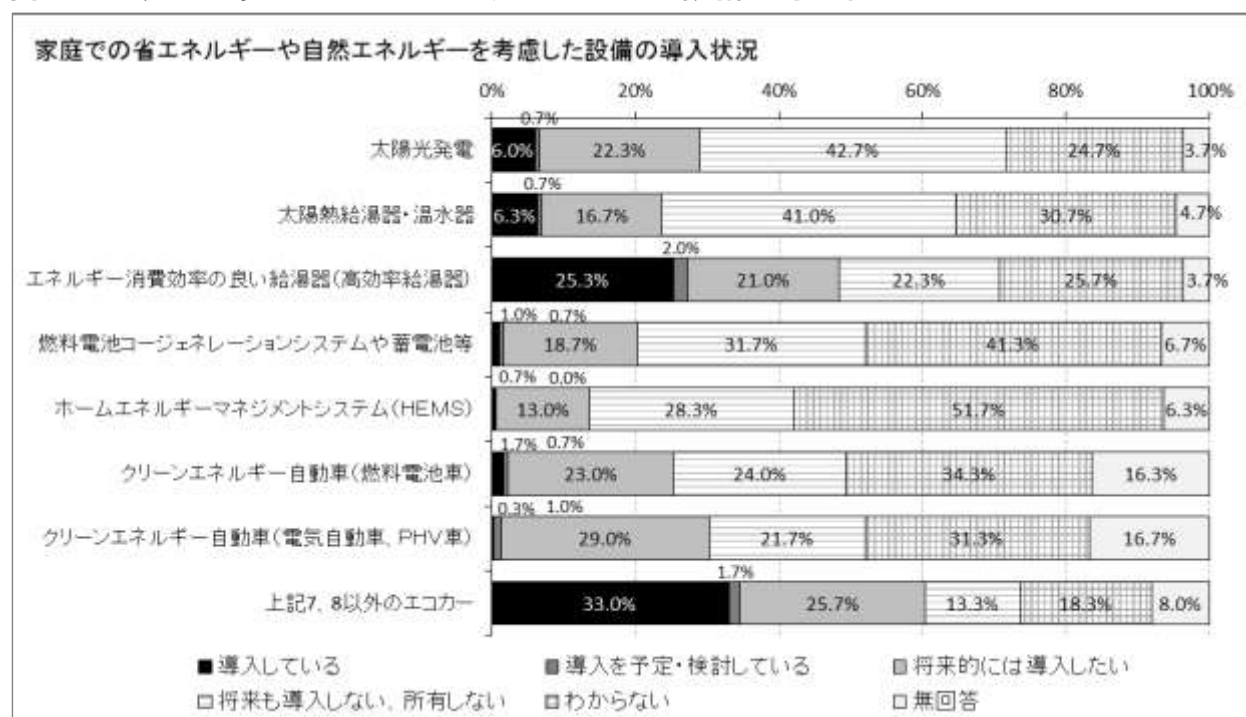
選択肢	回答数	割合
農業	12	4.0%
商工業（自営業）	13	4.3%
会社員	69	23.0%
公務員・教員	15	5.0%
パート・アルバイト	51	17.0%
専業主婦・主夫	40	13.3%
学生	0	0.0%
無職	87	29.0%
その他	9	3.0%
無回答	4	1.3%
合計	300	100.0%



回答者の職業は、無職が約3割と最も多く、次いで、会社員、パート・アルバイト、専業主婦・主夫となっています。無職が多いのは、60歳以上（特に70歳以上）の高齢者の回答が多いことによっています。なお、学生との回答はありませんでした。

前回調査と比べ、無職が約5ポイント、会社員及びパート・アルバイトが共に約4ポイント増加となっています。反面、専業主婦・主夫が10ポイント減少となっています。

問2 家庭での省エネルギー・自然エネルギー設備の導入状況について



(回答数 300)

項目	導入状況	導入している	導入を予定・検討している	将来的には導入したい	将来も導入しない、所有しない	わからない	無回答	合計
1	太陽光発電	6.0%	0.7%	22.3%	42.7%	24.7%	3.7%	100.0%
2	太陽熱給湯器・温水器	6.3%	0.7%	16.7%	41.0%	30.7%	4.7%	100.0%
3	エネルギー消費効率の良い給湯器(高効率給湯器)	25.3%	2.0%	21.0%	22.3%	25.7%	3.7%	100.0%
4	燃料電池コージェネレーションシステムや蓄電池等	1.0%	0.7%	18.7%	31.7%	41.3%	6.7%	100.0%
5	ホームエネルギーマネジメントシステム(HEMS)	0.7%	0.0%	13.0%	28.3%	51.7%	6.3%	100.0%
7	クリーンエネルギー自動車(燃料電池車)	1.7%	0.7%	23.0%	24.0%	34.3%	16.3%	100.0%
8	クリーンエネルギー自動車(電気自動車、PHV車)	0.3%	1.0%	29.0%	21.7%	31.3%	16.7%	100.0%
9	上記7、8以外のエコカー	33.0%	1.7%	25.7%	13.3%	18.3%	8.0%	100.0%

省エネ・自然エネルギー設備やクリーンエネルギーカーの導入状況では、クリーンエネルギー自動車（燃料電池車、電気自動車、PHV）を除くエコカーの導入済みが最も多く、約3分の1の世帯で、次いで、エネルギー消費効率の良い給湯器（高効率給湯器）が約4分の1の家庭で導入されているとなっています。

反面、「将来も導入しない、所有しない」との回答が多かったのは、太陽光発電や太陽熱給湯機・温水器で、それぞれ4割以上を占めています。これらは設備設置費用が高額であることやメンテナンス費用がかかること、高齢世帯における設備投資に対する効果や活用年数などとの関係があると考えられます。

問3 日常生活での環境に配慮した取組（行動）について

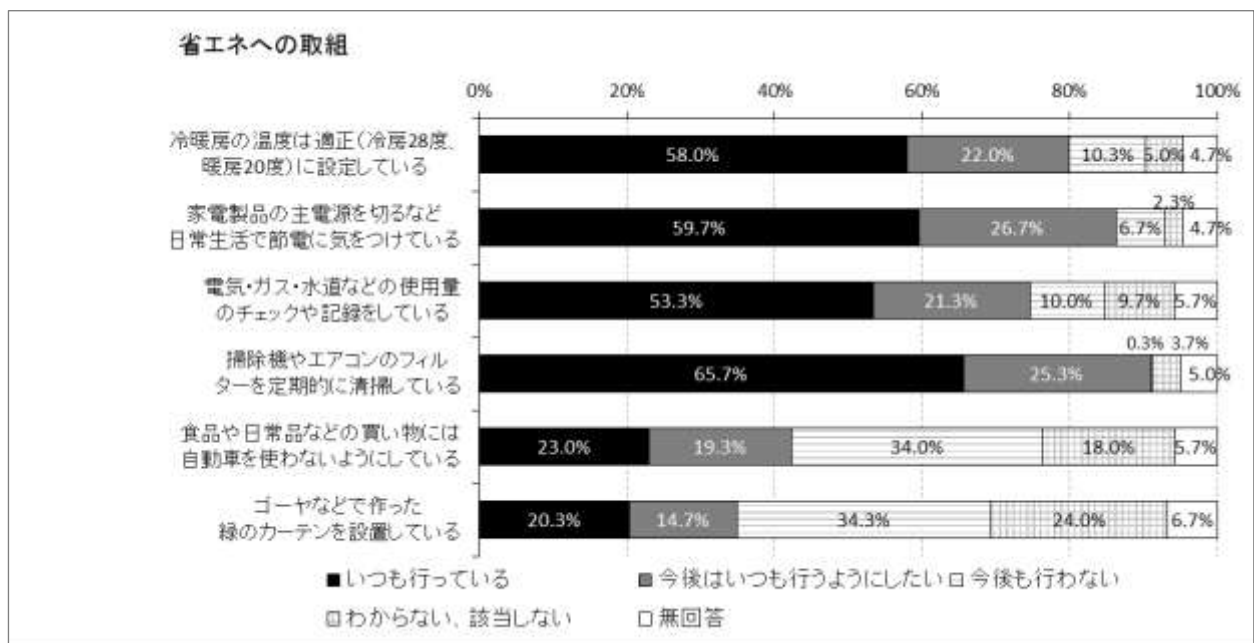
問3では、前回調査とほぼ同じ項目で、それぞれの取組状況を把握しています。

なお、前回調査では、単に「行っている」で聞いているのに対し、今回「いつも行っている」で聞いているため、「いつも」との制約要素が高く、全体的に行っている割合が、前回と比べ減少が見られますが、日常的に取り組んでいるかといった状況が把握できるようにしています。

このほかに、いつも行っている割合が、前回の行っている割合より減少した理由として、

- ・ 前回調査は、東日本大震災及び原子力発電所事故による原子力発電の停止による「緊急節電対策」が行われた翌年に当たり、社会的に節電意識やニーズが高かった時期であったこと
 - ・ その後、省エネ型の設備や家電への買い替えなどにより、設備や家電が自動的に省エネを行うしくみが普及していること、
 - ・ 太陽光発電など再生可能エネルギーの導入をはじめ、ハイブリット車や低燃費自動車への買い替え
- などが進んできており、減少の要因となっていることが考えられます。

問3-1) 省エネへの取組み



いつも行っている割合が最も高いのは、「掃除機やエアコンのフィルターを定期的に清掃している」で、回答者の3分の2以上の方が実施しているとしています。次いで、「家電製品の主電源を切るなど日常生活で節電に気をつけている」と「冷暖房の温度は適正（冷房28度、暖房20度）に設定している」がそれぞれ6割近くとなっています。

また、「電気・ガス・水道などの使用量のチェックや記録をしている」をいつも行っているとの回答者も半数以上を占め、節電や省エネに関心が高いと言えます。

なお、今後も行わないとの回答が多かったの項目は、「食品や日用品などの買い物には自動車を使わないようにしている」や「ゴーヤなどで作った緑のカーテンを設置している」で、回答者のうちの3分の1以上を占めています。

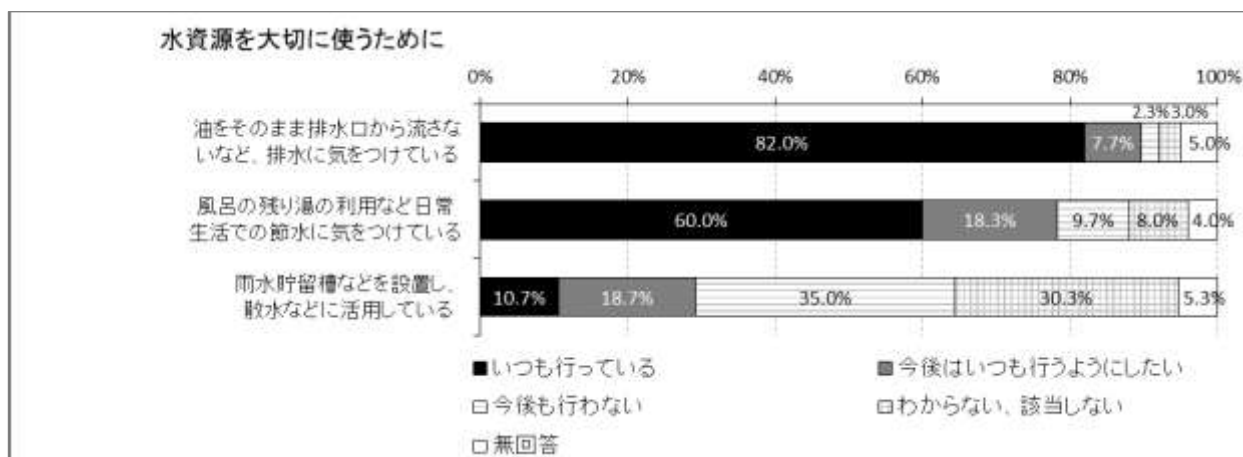
前回調査と比べ、「冷暖房の温度は適正（冷房 28 度、暖房 20 度）に設定している」は約 22 ポイントと大きく低下しています。設問の「いつも」が大きく左右しているほか、省エネの自動運転など省エネタイプのアコンへの買い替えなどが進んできていることなどが考えられます。

なお、「電気・ガス・水道などの使用量のチェックや記録をしている」では、いつも行っているが、前回の行っているより 17 ポイント増加しており、節電等省エネ意識や、エネルギー使用量を管理し家計負担を減らす意識などが高くなっていることなどが考えられます。

(回答数 300)

取組内容	取組状況	いつも行っている	今後はいつも行うようにしたい	今後も行わない	わからない、該当しない	無回答	合計
1	冷暖房の温度は適正（冷房 28 度、暖房 20 度）に設定している	58.0%	22.0%	10.3%	5.0%	4.7%	100.0%
2	家電製品の主電源を切るなど日常生活で節電に気をつけている	59.7%	26.7%	6.7%	2.3%	4.7%	100.0%
3	電気・ガス・水道などの使用量のチェックや記録をしている	53.3%	21.3%	10.0%	9.7%	5.7%	100.0%
4	掃除機やエアコンのフィルターを定期的に清掃している	65.7%	25.3%	0.3%	3.7%	5.0%	100.0%
5	食品や日常品などの買い物には自動車を使わないようにしている	23.0%	19.3%	34.0%	18.0%	5.7%	100.0%
6	ゴーヤなどで作った緑のカーテンを設置している	20.3%	14.7%	34.3%	24.0%	6.7%	100.0%

問 3-2) 水資源を大切に使うために



(回答数 300)

取組内容	取組状況	いつも行っている	今後はいつも行うようにしたい	今後も行わない	わからない、該当しない	無回答	合計
1 油をそのまま排水口から流さないなど、排水に気をつけている		82.0%	7.7%	2.3%	3.0%	5.0%	100.0%
2 風呂の残り湯の利用など日常生活での節水に気をつけている		60.0%	18.3%	9.7%	8.0%	4.0%	100.0%
3 雨水貯留槽などを設置し、散水などに活用している		10.7%	18.7%	35.0%	30.3%	5.3%	100.0%

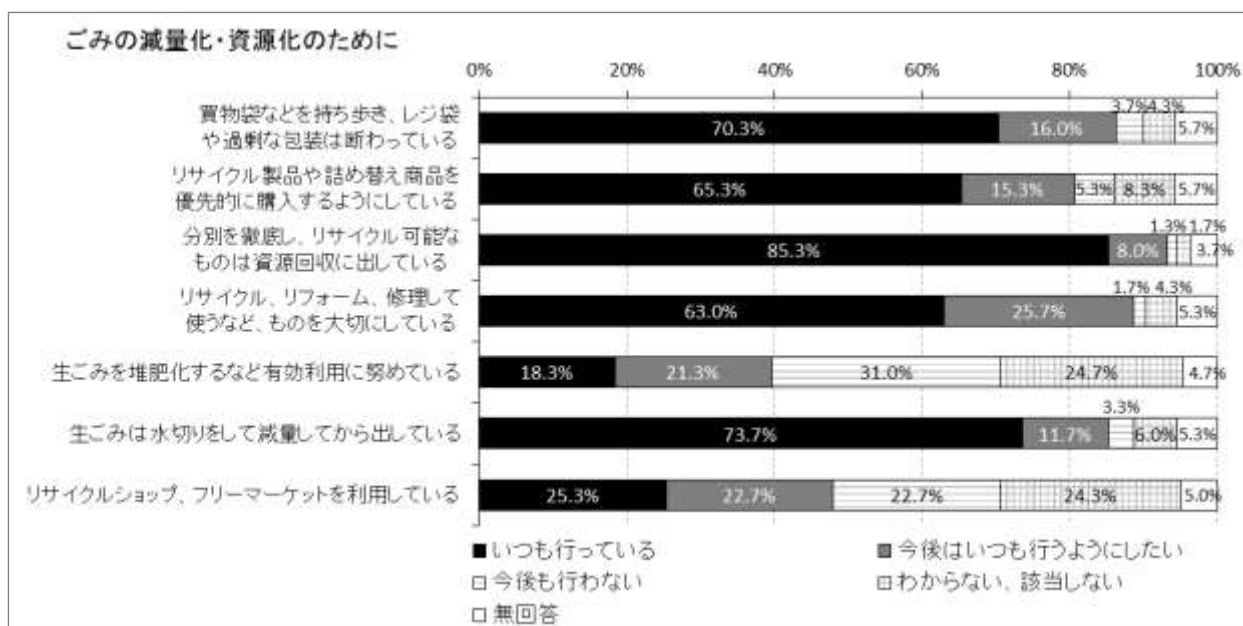
8割以上の回答者が、いつも「油をそのまま排水口から流さないなど、排水に気をつけている」としてしています。また、「風呂の残り湯の利用など日常生活での節水に気をつけている」も6割となっており、今後いつも行うようにしたいと合わせると、8割近くとなっています。

「雨水貯留槽などを設置し、散水などに活用している」では、いつも行っていると今後行うようにしたいとを合わせた割合より、今後も行わないとの回答が多くなっています。雨水貯留槽などの活用によるメリットなどが分からないことなどが上げられます。

前回調査との比較では、省エネへの取組と同様に、「油をそのまま排水口から流さないなど、排水に気をつけている」や「風呂の残り湯の利用など日常生活での節水に気をつけている」では、前回より7~9ポイント低下しています。

「雨水貯留槽などを設置し、散水などに活用している」は、全体の1割程度となっていますが、前回調査時より6ポイント増加するなど、節水や水資源保全などの意識は向上してきていると考えられます。

問 3-3) ごみの減量化・資源化のために



(回答数 300)

取組内容	取組状況	いつも行っている	今後はいつも行うようにしたい	今後も行わない	わからない、該当しない	無回答	合計
1 買物袋などを持ち歩き、レジ袋や過剰な包装は断わっている		70.3%	16.0%	3.7%	4.3%	5.7%	100.0%
2 リサイクル製品や詰め替え商品を優先的に購入するようにしている		65.3%	15.3%	5.3%	8.3%	5.7%	100.0%
3 分別を徹底し、リサイクル可能なものは資源回収に出している		85.3%	8.0%	1.3%	1.7%	3.7%	100.0%
4 リサイクル、リフォーム、修理して使うなど、ものを大切にしている		63.0%	25.7%	1.7%	4.3%	5.3%	100.0%
5 生ごみを堆肥化するなど有効利用に努めている		18.3%	21.3%	31.0%	24.7%	4.7%	100.0%
6 生ごみは水切りをして減量してから出している		73.7%	11.7%	3.3%	6.0%	5.3%	100.0%
7 リサイクルショップ、フリーマーケットを利用している		25.3%	22.7%	22.7%	24.3%	5.0%	100.0%

ごみの減量化・資源化のために「いつも行っている」割合が最も多かった項目は、「分別を徹底し、リサイクル可能なものは資源回収に出している」で8~9割の市民が実践しているとしています。次いで、「生ごみは水切りをして減量してから出している」と「買物袋などを持ち歩き、レジ袋や過剰な包装は断わっている」で、7割以上の市民がいつも行っているとしています。

また、いつも行っている割合が低い項目は、「生ごみを堆肥化するなど有効利用に努めている」で2割未満となっているほか、「今後も行わない」が3割以上となっており、堆肥化しても活用する場所がないなど住まいの制約が考えられます。

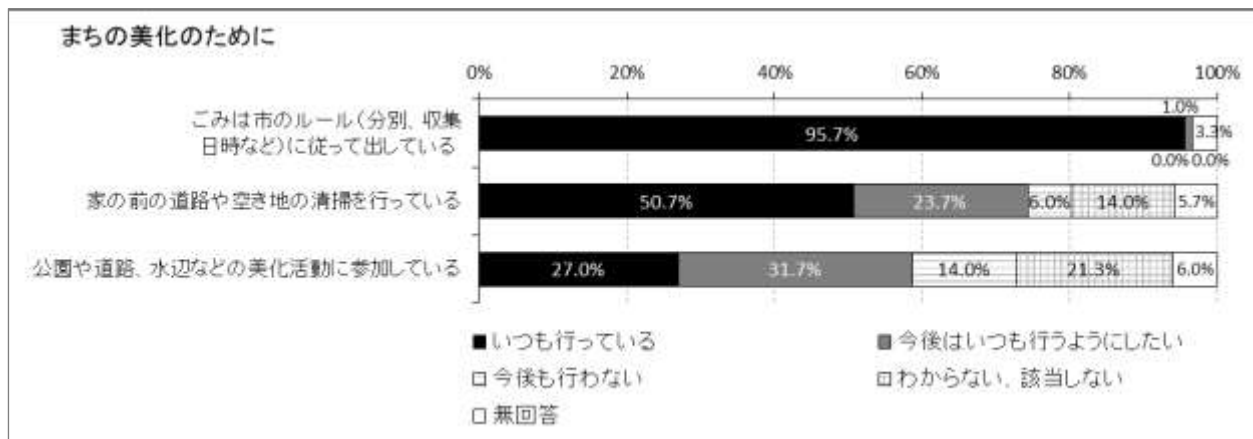
また、「リサイクルショップ、フリーマーケットを利用している」もいつも行っている割合が低く、市民の 4 人に 1 人となっています。「今後はいつも行うようにしたい」や「今後も行わない」、「わからない、該当しない」との回答もそれぞれ 2 割以上と回答が分散しており、リユースや再生品の活用などの普及があまり進んでいない、また、リサイクルショップやフリーマーケットなどが身近にない（身近で実施されていない）などの理由が考えられます。

前回調査との比較では、今回の設問項目 7 項目中 6 項目で、前回より 3~16 ポイント低下しています。これは、「いつも」行っているが大きく左右していると考えられます。前回の「行っている」では、たまに行っている場合でも「行っている」に含まれるため、その意味合いに大きな差があると言えます。

特に大きく「行っている」割合が低下したのは、「生ごみは水切りをして減量してから出している」で約 16 ポイント低下、次いで、「分別を徹底し、リサイクル可能ものは資源回収に出している」で約 10 ポイント低下しています。

反面、「リサイクルショップ、フリーマーケットを利用している」では、1 ポイント以下ですが増加となっています。また、「生ごみを堆肥化するなど有効利用に努めている」は約 3 ポイントの低下と低下幅がもっとも低く、コンポストや生ごみ処理機の活用など、実行できる状況が限られているためと考えられます。

問 3-4) まちの美化のために



(回答数 300)

取組内容	取組状況	いつも行っている	今後はいつも行うようにしたい	今後も行わない	わからない、該当しない	無回答	合計
1	ごみは市のルール(分別、収集日時など)に従って出している	95.7%	1.0%	0.0%	0.0%	3.3%	100.0%
2	家の前の道路や空き地の清掃を行っている	50.7%	23.7%	6.0%	14.0%	5.7%	100.0%
3	公園や道路、水辺などの美化活動に参加している	27.0%	31.7%	14.0%	21.3%	6.0%	100.0%

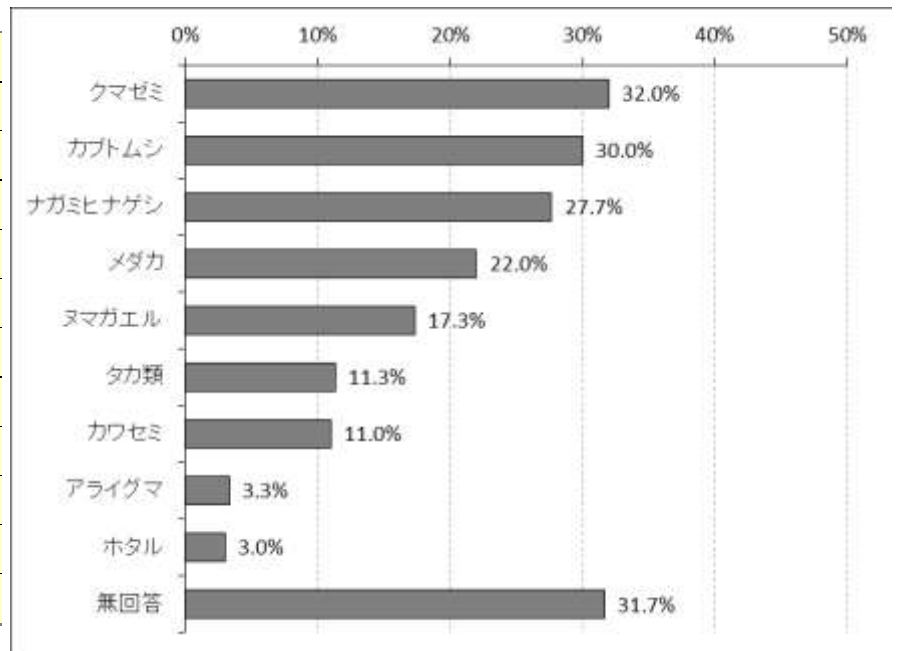
市民の(約96%)ほとんどが、「ごみは市のルール(分別、収集日時など)に従って出している」としています。また、半数以上の市民が「家の前の道路や空き地の清掃を行っている」としているほか、2割以上の市民も今後は行うようにしたいとしているなど、まちの美化については、全般的に関心が高いと言えます。

前回調査との比較では、「ごみは市のルール(分別、収集日時など)に従って出している」や、「家の前の道路や空き地の清掃を行っている」については、前回と比べそれぞれ2.5ポイント低下、6ポイント低下していますが、設問として「いつも」が入っていることを考慮すると同じか、もしくは、前回より増加していることなどが考えられます。

なお、「公園や道路、水辺などの美化活動に参加している」をいつも行っているは市民の4人に1人以上の割合で参加しているとしているほか、前回より若干増加しています。

問4 身のまわり（小学校区ぐらいの範囲）の生き物について

選択肢	回答数	割合
クマゼミ	96	32.0%
カブトムシ	90	30.0%
ナガミヒナゲシ	83	27.7%
メダカ	66	22.0%
ヌマガエル	52	17.3%
タカ類	34	11.3%
カワセミ	33	11.0%
アライグマ	10	3.3%
ホタル	9	3.0%
無回答	95	31.7%
回答者数	300	



この1年ぐらいの間に、見かけたり、鳴き声を聞いたりした生き物について、次ページの別添資料を参考に、いくつでもチェックして頂きました。

その結果、今回掲げた9種類のうち、見かけたり、鳴き声を聞いたりしたことがある生き物として、「クマゼミ」が最も多く、市民の3人に1人の割合となっています。次いで、「カブトムシ」と「ナガミヒナゲシ」がそれぞれ3割前後となっています。

「クマゼミ」は移入種であり、もともとは西日本に生息し、本市内には生息していませんでしたが、年平均気温の上昇などにより、市内にも広く生息してきていることが考えられます。また、要注意外来種（植物）の「ナガミヒナゲシ」も広く生育していることが考えられます。

なお、クマゼミやナガミヒナゲシについては、地区別に見てもほぼ全域で確認されています。セミ類の種が多いほか、ナガミヒナゲシに似た植物もあるため、見間違いや聞き違いなどもあることに留意が必要です。

前回調査と同じ生き物の種類として、「カブトムシ」「メダカ」「ホタル」の3種です。この3種のうち「カブトムシ」と「ホタル」はほぼ同じ割合となっており、生息状況はあまり変化していないと考えられます。

地区別には、「カブトムシ」は全地区で確認されていますが、箕田、常光、吹上富士見、鴻巣地区では割合が低くなっています。また「メダカ」も全地区で見られますが、箕田、田間宮地区では低くなっています。「ホタル」は、川里地域で他の地区より若干高いほかは、笠原、常光、田間宮、赤見台地区では確認の回答はありませんでした。

しかし、「メダカ」は、前回の31%より約9ポイント低下しています。野生のメダカが減少しているほか、水辺などで泳ぐ小さな魚もメダカとして捉えている人も多いため、前回も今回も、この割合がメダカを見た割合と言えないことに留意する必要があります。

新たに追加した特定外来種の「アライグマ」を見かけたとの割合は約 3%と低いですが、常光、鴻巣、馬室、田間宮、吹上地域で回答があり、繁殖が広がっていることが考えられます。

【参考】地区別回答割合

地区	種類										回答者数
	クマゼミ	カブトムシ	ホタル	メダカ	カワセミ	タカ類	ヌマガエル	アライグマ	ナガミヒナゲシ		
川里地域	33.3%	50.0%	11.1%	27.8%		11.1%	22.2%		33.3%	18	
笠原地区	16.7%	50.0%		33.3%	16.7%				16.7%	6	
常光地域	20.0%	20.0%		20.0%	20.0%	20.0%		20.0%	20.0%	5	
鴻巣地域	33.3%	21.6%	5.9%	21.6%	9.8%	9.8%	15.7%	3.9%	23.5%	51	
馬室地区	44.7%	31.6%	2.6%	21.1%	5.3%	18.4%	23.7%	5.3%	36.8%	38	
田間宮地区	20.4%	24.5%		18.4%	18.4%	20.4%	20.4%	6.1%	28.6%	49	
箕田地区	32.6%	16.3%	2.3%	11.6%	4.7%	4.7%	14.0%		14.0%	43	
赤見台地区	41.2%	64.7%		29.4%	17.6%	11.8%	11.8%		47.1%	17	
吹上富士見	36.8%	21.1%	5.3%	21.1%	10.5%		26.3%		26.3%	19	
吹上地域	31.4%	39.2%	2.0%	31.4%	15.7%	9.8%	15.7%	3.9%	29.4%	51	

【参考】市民アンケートでの参考資料

●主な生物について（調査票①2ページ、問4の参考）

 <p>クマゼミ</p>	<p>【特徴】</p> <p>黒っぽい体に透明のハネ(翅)を持つ日本最大のセミ(6~7cm)で、鳴き声は大きく「シャアシャア…」 「シャンシャンシャン」と聞こえます。関西以西で普通に見られますが、近年、関東地方でも生息が確認されています。</p>	 <p>タカ類</p>	<p>【特徴】</p> <p>タカ類は、くちばしは鋭く曲がり、足の爪も鋭く、一般に昼行性で、飛翔能力が高く、中小型の動物などを空中や地上で捕らえて食べる里山の猛禽類です。食物連鎖の頂点に位置し、里山の自然の健全さを知る指標ともなっています。</p>
 <p>カブトムシ</p>	<p>【特徴】</p> <p>クヌギ、コナラ、ヤナギなどの樹液に集まります。夜行性の昆虫で、オスは頭部に大きな角、胸部に小さな角を持ち、餌場やメスの奪い合いのときに使います。</p>	 <p>ヌマガエル</p>	<p>【特徴】国内移入種</p> <p>3~5cmのカエルで、背中側は小さなぼ状突起が並び灰褐色のまだら模様、腹側はまだら模様がなく白い。オスは「グエツ、グエツ、…」と聞こえる大きな声で鳴きます。沼や田に生息しますが、他のカエルよりも乾燥に強いので、田から離れた場所にもいます。本来、鴻巣市は分布域ではないが、生息が見られます。</p>
 <p>ホタル</p>	<p>【特徴】</p> <p>体は黒色で、胸に赤色の部分があります。大きさは1cm前後。夏の夜、おなかから光を放ちます。ゲンジボタルは清流に、ヘイケボタルは水田などの浅い水辺にすんでいます。</p>	 <p>アライグマ</p>	<p>【特徴】特定外来種</p> <p>体重 4~10 数 kg、頭胴長 41~60cm、尾長 20~41cm。白色の顔に黒色系のアイマスクを着けたような外見で、タヌキと似ていますが、白いヒゲや 5~10 本の黒いしま模様のある太く長い尾、人の手形のような足あとが特徴です。北アメリカ原産で、ペットとして流通し遺棄され、繁殖が広がっている特定外来種です。</p>
 <p>メダカ</p>	<p>【特徴】</p> <p>浅い池(ため池など)や小川(用水路など)などにすみ、3cm くらい大きくなります。上から見ると、背中にうすいすじが見えるのが特徴です。昼間は水面近くを群れて泳ぎます。</p>	 <p>アライグマ タヌキ</p>	<p>【特徴】要注意外来植物</p> <p>高さ 20~50cm の一年草で、茎先に 3~6cm くらいの赤~朱赤色の 4 弁の花をつけます。原産はヨーロッパ地中海地方で、觀賞用に導入され、近年道路端や畑に急速に増加している要注意外来生物(植物)です。</p>
 <p>カワセミ</p>	<p>【特徴】</p> <p>全長 17cm ほどで、背の鮮やかな青色と腹のオレンジ色、長いくちばしが特徴です。河川や湖沼の枝や岩などに止まり、水面に飛び込み魚を捕ったり、水浴びをします。「チーッ」と細く鋭く鳴きます。土の崖の斜面などに穴を掘って繁殖しています。</p>	 <p>ナガミヒナゲシ</p>	<p>【特徴】要注意外来植物</p> <p>高さ 20~50cm の一年草で、茎先に 3~6cm くらいの赤~朱赤色の 4 弁の花をつけます。原産はヨーロッパ地中海地方で、觀賞用に導入され、近年道路端や畑に急速に増加している要注意外来生物(植物)です。</p>

問5 身近な環境の満足度について

(回答数 300)



身近な環境（小学校区くらいの範囲）についての満足度について、前回調査と比べ、どのように変化しているかを把握するため、同じ内容で調査を行っています。なお、満足度としては、「満足」と「やや満足」の割合を合計した数値で検討しています。

前回調査と比較して、全体的には、「耕作放棄地や空き地の管理状況」を除く各項目とも、満足度が向上しています。とくに「まちの清潔さやきれいさ（ごみの散乱など）」は約 19 ポイント向上し、順位も 9 位から 4 位となっています。

今回調査と前回調査とも、上位 3 位（16 項目の中で）の「空気のきれいさ（排気ガス、ばい煙など）」や「空気のおい（工場、畜舎などからの悪臭）」、「まちの静けさ（騒音、振動など）」については、それぞれ 10 ポイント以上満足度が向上しています。

前回「満足度」が再下位であった「川や水路の水のきれいさ」は 10 ポイント向上し、3 割弱の満足度となっていますが、順位は 14 位となっているほか、前回 14 位であった「放射性物質からの安全性」に対する満足度は 11 ポイント向上し 12 位と改善の傾向がみられます。

反面、満足度が低下した項目は、「耕作放棄地や空き地の管理状況」（但し、前回は「農地の管理状況」の間）では、約 8 ポイント低下し、順位も 11 位から最下位となっており、農家等の減少に伴う耕作放棄地などが多くなっていることが考えられます。

(回答数 300)

項目	満足・不満等						合計
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答	
1 空気のきれいさ(排気ガス、ばい煙など)	22.7%	40.7%	22.3%	6.3%	3.0%	5.0%	100.0%
2 空気のおい(工場、畜舎などからの悪臭)	27.3%	38.3%	17.0%	8.3%	4.0%	5.0%	100.0%
3 まちの静けさ(騒音、振動など)	25.0%	37.3%	18.0%	11.7%	3.7%	4.3%	100.0%
4 川や水路の水のきれいさ	7.0%	22.7%	46.0%	14.0%	6.0%	4.3%	100.0%
5 水辺とのふれあい、親しみやすさ	7.3%	19.3%	49.0%	11.0%	6.7%	6.7%	100.0%
6 緑とのふれあい、親しみやすさ	14.3%	36.3%	33.0%	8.3%	2.7%	5.3%	100.0%
7 生き物(野鳥、昆虫など)とのふれあい	11.3%	24.3%	47.0%	8.3%	2.3%	6.7%	100.0%
8 農業や土とのふれあい	17.7%	29.3%	42.0%	5.7%	1.0%	4.3%	100.0%
9 公園や広場の環境、利用しやすさ	11.3%	29.3%	32.3%	16.0%	6.0%	5.0%	100.0%
10 まわりの景色や街並みの美しさ	10.3%	29.7%	40.3%	10.3%	4.3%	5.0%	100.0%
11 まちの清潔さやきれいさ(ごみの散乱など)	11.0%	46.7%	24.3%	9.3%	4.0%	4.7%	100.0%
12 耕作放棄地や空き地の管理状況	3.7%	22.0%	42.3%	20.0%	7.7%	4.3%	100.0%
13 自然災害(水害など)からの安全性	21.0%	33.7%	31.7%	6.7%	3.0%	4.0%	100.0%
14 有害化学物質(大気や水質など)からの安全性	12.3%	26.3%	47.7%	5.7%	3.0%	5.0%	100.0%
15 放射性物質からの安全性	14.7%	22.7%	48.7%	5.3%	3.0%	5.7%	100.0%
16 公共交通(バス、電車)の便利さ	15.0%	29.7%	20.7%	18.7%	10.7%	5.3%	100.0%
17 自転車の利用しやすさ	14.7%	31.7%	29.7%	12.0%	8.0%	4.0%	100.0%
18 食料や日用品などの買い物のしやすさ	24.0%	40.3%	16.3%	9.0%	6.3%	4.0%	100.0%

【参考】今回調査と前回調査の満足度の比較

項目	満足度(割合%)			満足度の順位	
	今回	前回	差	今回	前回
1 空気のきれいさ(排気ガス、ばい煙など)	63.3%	50.4%	12.9%	2	3
2 空気のおい(工場、畜舎などからの悪臭)	65.7%	52.9%	12.8%	1	1
3 まちの静けさ(騒音、振動など)	62.3%	50.6%	11.7%	3	2
4 川や水路の水のきれいさ	29.7%	19.6%	10.1%	14	16
5 水辺とのふれあい、親しみやすさ	26.7%	25.4%	1.3%	15	15
6 緑とのふれあい、親しみやすさ	50.7%	48.0%	2.7%	6	4
7 生き物(野鳥、昆虫など)とのふれあい	35.7%	31.0%	4.7%	13	13
8 農業や土とのふれあい	47.0%	40.3%	6.7%	7	8
9 公園や広場の環境、利用しやすさ	40.7%	40.7%	0.0%	9	7
10 まわりの景色や街並みの美しさ	40.0%	34.7%	5.3%	10	10
11 まちの清潔さやきれいさ(ごみの散乱など)	57.7%	38.8%	18.9%	4	9
12 耕作放棄地や空き地の管理状況	25.7%	33.5%	-7.8%	16	11
13 自然災害(水害など)からの安全性	54.7%	47.4%	7.3%	5	5
14 有害化学物質(大気や水質など)からの安全性	38.7%	33.3%	5.4%	11	12
15 放射性物質からの安全性	37.3%	26.3%	11.0%	12	14
16 公共交通(バス、電車)の便利さ	44.7%	42.9%	1.8%	8	6
17 自転車の利用しやすさ	46.3%	(今回、追加した項目)			
18 食料や日用品などの買い物のしやすさ	64.3%				

注： 今回の項目 18 項目中 16 項目が、前回とほぼ同じ内容(言い回しは異なります。)満足度は「満足」と「やや満足」を合わせた割合で表示

参考として、回答者数が 10 人未満の笠原、定光地域を除いて、地区別の満足度(「満足」と「やや満足」の合計)が低い(3 割未満)地域と項目を見ると次のようになっています。

項目	満足度 30%未満の地域地区
1 空気のきれいさ(排気ガス、ばい煙など)	該当地区なし
2 空気のおい(工場、畜舎などからの悪臭)	川里
3 まちの静けさ(騒音、振動など)	該当地区なし
4 川や水路の水のきれいさ	川里、赤見台、吹上富士見
5 水辺とのふれあい、親しみやすさ	川里、馬室、田間宮、箕田、赤見台、
6 緑とのふれあい、親しみやすさ	該当地区なし
7 生き物(野鳥、昆虫など)とのふれあい	箕田
8 農業や土とのふれあい	該当地区なし
9 公園や広場の環境、利用しやすさ	赤見台
10 まわりの景色や街並みの美しさ	該当地区なし
11 まちの清潔さやきれいさ(ごみの散乱など)	該当地区なし
12 耕作放棄地や空き地の管理状況	馬室、田間宮、箕田、吹上富士見、吹上
13 自然災害(水害など)からの安全性	該当地区なし
14 有害化学物質(大気や水質など)からの安全性	川里、笠原、箕田
15 放射性物質からの安全性	田間宮、箕田、赤見台
16 公共交通(バス、電車)の便利さ	川里、笠原
17 自転車の利用しやすさ	川里
18 食料や日用品などの買い物のしやすさ	川里、笠原

【参考】地区別の項目ごとの満足度の状況（「満足」と「やや満足」の合計）

項目 地区	1 空気のきれいさ(排気ガス、ばい煙など)	2 空気のおいしさ(工場、畜舎などからの悪臭)	3 まちの静けさ(騒音、振動など)	4 川や水路の水のきれいさ	5 水辺とのふれあい、親しみやすさ	6 緑とのふれあい、親しみやすさ
川里地域	44.4%	27.8%	55.6%	11.1%	16.7%	55.6%
笠原地区	66.7%	50.0%	50.0%	33.3%	16.7%	33.3%
常光地域	60.0%	60.0%	80.0%	20.0%	20.0%	40.0%
鴻巣地域	58.8%	66.7%	60.8%	31.4%	31.4%	51.0%
馬室地区	68.4%	78.9%	57.9%	34.2%	23.7%	55.3%
田間宮地区	81.6%	77.6%	69.4%	32.7%	22.4%	55.1%
箕田地区	55.8%	51.2%	55.8%	30.2%	18.6%	51.2%
赤見台地区	52.9%	70.6%	52.9%	23.5%	23.5%	35.3%
吹上富士見	68.4%	78.9%	68.4%	26.3%	36.8%	57.9%
吹上地域	60.8%	64.7%	70.6%	31.4%	37.3%	47.1%

項目 地区	7 生き物(野鳥、昆虫など)とのふれあい	8 農業や土とのふれあい	9 公園や広場の環境、利用しやすさ	10 まわりの景色や街並みの美しさ	11 まちの清潔さやきれいさ(ごみの散乱など)	12 耕作放棄地や空き地の管理状況
川里地域	44.4%	66.7%	38.9%	33.3%	33.3%	33.3%
笠原地区	16.7%	66.7%	16.7%	16.7%	33.3%	50.0%
常光地域	40.0%	60.0%	—	—	40.0%	40.0%
鴻巣地域	37.3%	43.1%	62.7%	45.1%	64.7%	33.3%
馬室地区	39.5%	52.6%	36.8%	42.1%	63.2%	23.7%
田間宮地区	38.8%	49.0%	38.8%	44.9%	65.3%	18.4%
箕田地区	27.9%	37.2%	39.5%	44.2%	60.5%	20.9%
赤見台地区	23.5%	41.2%	23.5%	23.5%	41.2%	35.3%
吹上富士見	47.4%	47.4%	52.6%	57.9%	68.4%	26.3%
吹上地域	33.3%	45.1%	33.3%	33.3%	52.9%	19.6%

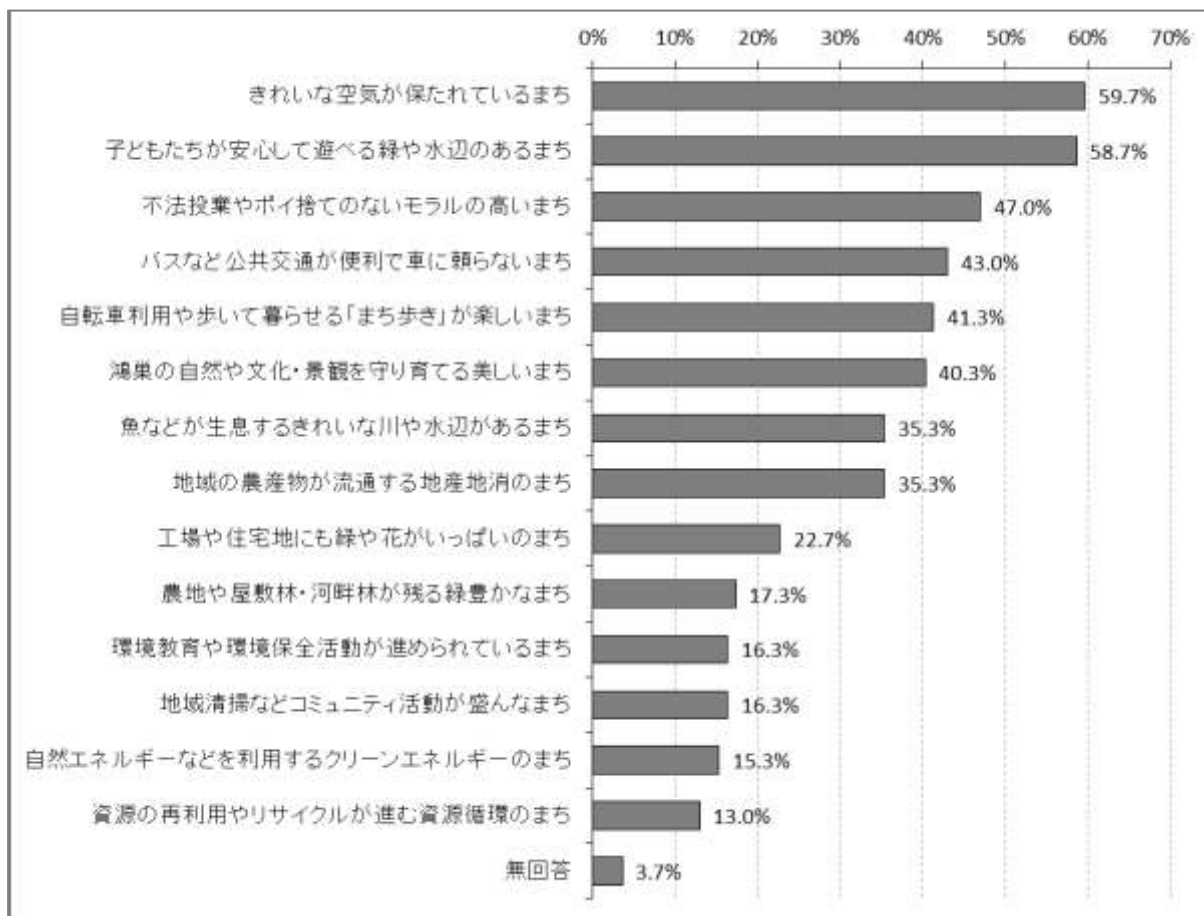
項目 地区	13 自然災害(水害など)からの安全性	14 有害化学物質(大気や水質など)からの安全性	15 放射性物質からの安全性	16 公共交通(バス、電車)の便利さ	17 自転車の利用しやすさ	18 食料や日用品などの買い物のしやすさ
川里地域	50.0%	22.2%	33.3%	22.2%	27.8%	16.7%
笠原地区	33.3%	16.7%	50.0%	16.7%	33.3%	16.7%
常光地域	20.0%	—	40.0%	—	20.0%	20.0%
鴻巣地域	60.8%	45.1%	47.1%	56.9%	54.9%	80.4%
馬室地区	60.5%	39.5%	39.5%	55.3%	47.4%	71.1%
田間宮地区	46.9%	36.7%	28.6%	49.0%	57.1%	71.4%
箕田地区	48.8%	25.6%	27.9%	37.2%	32.6%	60.5%
赤見台地区	76.5%	41.2%	23.5%	47.1%	52.9%	52.9%
吹上富士見	52.6%	47.4%	36.8%	42.1%	52.6%	73.7%
吹上地域	58.8%	52.9%	47.1%	43.1%	45.1%	68.6%

※上記表の割合(%)は各地域地区ごとの回答者数(下表)に対する割合で示しています。

地域地区別	川里地域	笠原地区	常光地域	鴻巣地域	馬室地区	田間宮地区	箕田地区	赤見台地区	吹上富士見	吹上地域
回答者数	18	6	5	51	38	49	43	17	19	51

問6 将来の鴻巣市がどのような環境のまちであったらよい

(回答数 300)



選択肢	回答数	割合
きれいな空気が保たれているまち	179	59.7%
子どもたちが安心して遊べる緑や水辺のあるまち	176	58.7%
不法投棄やポイ捨てのないモラルの高いまち	141	47.0%
バスなど公共交通が便利で車に頼らないまち	129	43.0%
自転車利用や歩いて暮らせる「まち歩き」が楽しいまち	124	41.3%
鴻巣の自然や文化・景観を守り育てる美しいまち	121	40.3%
魚などが生息するきれいな川や水辺があるまち	106	35.3%
地域の農産物が流通する地産地消のまち	106	35.3%
工場や住宅地にも緑や花がいっぱいのまち	68	22.7%
農地や屋敷林・河畔林が残る緑豊かなまち	52	17.3%
環境教育や環境保全活動が進められているまち	49	16.3%
地域清掃などコミュニティ活動が盛んなまち	49	16.3%
自然エネルギーなどを利用するクリーンエネルギーのまち	46	15.3%
資源の再利用やリサイクルが進む資源循環のまち	39	13.0%
無回答	11	3.7%
回答者数	300	

鴻巣市がどのような環境のまちであったら良いかについて、特に望まれる姿について上位5つまで選び回答してもらいました。

特に望まれる姿として、「きれいな空気が保たれているまち」と「子どもたちが安心して遊べる緑や水辺のあるまち」を、それぞれ6割近くの市民が上げています。次いで、「不法投棄やポイ捨てのないモラルの高いまち」となっており、安全・安心や健康・清潔なまちへの要望が高いと考えられます。

また、「バスなど公共交通が便利で車に頼らないまち」や「自転車利用や歩いて暮らせる「まち歩き」が楽しいまち」、「鴻巣の自然や文化・景観を守り育てる美しいまち」もそれぞれ4割以上と多く、高齢化社会の進行とあわせて、コンパクトなまちづくりへの期待が高いと考えられます。

反面、順位が低かった項目は、下位から順に「資源の再利用やリサイクルが進む資源循環のまち」、「自然エネルギーなどを利用するクリーンエネルギーのまち」、「地域清掃などコミュニティ活動が盛んなまち」、「環境教育や環境保全活動が進められているまち」がそれぞれ15%前後となっており、環境の姿としては、全般的な環境の姿より、地域の個性や身近な生活環境をイメージした姿が望まれていると考えられます。

前回調査との比較では、今回の14項目中13項目が、前回とほぼ同じ内容でたずねています。各項目とも、回答者割合は増加しています。

特に、「子どもたちが安心して遊べる緑や水辺のあるまち」は、前回より30ポイント近く増加し、前回順位4位から2位になっており、子どもが安心して外で遊べるようなまちづくりが今後重要と考えられています。また、「バスなど公共交通が便利で車に頼らないまち」は前回より19ポイント増加し、前回順位6位から4位でとなっているなど、少子高齢化に向けた環境づくりが期待されていると考えられます。

これらの項目を除くと、順位の傾向は、多少の前後はあるものの、前回と今回もほぼ同じような傾向となっています。

【参考】今回調査と前回調査の比較

選択肢	回答割合(%)			順位	
	今回	前回	差	今回	前回
きれいな空気が保たれているまち	59.7%	41.9%	17.8%	1	1
子どもたちが安心して遊べる緑や水辺のあるまち	58.7%	28.8%	29.9%	2	4
不法投棄やポイ捨てのないモラルの高いまち	47.0%	40.7%	6.3%	3	2
バスなど公共交通が便利で車に頼らないまち	43.0%	23.8%	19.2%	4	6
自転車利用や歩いて暮らせる「まち歩き」が楽しいまち	41.3%	35.5%	5.8%	5	3
鴻巣の自然や文化・景観を守り育てる美しいまち	40.3%	21.7%	18.6%	6	7
魚などが生息するきれいな川や水辺があるまち	35.3%	24.3%	11.0%	7	5
地域の農産物が流通する地産地消のまち	35.3%	20.6%	14.7%	8	8
工場や住宅地にも緑や花がいっぱいあるまち	22.7%	17.9%	4.8%	9	9
農地や屋敷林・河畔林が残る緑豊かなまち	17.3%	16.2%	1.1%	10	10
環境教育や環境保全活動が進められているまち	16.3%	6.4%	9.9%	11	13
地域清掃などコミュニティ活動が盛んなまち	16.3%	(※今回追加項目)			
自然エネルギーなどを利用するクリーンエネルギーのまち	15.3%	11.9%	3.4%	12	11
資源の再利用やリサイクルが進む資源循環のまち	13.0%	10.1%	2.9%	13	12

参考として、最も回答割合が高かった「きれいな空気が保たれているまち」を除く項目で、地区別に回答割合が最も高かった環境の姿は次のようになっています。(同率は並記)

川里地域：子どもたちが安心して遊べる緑や水辺のあるまち、不法投棄やポイ捨てのないモラルの高いまち、バスなど公共交通が便利で車に頼らないまち

笠原地区：魚などが生息するきれいな川や水辺があるまち、不法投棄やポイ捨てのないモラルの高いまち

常光地区：子どもたちが安心して遊べる緑や水辺のあるまち

鴻巣地域：子どもたちが安心して遊べる緑や水辺のあるまち

馬室地区：鴻巣の自然や文化・景観を守り育てる美しいまち、バスなど公共交通が便利で車に頼らないまち

田間宮地区：不法投棄やポイ捨てのないモラルの高いまち

箕田地区：子どもたちが安心して遊べる緑や水辺のあるまち、自転車利用や歩いて暮らせる「まち歩き」が楽しいまち

赤見台地区：子どもたちが安心して遊べる緑や水辺のあるまち

吹上富士見：魚などが生息するきれいな川や水辺があるまち、子どもたちが安心して遊べる緑や水辺のあるまち、バスなど公共交通が便利で車に頼らないまち

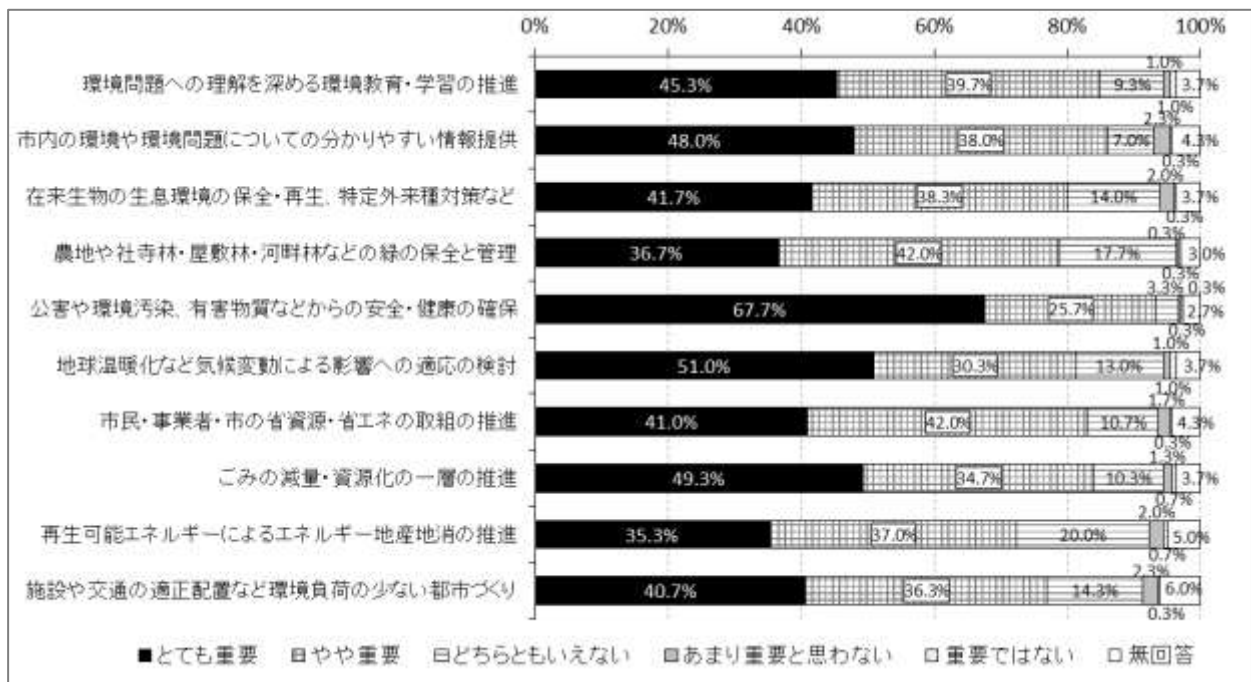
吹上地域：子どもたちが安心して遊べる緑や水辺のあるまち

【参考】地区別の望まれる将来の環境の姿に対する割合

選択肢	地区	川里地域	笠原地区	常光地域	鴻巣地域	馬室地区	田間宮地区	箕田地区	赤見台地区	吹上富士見	吹上地域
きれいな空気が保たれているまち		61.1%	83.3%	80.0%	52.9%	52.6%	59.2%	55.8%	70.6%	78.9%	60.8%
魚などが生息するきれいな川や水辺があるまち		38.9%	50.0%	20.0%	21.6%	36.8%	30.6%	32.6%	52.9%	52.6%	43.1%
農地や屋敷林・河畔林が残る緑豊かなまち		16.7%	33.3%	60.0%	21.6%	18.4%	20.4%	9.3%	11.8%	26.3%	9.8%
子どもたちが安心して遊べる緑や水辺のあるまち		50.0%	33.3%	80.0%	68.6%	47.4%	57.1%	51.2%	76.5%	52.6%	68.6%
工場や住宅地にも緑や花がいっぱいのまち		5.6%	—	—	29.4%	18.4%	18.4%	25.6%	47.1%	10.5%	29.4%
鴻巣の自然や文化・景観を守り育てる美しいまち		5.6%	16.7%	40.0%	45.1%	55.3%	42.9%	46.5%	52.9%	26.3%	33.3%
地域の農産物が流通する地産地消のまち		33.3%	16.7%	60.0%	29.4%	50.0%	34.7%	48.8%	29.4%	21.1%	29.4%
環境教育や環境保全活動が進められているまち		33.3%	16.7%	20.0%	15.7%	13.2%	10.2%	16.3%	11.8%	10.5%	23.5%
地域清掃などコミュニティ活動が盛んなまち		16.7%	16.7%	20.0%	21.6%	13.2%	14.3%	20.9%	5.9%	36.8%	7.8%
自転車利用や歩いて暮らせる「まち歩き」が楽しいまち		22.2%	33.3%	—	49.0%	44.7%	40.8%	51.2%	29.4%	36.8%	39.2%
不法投棄やポイ捨てのないモラルの高いまち		50.0%	50.0%	40.0%	56.9%	34.2%	59.2%	30.2%	64.7%	31.6%	51.0%
資源の再利用やリサイクルが進む資源循環のまち		16.7%	33.3%	20.0%	9.8%	7.9%	20.4%	9.3%	11.8%	10.5%	13.7%
バスなど公共交通が便利で車に頼らないまち		50.0%	16.7%	40.0%	35.3%	55.3%	51.0%	46.5%	35.3%	52.6%	29.4%
自然エネルギーなどを利用するクリーンエネルギーのまち		11.1%	16.7%	20.0%	15.7%	5.3%	20.4%	23.3%	17.6%	21.1%	7.8%
	地区別回答者数	18	6	5	51	38	49	43	17	19	51

問7 鴻巣市の環境を良くしていく取組について

(回答数 300)



(回答数 300)

項目	重要さ	とても重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要と思わない	重要ではない	無回答	合計
1 環境問題への理解を深める環境教育・学習の推進		45.3%	39.7%	9.3%	1.0%	1.0%	3.7%	100.0%
2 市内の環境や環境問題についての分かりやすい情報提供		48.0%	38.0%	7.0%	2.3%	0.3%	4.3%	100.0%
3 在来生物の生息環境の保全・再生、特定外来種対策など		41.7%	38.3%	14.0%	2.0%	0.3%	3.7%	100.0%
4 農地や社寺林・屋敷林・河畔林などの緑の保全と管理		36.7%	42.0%	17.7%	0.3%	0.3%	3.0%	100.0%
5 公害や環境汚染、有害物質などからの安全・健康の確保		67.7%	25.7%	3.3%	0.3%	0.3%	2.7%	100.0%
6 地球温暖化など気候変動による影響への適応の検討		51.0%	30.3%	13.0%	1.0%	1.0%	3.7%	100.0%
7 市民・事業者・市の省資源・省エネの取組の推進		41.0%	42.0%	10.7%	1.7%	0.3%	4.3%	100.0%
8 ごみの減量・資源化の一層の推進		49.3%	34.7%	10.3%	1.3%	0.7%	3.7%	100.0%
9 再生可能エネルギーによるエネルギー地産地消の推進		35.3%	37.0%	20.0%	2.0%	0.7%	5.0%	100.0%
10 施設や交通の適正配置など環境負荷の少ない都市づくり		40.7%	36.3%	14.3%	2.3%	0.3%	6.0%	100.0%

鴻巣市の環境を良くしていく取組について、市民から見た優先順を把握しています。

「とても重要」が最も高いのは、「公害や環境汚染、有害物質などからの安全・健康の確保」で約 7 割の市民が重要としています。次いで、「地球温暖化など気候変動による影響への適応の検討」と「ごみの減量・資源化の一層の推進」、「市内の環境や環境問題についての分かりやすい情報提供」がそれぞれ 5 割前後と、約半数の市民がとても重要としています。

問 6 の環境の姿で、第 1 位であった「きれいな空気が保たれているまち」「子どもたちが安心して遊べる緑や水辺のあるまち」に係る項目が特に高くなっている反面、問 6 で下位にあった「資源の再利用やリサイクルが進む資源循環のまち」、「自然エネルギーなどを利用するクリーンエネルギーのまち」に係る取組として、地球温暖化対策や廃棄物対策などの取組への重要性が上げられているのが特徴と言えます。

また、「とても重要」と「やや重要」を合わせた重要性では、各項目とも 7 割以上の市民が重要としており、全体的に取組を進める必要性があげられています。

前回調査とは異なる項目が多いため、一概に比較はできませんが、同じような内容の項目で比較すると、「環境問題への理解を深める環境教育・学習の推進」については、とても重要が、前回より 15 ポイント増加し、3 位となっています。

その他の項目「ごみの減量・資源化の一層の推進」、「再生可能エネルギーによるエネルギー地産地消の推進」、「施設や交通の適正配置など環境負荷の少ない都市づくり」についても、とても重要との割合は、3~9 ポイント増加しています。

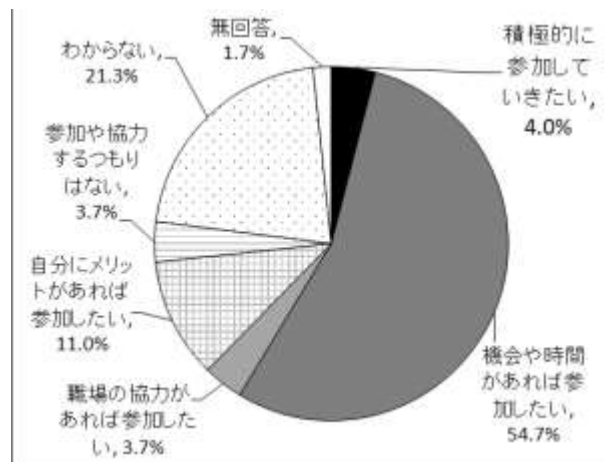
なお、問 7 でその他の記載欄に記入のあった内容は次のようになっています。

■問 7 「その他」 -----

- 川幅日本一というふれ込みで副産物目当ての遠方からの客が増えているが、四尺玉でも有名となった花火大会会場となる荒川河川敷にある様な水辺の広場や公園があったらいい。
- 緑のある公園、散歩が出来る。
- 田んぼでの稲を燃やされている方を見ますがとても臭くて洗濯物が出せない、生活しにくいです。
- ごみ資源化が進み過ぎること。ごみの分別等がさらに複雑になり市民の手間だけが增える気がする。
- 鴻巣市にゴミの焼却炉を備えていただきたい。
- まだ、ポイ捨てをしている人がいるようです。
- 道路の信号の青赤のセンサー化。アイドリングナシ化。
- 廃油回収ステーションの設置。（各地区に回収ステーションを設ける。）
- 都市部と農村地帯の住み分けも大事だと思う。
- 市のバスフラワー号の路線整備や有効に利用出来るとりくみ。
- どういう事が有意義なのか知らせてほしい。
- 達成可能な目標が必要かと思えます。まずは〇〇からという感じで。
- 介護のお世話を受ける身でやれる事やれない事がある。

問8 環境保全に係る活動への参加について

選択肢	回答数	割合
積極的に参加していきたい	12	4.0%
機会や時間があれば参加したい	164	54.7%
職場の協力があれば参加したい	11	3.7%
自分にメリットがあれば参加したい	33	11.0%
参加や協力するつもりはない	11	3.7%
わからない	64	21.3%
無回答	5	1.7%
合計	300	100.0%



環境保全に係る活動への参加について、「機会や時間があれば参加したい」が約55%と最も多く、次いで「わからない」が21%と4人に1人の割合となっています。なお、「積極的に参加していきたい」が4%と少ないことが課題ともなっています。

「積極的に参加していきたい」、「機会や時間があれば参加したい」、「職場の協力があれば参加したい」、「自分にメリット（価値や利点など）があれば参加したい」を合わせた参加の意向は7割以上となっており、参加機会の充実をはじめ、職場などの極力・支援が重要になります。

問9 参加したいと思う環境学習や環境保全活動について

参加したいと思う環境学習や環境保全活動について、自由に記載して頂いた内容は次のようになっています。

(全般的な内容)

- 誰でも分かりやすい内容、自分たちにとって何のメリットがある等を明確に提示されれば学習と参加がしやすいと思う。
 - 参加するとポイントがたまるなど何かメリットがあるもの。
 - ポイントなどがたまったら、何か景品に変えられる。参加したことによって、特別なサービスを市内の店舗でうけられる。
 - 学習や活動以前に各々が環境保全に心がけた行動をすべきと思います。
 - 次世代に悪影響を残さないように皆が気軽に参加できる活動等。
 - 体験型
 - 広報誌等を通して情報提供をして頂きたい。
 - 身近な環境問題を解決するための活動
 - 生活に密着したもの、楽しみながら参加できるもの。
 - 年齢や体力に順じた活動があれば
 - よその町・市での見学からスタート色々な活動を目視して学びたい。
 - 鴻巣市全体となると漠然となる為自分の地域に関する事等。
 - 日頃できる環境保全に効果的なこと
 - 地域グルミの活動
 - グループ活動
 - 町内のみまわり。
 - 身近な生活で行う環境活動のノウハウ
 - 小さい子供がいるので家のまわりや近い場所。知り合い同志で参加できると行きやすい。内容はその次。
 - 子どもの学びにつながる親子で参加できる企画。
 - 子どもと参加できるような活動。
 - 気軽に参加できる（子ども連れ ok）
 - 美化活動。自然ふれあい活動。子供と参加できるイベント。
 - 市の情報が少なくわかりづらい。
 - 時間的都合近い所なら参加したい。
 - 環境問題への学習会、及び里山の保全等
 - 気軽に自宅でできる活動。
 - 自治会、小学校等の行事の一つとしてあれば参加しやすいと思います。
 - 地域住民みんなで参加し笑顔で取り組む活動。
 - 1. 2時間程度の短時間（一回当たり）の機会。
 - 世界でどのような取組が行われているか。また新しいシステムが構築を予定しているか。
 - ライブカメラ・インターネット
 - 内容は不明
-

(自然環境の保全、緑化・植栽、公園整備等)

- 元荒川沿いの整備等
 - 近隣の公園や学校の植栽にかかわる活動。荒川など河川で水と親しみながら親子参加できる事業
 - 在来生物の生息環境の保全・再生について
 - 水辺の環境、在来生物生息環境の保全
 - 日本一広い荒川河川敷にコウノトリを放し飼い「東洋一の水の都鴻巣市」と語られるようになる。都市環境づくりなら東洋のオランダ水路と大河の有る都市に。
 - 動植物の自然保護
 - 植林・植樹など
 - 植林・緑化対策
 - 花を植える活動等
 - 神社と公園の整備と緑化（近くの神社公園）荒川川岸の緑化・公園化
 - 公園整備や植樹など、緑と水の保全や増やすための活動なら進んで参加したい。
 - 川がきれいになって、ホタルがいるようになるといい。
 - 植物の在来種、外来種の見分け方等の観察会。
 - 生き物が生存出来る環境活動。
 - 生物が住める安全な川・里山がある場所。
-

(エネルギー利用や地球温暖化対策等)

- 地球温暖化対策
 - 市や国の補助金制度作成。太陽光発電の大幅補助による各家庭設置化。
 - 地球温暖化問題
 - 地球温暖化等の環境問題。
-

(環境美化・清掃、ごみ減量・資源化等)

- ゴミ減量・資源化
 - ゴミ焼却や污水处理工場見学を兼ねた学習会
 - ゴミ処理施設などの見学。有害物質の健康面に対する影響に関する講義など。
 - ゴミ処理施設や環境を配慮している工場などの見学が出来れば良いと思う。百聞は一見にしかずです。
 - ゴミ処理場見学や環境を保全する為の取組の説明会など
 - 3R 活動。クリーン活動。Etc
 - 缶・ビンゴミ拾いなど。ゴミ処理場の見学。
 - 廃油の利用。
 - ゴミの減量分別によるリユース等。地域住民の啓発。
 - 生ごみの減量や肥料への加工など、ゴミの有効利用についてなど。
 - ゴミ出しルールの定着化・各種標示板（スクールゾーン・止まれ街灯など）が木の板等で見えにくい。
 - 自治体単位のウォーキング大会をかねたクリーン活動。
 - 鴻巣高校の生徒が行っているような地域と学校が連携した地域のクリーン活動。530 運動以外にももっと回数を増やしていく。児童・生徒・保護者が参加する大きなクリーン活動。
 - 自分たちの「まち」は自分たちで「きれい」にしていく活動及び学習
 - ボイ捨て等を失くし速度（特に30k 制限道路等）を守る。モラルを高める活動。子供達の安全を守る活動。
 - 道路の雑草等草刈り掃除、月に一回から二回出来れば良いと思います。特に国道17号歩道等目につきます。
-

-
- 清掃活動
 - 清掃活動
 - クリーン運動
 - クリーン活動には参加します。
 - 地域の住民が一体となって行うコミュニティクリーン運動。
 - 美化活動
 - 河川の清掃活動
 - 公園や町の清潔の活動に参加。
 - 今も行っている草取り、清掃の継続。
 - 地域のクリーン作戦や、花火の片づけ等。
 - 排水路の清掃
-

(農業・まちづくりなど)

-
- 車いす・高齢者・子供達の通学が安全に移動できる町づくり（環境・道路等）
 - 食の安全を保全する為の環境作り
 - 食に関するもの。道の駅みたいな物産展に伴うものであれば。
 - 大方の農家は兼業が大多数であるが退職を機に農業もリタイヤする傾向（農機機器の投資負担大）が見られる。水田は賃貸が円滑に進んでいるように見かけられる。一方畑地は休耕地（稲作に不向き）が散見される。この畑地を第三者に解放する機会（制度）があれば利用したいものである。
 - 鴻巣市に住みやすい街づくりなど。埼玉県、都心のベッドタウンでも人気のある街づくり。
-

(環境教育・環境学習など)

-
- 仕事で日中市外へ行っている為、鴻巣市の環境学習と言われても今一つ実感がわからないのが現状です。理解不足で申し訳ありません。
 - 子どもたちと楽しく参加できるイベントなど、子どもの頃から触れられることが大切かなと思う。鴻巣ならコレって言えるものも増えるような気がします。
 - 学校での分かりやすい授業。再利用して何かを作るなど。
 - 高齢者学級等
-

(その他)

-
- 自分の体力から考えて参加はできないと思う。申し訳ありません。
 - 高血症なので寒くも暑くも外出は家のそばだけです。病院には行っています。
 - 思いうかばない。
 - 環境学習や環境保全活動を開催されたとしても、私は高齢で持病あり参加は不可能です。今回アンケートにお答えを記入しましたが、次回からは若い方で70歳までを目標に入選をして頂きアンケートの郵送して下さい。
-

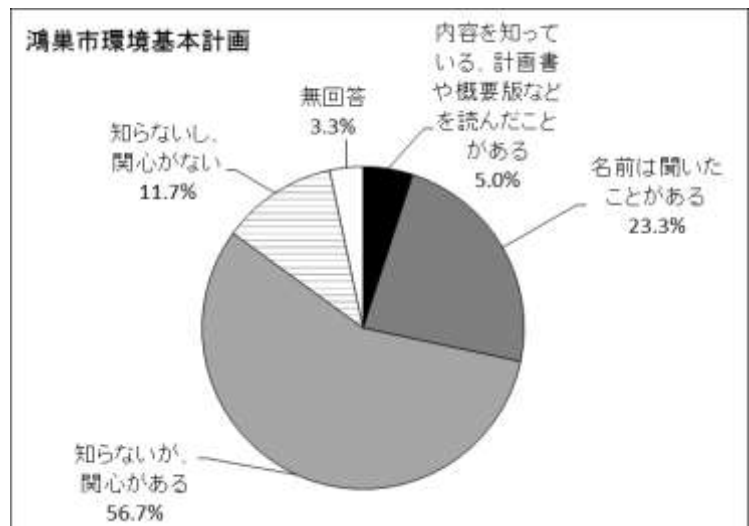
問10 鴻巣市環境基本計画や市の環境に係る情報などについて

項目	知っている状況	内容を知っている、計画書や概要版などを読んだことがある	名前は聞いたことがある	知らないが、関心がある	知らないし、関心がない	無回答	合計
鴻巣市環境基本計画 (回答数)		15	70	170	35	10	300
(割合)		5.0%	23.3%	56.7%	11.7%	3.3%	100.0%

鴻巣市環境基本計画について、「内容を知っている、計画書や概要版などを読んだことがある」が5%と20人に1人の割合と非常に低く、また、「名前は聞いたことがある」は約23%と、5人に1人が聞いたことがあると回答しています。

「知らないが、関心がある」と「知らないし、関心がない」を合わせた「知らない」は、約7割と多くの市民が知らないとしている反面、「知らない

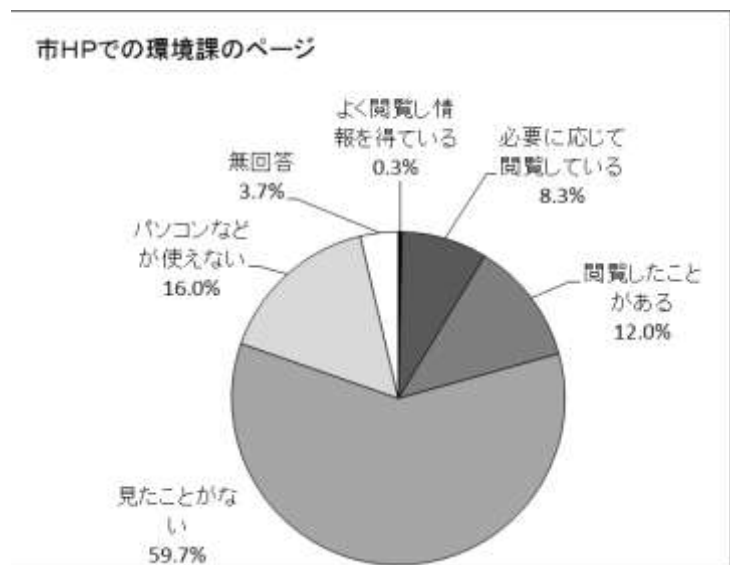
が、関心がある」は全体の6割近くを占めているほか、「知らない」と回答した市民のうちの8割以上の方が「関心がある」としています。今後の普及啓発や周知が課題となっています。



項目	知っている状況	よく閲覧し情報を得ている	必要に応じて閲覧している	閲覧したことがある	見たことがない	パソコンなどが使えない	無回答	合計
市HPでの環境課のページ (回答数)		1	25	36	179	48	11	300
(割合)		0.3%	8.3%	12.0%	59.7%	16.0%	3.7%	100.0%

市のホームページでの環境課のページについては、「よく閲覧し情報を得ている」や「必要に応じて閲覧している」、「閲覧したことがある」を合わせても約21%と、5人に1人の割合となっています。

「見たことがない」は約6割と多く、「パソコンが使えない」と合わせると、8割近くの市民が、見ていないとしています。今後の環境情報発信の課題ともいえます。



市民自由記載意見の内容

300名中104名の方より自由記載欄に意見等を記載して頂きました。その内容を主な内容ごとに整理すると次のようになっています。

① 環境基本計画等への意見

- 計画書の確認ができて良かったと思います。再度内容について参考にしたいと思いました。特に、気候の変化で環境保全も大きく違ってくると思います。防災についても同様と思います。今後とも安全安心な町づくりが必要と思います。
- 今後、生活環境が自然環境と比例して良い意味で改善されていくことを望む。また、自然環境に良い事は、私達市民に対して制限を与える事だと私は思う。その制限をしっかりと市はフォローし市民が住みやすいと感じるように平等な施策を講じていただきたい。約5年住んでいるが、この問題について今回の事で知った程度。これでいいのだろうか？とってしまった。
- 市環境や環境基本計画の方向性は良いとしても、もっと身近な問題を分かり易く周知徹底して欲しい。
- 問9にも記載させていただきましたが仕事が市外の為、また鴻巣市出身でもないことから、環境保全等についての理解が乏しいのが現状です。住宅周辺環境が特に問題ないことから関心が薄くなっているのかもしれませんが。
- 環境に配慮した街づくりでは、市民がそれを感じられる普段の中での取組があれば良いと思う。
- クリーン・エコなどは自治体・国が進めていると思うが田園地帯の保護状況などは、荒川などを歩いていてもよくわからないので、それをわかるようにすれば良いと思う。
- 生活に追われ、今まで関心が薄かった事は事実ですが、今後は注視していきたい。計画や具体的な活動内容をどうしたらわかるか、市の広報等を含め理解に務めていきます。
- 基本計画について役人の目線で見ているのでは。
- 「市のホームページを見て」投げやり一辺等。
- 住みやすく健康的に暮らせています。これからも鴻巣市が環境保全に取組暮らしやすいまちづくりをしていくことを望んでいます。
- 用地取得・買収・整備など費用もかかることなので、夢物語で語るのとは簡単ですが、鴻巣市の将来の街づくり環境保全を進めて行くうえでの参考、一市民の声として耳を傾けていただければ幸いです。
- 普段の生活の中で、環境について考えていなかったのが身近に出来ることから心掛けて行きたいなと思いました。
- 市民の環境問題に対する意識が低いと思う。広報で環境問題の意識を高める知識と頻りに特集すべきだと思う。(滋賀県民は環境問題の意識が高い。地域での清掃活動や道の駅等での野菜も無農薬が多い。洗剤等も界面活性剤を使用しない物を使用する家が多い)
- 環境基本計画がまずわからない。もう少し市民にわかりやすく公表して欲しい。そうすればもっと感心が持てるかもしれないし、環境に対して意思表示ができるかも知れない。
- 限りある資源を子々孫々まで残さねばと常日ごろ思っています。しかし豊かな暮らし優先になってしまい、楽・便利の方向で環境破壊・地球温暖化になっています。少し我慢する気持ちが無くなってしまったのでは。一人一人が関心を持たなければ環境は良くなっていかないと思います。鴻巣市環境基本計画は重大です。よりよい町になることを願います。

②鴻巣市のイメージに関する意見

- 利便性・高齢化社会・周囲とのコミュニケーション不足・少子化。それらを考えると、車がないと買い物にも行けない事。閉鎖的個人主義の人々。とても住みづらい所であると思う。
- ”ひな人形と花のまち”とうたっているが花のイメージがあまりない。そんなことをうたっていないまちの方が花にあふれているところがある。パンジーハウスやセリ市場があるからうたっているのだと思うが、もっと駅や役所、大通り等工夫して花をかざるべき。
- 雑木林のような公園があるといいと思う。
- 花の街鴻巣なのでもっともっと緑や花のあふれた街にして欲しいです。
- お花が街のあちこちにあって心の癒しになり、鴻巣の花のまちアピールにとっても良いと思います。これからも続けて欲しいと思います。
- 花と水路・大河・田園・広大な河川敷を有す鴻巣市。オランダの花と水河に匹敵する程の立地条件を有す鴻巣市。観光地を兼ねて考えても、河川敷と周囲の田園地帯にコウノトリ羽ばたく大田園公園都市。武蔵水路を運河として再利用、元荒川と花農作地帯の運河と風車のある田園花都市。いろいろな構想が浮かびすぎます。ぜひ東洋一の田園都市・水の都を構築して下さい。
- 私は荒川の河川敷でカンナの花を咲かせています。(西中の大内土手より見えます)夏の間6ヶ月(6月から11月)まで咲いてくれます。大内土手を散歩する人が少しでも見てくれたら幸いです。
- 鴻巣駅前、中仙道の道沿いのパンジーがいつもきれいだなと思って見えています。鴻巣市市内全体がこんなふうになれば(花でいっぱい町に)いいなと思います。整備して下さる方いつもありがとうございます。
- 四尺玉の花火大会や川幅うどん・ひな人形などで有名になり県外からの来客も増えているところで市内を流れる荒川河川敷の遊歩道やちょっとした東屋などもある公園・広場などがあたら良いなあとと思います。隣町の北本市の荒井橋下にはそんな広場があり、市民の憩いの場となっているので参考になると思います。
- 官地における公園や緑地の管理を地域に責任を課している気がします。官地における施設や緑はあくまでも行政が責任を負うべきと思います。
- 花のまち・花火のまち・若い人の華やぐまちになって欲しいです。

③自然共生社会(自然、生物、公園)に関する意見

- 静かだし、ウグイス・カッコーの鳴き声が聞けるし、オニヤンマだかギンヤンマだか大きなトンボが飛んでいるし(昨年は見なかったな・・・)、ヤモリ・ナナフシ・・・家のまわりにいます。環境は良いです。ただ暑くて寒いです。
- さきたま緑道に関して、必要のないモニュメントに経費を掛けるより、樹木の管理・育成に使用していただきたい。
- カラスがゴミをあさったり、お寺の回りを飛んでいたり、畑(自家栽培含む)の残さをあさったりして迷惑しているのでカラス対策をお願いしたい。
- カエルなどの生物(昔見ていた生物)をあまり見なくなりました。
- 河川の浄化を推進し、ホタルがたくさん観賞出来る綺麗な川づくりをお願いします。
- 街中の街路樹のムクドリの駆除は早急に対処すべきだと思います。特に鴻巣駅東口がひどいです。騒音やふんなどです。
- 私は家庭菜園を趣味としてやっていますが、アライグマ又はタヌキ等の動物により、せっかく収穫できるころになると食べられてしまいます。又、外来種の草が生えて繁殖し困っています。
- 大野神社の裏山を年2~3回トラクターでやぶたいじをしています。自然も手入れが必要です。

- 大内土手の外側の公園等を糖田グラウンド並みに考えてもらえたら幸せです。
- 鴻巣駅周辺に樹木を増やして欲しい。緑地帯を作ってもらいたい。
- 吹上地区の元荒川の件ですが、護岸工事をして、桜の花見は良いのですが、大雨が降った時、泥も沢山流れて来ます。その為に遊歩道と水面の距離が小さくなってしまいます。川底を履っている土を取り除く事は出来ないのでしょうか。このままですといつかは川の中の泥が遊歩道の高さと同じになるのではないかと思ってしまう。それに川の水もきれいに保つには葦（よし）等もあった方が水質は良くなると思います。
- ムクドリのはん害
- この地に住んで40年余りになります。今は昔の面影はなく、残っている自然、美しい風景等とても満足しています。
- こうのとりの生態系の復活を加速する。
- さきたま緑道が延長されて、自宅から緑道へとっても行きやすく快適になったのですが、高崎線の線路の下のトンネルの部分に落ち葉などがたまってしまっているのが少し気になります。今のところ掃除をする人もいないそうなので、定期的に掃除をしていただけたらより気持ち良く利用できるなと思います。ご検討していただけたらと思います。私は現在板橋区まで通勤していますが、比較すると鴻巣はとても街が綺麗だし清潔で民度も高いなと思います。ゴミも散乱していないし、このままきれいな街を保って行けたら良いなと感じます。
- 上谷公園水遊び場付近に屋根のあるベンチをもっと増やして欲しい。
- まだ小さな子供がいる30代主婦です。「自然」について思うのですが、自然がたくさんある環境はとても良い事だと思います。しかし自分の家の近くの公園はたくさん木や草があるためか、虫が多く少し遊ばせただけで、予防していても体じゅう虫さされだらけ。鳥も多いため公園はふんだらけで、子供たちが地面に手をつくのもソツとする程です。（今はマダニやヒアリの恐怖もあります）涼しくなってくるとホームレス？の人がベンチに寝ていたりして、多い木や背の高い草のため見通しが悪い公園はとても危険な感じがします。自然を増やし豊かな環境を保つ事は良い事だと思いますが「安全」である事を維持する事も必要だと思います。上記の事は子供を遊ばせる上での意見ですが、生活においても自分の家の前は木が多く、ムクドリが多くいます。（コウモリや尾長鳥も）ベランダにふんをされる事もあり、布団や洗濯物を干すのにとっても困っています。そういう状況を把握して対策を取る事も大事だと思います。大きな目標を掲げて表面的な成果を出すより「将来」より「今」の環境改善を期待しています。
- ゆったりと散歩の出来る緑あふれる公園があると。
- 寺社林の保護について。最近、寺社林の大きく育った木が伐採されている事で緑が少なくなって来ました。長い歳月をかけて生長し、青々と茂り涼を作り、小鳥たちの隠家でもあります。聞く所、近隣からの虫・日影になるとかの苦情に対して、この様にすぐに伐採して苦情に対処する事、はたして正しいのでしょうか。木々とて一日にして生長したわけではなく、長い間風雪に耐えて今があります。老木が朽ちて安全性に不安がある事とは違います。ローマは一日にして成らず です。緑の宝物を代々守って行きたいものです。
- 荒川土手隣アスファルト・バスケット網を作ってもらいたい。アスファルト野球ピッチャーマウンド網作ってもらいたい。（アーチェリー同じ）
- 北鴻巣駅からさきたま古墳までの緑道等を健康促進ゾーンにしませんか？

④低炭素社会（エネルギー、地球温暖化、地球環境問題）に関する意見

- 暑い夏ミストシャワーなど導入していただけたら嬉しいです
- 住宅街に入ると街灯が少なくなり、自分自身だけでなく子供の安全を考えた際道路が暗くて不安な面があります。太陽光を利用した街灯が増えると防犯対策にもなるのではないかと思います。
- エアコン使用時、ホースからの水をバケツに貯めて散水、草花・野菜等に使用している。
- オイルショックを経験し、自然エネルギーに注目しました。昭和56年に新築した家には太陽熱温水器・給湯設備を設置しました。会社を退職するに当たり、設備の老朽化で太陽光発電設備に変更し12年が経過しました。近年、自宅近くの小学校・中学校の屋上に太陽光発電用パネルが設置され、自治体としても自然エネルギーを活かす取組が教育現場で実践され嬉しく思います。
- 太陽光発電等設置には大幅援助があると設置も検討できると思う。
- 太陽光パネルはクリーンエネルギーを生み出すのには良いと思うが、10年も過ぎれば買い換えなければならない。その時パネルの廃材が大問題になる。（中にはヒ素が混じっているパネルがある）後々の事を考えてクリーンエネルギーを選択する必要がある。
- 太陽光発電や生ゴミ処理機の負担金を増やせば取り入れやすい。

⑤循環型社会（廃棄物、不法投棄関連）に関する意見

- ゴミの分別は大事な事だと思います。あまり細かく細分すると良く判らず混入すると思います。洗えば資源ゴミだが、汚れたままだと燃やせないゴミだと忙しい時は燃やせないゴミに入れてしまいます。洗うと水（水道水）も使うことだしやらなくなると思います。
- 寺谷東自治会近く（熊谷通り近く）の敷地に不法投棄されたゴミがある。年2回のクリーン運動の際、気になるがとても手が出せない。不法投棄をなくす良いアイデアがないかみんなで考えてみてはいかがでしょうか。
- 家の周りで焼却炉がある家が多く、早朝のゴミ燃やしなどが多く窓を開けているとプラスチックを燃やしている嫌な臭いがして来るので注意してもらいたい。近所からも苦情が出ているが一向にやめない。台風などがあると近所のゴミが飛ばされてくる。空き缶なども飛ばされてくるので注意してもらいたい。
- ゴミの分別は、本当に難しい。他市町村の友人との話でいつも驚かれるくらい細かい。環境の為には大切な事とはわかっていても皆が完璧に出来るとは思えない。子供から年配の方まで分かり易く、また、簡単に出来るよう工夫できたらと思う。
- 最近毎日ウォーキングをしているのですが、コスモスアリーナ周辺、荒川の土手、元荒川の桜並木道等々、ゴミのポイ捨てが目立っております。コスモスアリーナ脇の貯水池の中に布団、マットレスが投げ込まれていたり、アリーナの駐車場には古着、飲食した後のゴミ、分別のされていないゴミが捨てられており、又、土手の草刈りをした後には大量のゴミが現れていたり、本当に驚きです。一人一人が持ち帰り、決められた場所・日に決められた方法でゴミ出しをすれば済むことなのにと憤りを感じます。ウォーキングをしていて最近気づいたことです。
- 生ゴミを再利用させる為の生ゴミ処理の補助を検討して欲しい。コンポストやキエーロなど。
- 月曜日ビニール・缶（燃えないゴミ）。火曜日生ゴミ（燃えるゴミ）。第2・4水曜日蛍光灯・金属。第1・3水曜日資源ゴミ。私の近所（地区）では大変良く出しています。清掃車も綺麗に片付けてくださっています。
- 最近小さなゴミ（お菓子の袋やタバコの吸殻など）がよく落ちている。
- 夏場の生ゴミ回収日を増やして欲しいです。
- 道路にゴミがたくさんある。(川にも)

- 我が家はマンションの為、ゴミ収集場所が建物内にある為問題がないが、それぞれの地域地区のゴミ収集所は黄色や青色のネットをかけるだけの場所も多く見受けられます。ここではやはりカラスの被害によるゴミの散乱が気になります。市の予算の中で鉄製のゴミボックスを配備してはいかがでしょうか？自治会の当番制の集積所の清掃も軽減出来ることになるのではないのでしょうか。
- いろいろな自治体に居住してきましたが、ゴミ袋が有料なのに「燃えるゴミ」を週2回しか持っていかない自治体は初めてです。とても市民目線で行政が運営されているとは思えません。環境に関する計画づくりよりも、市民にとって重要なことは何か、しっかり考えて下さい。週3になることを期待しています。
- 廃油回収ステーションは市役所のみ到现在になっているが、今後は各ゴミ収集所に設置していただきたい。
- 河川に未だゴミが散乱している場所があるので、対策を考える必要があると思う。（監視カメラの設置など）
- ゴミの分別について。包装資源ゴミが素材ではなくて商品として買ったか、包装されていたか等で分別されるのがおかしいと思う。燃やせないゴミを減らそうと思ったら素材で分けるべきなのでは？ゴミ処理場の職員の方の話ではリサイクル出来るのがたくさん混じっていると聞いた。
- ゴミは市で収集していただいているのですが、川の所に草取りゴミ、木の枝等捨ててあります。せっかく草刈りを市でしていただいているのに残念です。
- 市道にゴミ（空き缶等）のポイ捨てが多く困っています。
- 今は自宅の庭で植木やゴミを燃やしてはいけなくなっていますが、近所のお宅で燃やして洗濯物が臭くなってしまい、近所の何軒かの家が困っています。通報すると何かあったら困るので見て見ぬふりしています。
- 自宅でゴミを燃やしている家があり、時々煙い空気になっている事がある。
- ゴミ収集業務を業者に丸投げした時から、状況は悪化した。収集場所には違反ラベルを貼った袋が置き去りにされたままになっている。これを誰が片付けるのか、出した本人が間違いに気づいて引き取る事は絶対でない。ゴミ出しルールを知ってか知らずか、違反ゴミ出しが後を断たない。
- 住民登録をしない短期滞在者や外国人労働者がかなり多く住んでいて、この人達は当然自治会には加入していない。誰がこういう人達へルールを徹底させるのか、一時的にはアパートなどのオーナーなり管理者であるが、行政の責任でもある。行政は連絡をしてくれれば回収するという消極的な対応しかしない。一時片付くが誰かがやってくれるとなると放棄はならずイタチごっこである。自治会員へはルールは徹底できている。自治会はこれ以上責任をもてない。片付けるのが環境衛生委員の役割だと言うのなら委員を返上する。根本的対策をせずモグラたたきしかやらないのであれば行政の怠慢である。資源ゴミは毎回盗難されている。この実情を知っているか？業者にヒアリングしても何も問題ないという回答が来るに違いない。何故なら余分に出動すれば金になるという関係にあるから。業者が違反ラベルを貼ったことを環境課に連絡させ自ら回収する。これを業者にやらせてはラベル貼りが増えてしまうことになる。環境課はデスクワークだけしていないでもっと現場に出て実情を見よ。もっと汗をかけ。そうすれば解決策は見えてくるはずだ。
- 自宅前の公道をきれいに清掃する家庭もあれば、ゴミが落ちていても全く気にせず清掃をしない家庭も少なくない。（特に移住してきた家庭に多い）美しい街づくりは行政まかせではなく、市民一人一人の意識にあることを伝えていくべきである。
- 水道料金が低い。川口市からこちらに来ましたが水道料金が倍くらい高いです。高い水道料金を払って？プラゴミや資源ゴミをきれいに洗って下さいとはおどろきです。さいたま市なのはケチャップやマヨネーズは水資源の無駄を考え洗わずに燃えるゴミで出すそうです。
- 元荒川にゴミがたくさんあります。

⑥安全安心(生活環境、災害、環境リスク等)に関する意見

- 防災無線等を活用して市民にお知らせする(活動内容等)
- 元荒川が夏になってから汚くて非常に残念な気持ちになりました。どうしようもないのでしょうか?
- また、下水道の整備等市の中心部に実施している事項を中心部以外にも積極的に対応するよう実施されればと思う。
- 風向きが悪いとブタの臭いが臭い。
- 武蔵水路の水質アップと周辺整備の促進をお願いしたい。
- 市内の道路における工事が増えていることにより、渋滞が発生し排気ガスによる大気汚染が心配です。渋滞している道路の横を子供と手を繋ぎ歩かなくてはならないのも悩みの一つです。もっと減らせる工事はないのでしょうか。無駄な工事を減らし税金の確保、空気のきれいさに繋げるのも一つかと思えます。
- 毎日ではありませんが、夕方になると畜舎からの悪臭がひどく窓が開けられません。
- 強風時、土ぼこりで徒歩や自転車の時、目が開けられません。雑草対策でトラクター等で耕運した畑から土が舞い上がっています。作物が植えてある畑や用土の土山はそれほどひどくないような気がします。
- 浄化槽や下水が季節や気候(天気)によって臭う時があるので、予算の関係で大変とは思いますが、出来たら本下水の整備を計画していただければ幸いです。
- 元荒川を一年中綺麗にしてください。
- 大芦小の近くに住んでいます。年に2回程川の雑草をとってっていますが、すぐ大きくなってしまいます。見てくれも悪く、雑草が生えないようコンクリートとか何か考えて欲しいです。掃除するのも大変です。
- その他、最近は一軒家で空き家が多く見られ、草が生い茂り冬には枯れて火災などが起こる可能性が大であります。以上些細な事ではありますが環境を良くするには小さな身近な事から取り組む必要があります。
- 大内公園で月・水・金の3日健康のためグランドゴルフをしています。23名の仲間と楽しく過ごしています。大内公園はトイレも新しくなり設備手入れも行き届いています。
- 犬の散歩の時、せめてふんに土をかけて行って欲しい。ハエがたかって良いわけがないので。動物の管理には飼い主の責任を強く要望します。
- 市役所敷地内に設置してあるタバコ喫煙所を撤去すべきである。脇道路を歩いていて非常に不快になる。(煙が道路までくる)
- 上尾から4年前に鴻巣に来ましたが、水道の水が悪くて飲めません。あと水はけが悪いです。
- 平成20年に施行された「路上喫煙及び空き缶等のポイ捨て(略)条例」の啓蒙活動が不足しているように感じられる。私は行田駅(JR)を通勤に利用しているが、路上喫煙者を見かけない日などない。行田市も似たような条例を元に駅周辺の路上喫煙をしないように促しているにもかかわらずである。個人的な考えで述べさせていただくと、路上喫煙禁止区域はいつそ市内全域に広げたほうがいいと思う。市民通報を効果的に活用することでパトロールする人員もさかずに済むと思うのだが。加えて近隣自治体との連携もより一層図っていくべきである。
- 工場の臭いがひどい。17号バイパス・ドンキホーテ前の旧日産ディーゼル、宮前の理研コラナム。
- 鴻巣駅西口の線路沿いも禁煙にして欲しい。歩きタバコの人が多く小学生の健康に悪い。
- 未だに野焼きが多い。条例違反という事を知らしめてほしい。火事かと思うようなすごい勢いで燃やす人もいれば日中すごく天気の良い日にも燃やされ家の中や洗濯物に臭いが付着し、自分はぜんそくがあるのでとても不快な思いを何度も体験しています。環境の事も考えてほしい。

- 家の近くに土置き場があり1年中土ぼこりになっています。近所の人達といつも困ったと話をしています。市ではどうにかならないのでしょうか、広田地区です。
- 犬の糞やタバコの吸殻、空き缶等を道路に捨てる人がいる。町の美化を損ねる。清掃に手間取る。何か良い案を示し、きれいな環境になることを望みます。
- 用水等が汚くなっている（生活用水）30年前はきれいだった（魚・ザリガニ・どじょうが生息）
- 環境課の方も市内を巡回してみたらいかがですか。
- 最近家の庭や家庭菜園をしている畑に猫のふんがあつて困っています。マナーの良くない飼い主さんがいて言っても言う事を聞かなかつたり、言うとな所トラブルにつながってしまうので、現在悩んでいます。猫のふんがそこらへんにたくさんあつたりすると公害の原因などにもなってしまうと思います。飼い主さんのマナーが悪いと飼われている猫もかわいそうです。私達家族だけではなく他でもその事で悩んでいる人は多いと思います。散歩している犬のふんは、昔よりはどの地域も減りました。猫も犬の様に減って欲しいです。
- 北鴻巣駅周辺のタバコの吸殻のポイ捨てが非常に多い。ポスターや看板・条例の制定などを検討していただきたい。
- 吹上の消防学校近くの荒川の支流？のゴミ。とても汚く、見ていて悲しくなる。
- 野良猫が多くて困っています。
- 犬のふんをさせたままで困っています。

⑦環境教育・環境保全活動に関する意見

- 子供の少子化に伴い安全な生活が出来るよう見守り（大人たち）、環境づくり等をもっと推進して欲しい。
- 今の子供達になにが大切か、環境・掃除について取り組めるような活動を学校や地域の方に実施して欲しいです。
- 問8と問9について。「環境保全に対する活動への参加」項目ですが、中身がわからないので参加できません。例えば、社協のボランティア見本市のように具体的に内容を教えていただければ参加しやすいと思います。
- 良い環境を作る為には、科学に頼った環境を作り上げるだけでなく、良い人間づくりが必要だと思います。道徳・礼節が失われた者達が、今の日本を作っています。日本人の本来の美しい魂を取り戻す為、もう一度教育の見直す必要性があると思います。科学と豊かな人間の心が、良い環境を作り出すと思います。
- 市の環境保全の為に個人として出来ることは協力して行きたい。
- 市の環境を考えるのなら、まず、第一に自分の職場から始めるべき。
- 公園にターザンロープやアスレチックなど子供達が体を沢山動かせる遊具を作って欲しい。
- このように広く各年齢層の意見を聞く事は重要であると思います。今後、本市の人口減少が予想されるとの話も耳にします。若い世代が魅力を感じる環境作りや環境保全それらを守る為の市民が参加したくなるような環境を守る活動計画をお願いします。
- アパートの一人住まいなので情報が少なく、活動とかの取組がわからない。
- 鴻巣市のより良い環境作りに今後機会があれば参加貢献出来る様に心掛けて行きたいと思いました。
- 広報物等読みやすい物を発行して、年齢に拘わらず誰もが鴻巣市の取組に参画している感覚が持てるようにしてください。いつも鴻巣市の為に汗を流してくれてありがとう。
- 自治会に入らない若い夫婦の家庭が増えている、ゴミ出しのルールも守らず一斉地域と関わらないようにしている家庭。災害が起きた時はいったいどのように行動できるのだろうか心配になる。

- 急速な都市化と空き家が大きな問題かと思えます。また、実際にあったことですが、相続による放棄農地・住宅の空き家の老朽化、調整区域での急速な都市化による地域コミュニケーションの変質化色々ありますが、少なくとも私の周りでは、都市化と人口流入による地域コミュニケーションの希薄化を感じております。地域に根ざした環境保護も難しくなっていると痛感致します。バブル世代をどう横のつながりを持たせるようにするかが鍵ではないかと感じます。
- 花いっぱい生活環境を民間と市で協働すべきだと思えます。

⑧交通・まちづくりに関する意見

- 通学路の整備
- 鴻巣市の中山道沿いの商店街は夕方6時以降人通りが少なく街灯も暗く寂しいので、夕方でも賑やかになる様に考えてはいかがでしょう。
- 大栄団地から57号道路に出るところで事故があったこともあり、車の交通量も多く歩行者や自転車も多いので怖いです。信号を付けて欲しいです。
- 旧中山道がせまく自転車で車道を走行しなければならないとわかっていても難しい。松山県道にある自転車専用レーンはとても走りやすくありがたいと感じる。もっと増やして欲しいです。出来るだけ自転車を利用したい。
- 利用者の数にもよりますがコミュニティバスの一時間あたりの本数や夜7時以降の運行があると助かります。
- 鴻巣駅前のビルの工事現場完成致しますと大変立派に成りますが、元のミスタードーナツのところが少し心配です。
- 鴻神社から馬室に通ずるガードが出来て大変便利になり、助かっています。
- コミュニティバスの運行のあり方。もっと利用しやすいよう市民の声を聞き入れるべきで、便利に利用出来るなら自家用車の使用頻度も少なくなり排ガスも減ると思う。
- 北鴻巣駅西口にコンビニをお願いします。（空きテナントあります）
- 北鴻巣駅から東松山駅間と北鴻巣駅から行田折り返し場（バスターミナル）間の市バス開通をお願いします。
- 北鴻巣駅は、他の駅に比べ歴史が浅いせいか、インフラや商店の充実が遅れている気がします。しかし鴻巣市のベッドタウン的存在の北鴻巣駅には、インフラや商店に対する住民のニーズはかなり高いと思われます。是非ご検討下さい。宜しくお願い致します。
- 耕作放棄地・空き家・空き地の対策をお願いします。
- 街灯をもっと増やして欲しいです。（逆川1丁目）
- 歩道が危ない。
- バスの本数を増やして欲しい。そうすれば車の利用を減らしたい。
- 加須県道。上生出塚辺り道路をトラックが走ると家が揺れるので直して欲しいです。
- 高齢化し車に乗れない年齢になっても生活しやすいスーパーやホームセンター・病院・介護施設が近くに必要です。又、それらを結ぶ交通網を整備して欲しいと思えます。
- 店舗出入口にある街路樹で見通しがきかないところがある。
- 駅のロータリー送迎の為に駐車スペースが少ない、使いにくい。
- 旧中山道など歩道がない。
- 街路灯をもっと増やしてほしい。
- 道路のつながりが悪い、特に鴻巣駅西口!!駅前通りから364号線に出づらい!!
- 市内循環バスの本数を増やして欲しい。特に夜8時以降右回り。せめて30分~60分に一本はあると良い。
- 吹上駅南口の景観が悪いです。最近喫煙所が出来ましたが、そんなもの作るよりも、もっとキレイな駅、町並みを整備してください。

- 難しい事とは思うが、「空き家対策」に力を入れてもらいたい。
- 小動物の住み家になったり、虫の発生などの問題もあり、また、放火などの対象になったりと気になる課題は多いと思う。
- 北新宿では、道路が整備されておらず、でこぼこしている道が多い、雨が降ると水たまりができ、車で通ると歩行者に水はねしてしまう。
- 高崎線の大間のアンダーパスが出来たおかげで交通の便が大変良くなったが、今まで自宅の前の道路を通過することがなかった大型車両がひんぱんに通り、騒音・排ガス・振動の影響で住みにくい家になった。
- 環境の保全について言いますと、少し方向がずれますが。まちの美化とか景観安全利便性から、裏の出口の道路がいつまでもセットバックもなく道路が昔の間道路のままなのに困っています。〇〇の間の道路は建物がはみ出していますし、アパートが奥にあるのに引越しも困ります。アパート経営が出来なくなりそうです。〇〇さんには電柱をあとからぎりぎりの所に建てられてしまいました。以前はその反対側の駐車場を通らせていただけにいました。今は整備されて通れなくなりました。
- 高崎線の大間のアンダーパスが出来たおかげで交通の便が大変良くなったが、今まで自宅の前の道路を通過することがなかった大型車両がひんぱんに通り、騒音・排ガス・振動の影響で住みにくい家になった。
- 基本構想の土地利用構想では、この地区は農業集落地ゾーンに該当する。現状から2040年を推測すると下記の事象から、この地区は戸数の減少・人口の減少から過疎地に進行すると思料する。
 - (1) 核家族の浸透と制度：①農家の後継者は勤務地に近い地域に居住が顕著 ②非農家の子供は生活に便利な都市部に永住が顕著 ③未婚者の増加 ④市街化調整区域による人口出超。
 - (2) 影響：①子供の減少（学校の統廃合） ②公共交通の利便性低下 ③集落地域の活動負担増（コミュニティからの脱退） ④空き家の漸増 ⑤休耕地の荒廃（特に集落のある畑地）
 記載者は(2)④に該当で進行中？
- 夜道の暗さが（駅から離れた所は）気になります。私は駅周辺に住んでいるので生活上の不便はありませんが子供から大学生くらいの子も多く住んでいるのでもう少し夜道が明るくなるようなものがあるといいと思います。例えば、コンビニを増やす、空き地などを有効活用するなど。なかなか難しいとは思いますが危ない事故や事件が起こらない街であって欲しいです。「環境」についての要望と思って書きましたがまと外れでしたらすみません。
- コミュニティバス「フラワー号」の本数などもっと増やした方がいいと思います。特に「旧中山道」沿いは最近家が増え住む人も増加したり、世の中高齢化が進んで免許返納も多くなり若年層でも免許の有る無しを問わず運転が出来ない、車を所有していない方も多いと思います。なので、バスの本数が今より少しでも多くなれば市民も、もっと住みやすくなるのではと思います。鴻巣駅前もまた再開発をしているので、これから人口が増えるかも知れないので。もしくは人口密度の多い市街地は路線バスを復活して他の地域はフラワー号で今より本数を多めにするとかいいと思います。鴻巣市はとても良い街です。更に良い街になると嬉しいです。
- 東京駅皇居前のお堀の周りを走っているマラソン好きの人達にも温泉&シャワー設備完備で、日帰りで楽しめるように…… 東京都民のマラソン好きの人達と一緒に作るのもよし……
北鴻巣駅に病院建設がなくなったと聞きますが、それならば病気予防のそのために健康促進施設等の建設をしませんか？週末は都内から一時間で駅からすぐに楽しめる場所は他にないと思うし・・・レベルの高い病気予防の健康促進施設の街作りが出来たら若い人たちの雇用も増え、病院は誘致しなくても自然にやってくるのではないのでしょうか。鴻巣市で20年若いお母さんたちと一緒に女子サッカーをしていて強く感じます。優秀な若い人達が沢山います。北鴻巣駅をレベルの高い街作りする事はそんなに難しい事ではないです。それが認知されたら鴻巣市あらゆる企業も来るのではないのでしょうか。

- 最近進められている駅前開発は鴻巣市の景観を壊していませんか。
- 市バスフラワー号北鴻巣～吹上路線。もう少し本数を増やして欲しいし、無理に人が乗らない場所まで行かずに利用しやすくして欲しい。平田市や蕨市のコミュニティバスを利用しましたが、乗る人も多く駅まで30分以内で着くルートで便利である。北鴻巣～吹上路線利用しやすくして欲しい。
- アピタから吹上までの歩道歩いてみて下さい。ガタガタです。
- 北鴻巣・吹上駅の近くでも暗いです。もう少し明るい電球にして下さい。
- 仕事に行くのも車・買い物行くのも車、車ばかり利用せず公共の交通機関を利用する取組を考えて欲しい。北鴻巣や吹上からアピタまで無料バス運行とか・・・
- 市内の道路について申し述べます。巾12m以上ある大通りには道路両側には歩道があり境には引石もありますが、12m以下の裏通りの道路には歩道と道路との境に引石のある所とない所、或いは場所によっては歩道もないような所もある。又、所によっては片側だけ歩道と引石があり反対側には白線は引いてあるが満足な歩道もない所あり。この様な事では良い環境とは思えない。

⑨その他に関する意見

- 家の前で農家を始めたのだが、草が生えていて虫が多く飛び困るので注意して欲しい。とにかく近所の環境が悪い。
- 食べ物屋さんが少ないですかね？鴻巣ならではの店などでもっともっと鴻巣市をアピールして欲しいです。大好きな鴻巣ですので。（環境と違う内容ですみません）
- 質問の意味が分かりにくい項目がある。
- 問7は難しい、例を挙げて説明してくれると答えやすい。
- アンケート集計結果。問題点の解決・対応策をスケジュール化して報告して欲しい。
- アンケートでも質問の趣旨がわからない質問が多すぎです。例えば地場産センターみたいな所があるか？わからない。
- 行政テニスコート、廃テニスコートにしてもらいたい。
- 六本木ライブカメラ同じ作ってもらいたい。
- 標題の意味とは全く関係がないのですが、このようなアンケートを郵送するのはどうなのかなと思いました。アンケートに意見を記入する人がどれくらいいるか、もしかしたら手間なので誰も提出しないかもしれないと思います。アンケート調査に、費用がかかるのはどうなのかなと思いました。郵送するよりも市役所・支所に来所した市民にその場で記入してもらおう方が安上がりだと思いました。
- 鴻巣市とはあまり関係ありませんが、最近スーパーのベルク宮前店さんが移動スーパーを始めたのは、とても良い事だと思いました。忙しくて買い物にあまりいけない近くにスーパーやコンビニなどが無い、買い物に行くのが困難な方には良いと思いました。もっと移動スーパーとか御用聞き、ネットスーパーなど鴻巣市をはじめ日本全国に普及すると良いと思いました。

2 事業者アンケート結果

事業者アンケートについて、前回調査（H24.8実施）では、事業所の規模や業務内容を考慮して100社抽出しているのに対して、今回調査では、登録台帳より無作為に100社を抽出しています。その結果、小規模の個人経営の事業者も多く、一概に比較はできないといえます。また、回答率も低いことから、回答事業所の属性等による比較は困難といえます。

しかし、製造業など比較的規模の大きな事業所では、環境マネジメント実施をはじめ、法令等により廃棄物対策や温室効果ガス排出抑制対策などの取組が進められてきています。今後の課題として、事業者の多数を占める小規模や個人経営の事業所での取組の普及と推進が重要になってきており、こうした事業所の環境に対する意識や意向などを把握していくことにしています。

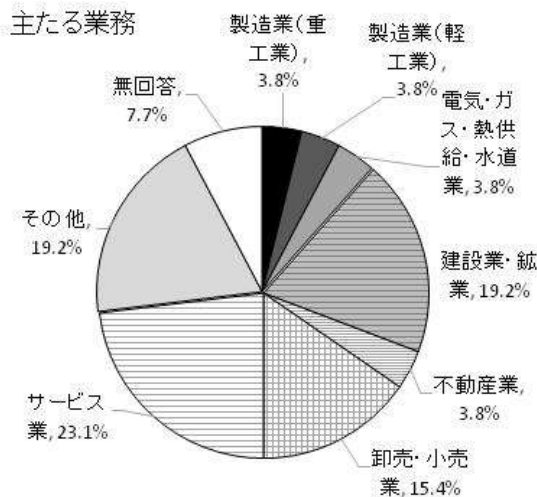
問1 事業所のこと

調査票に回答いただいた事業者の主たる業務や事業所の規模などについて、市内の主たる事業所を基本にたずねています。

問1-1) 主たる業務

【単一回答】

選択肢	回答数	割合
製造業(重工業)	1	3.8%
製造業(軽工業)	1	3.8%
電気・ガス・熱供給・水道業	1	3.8%
運輸・通信業	0	0.0%
建設業・鉱業	5	19.2%
不動産業	1	3.8%
金融・保険業	0	0.0%
卸売・小売業	4	15.4%
宿泊・飲食業	0	0.0%
サービス業	6	23.1%
その他	5	19.2%
無回答	2	7.7%
合計	26	100.0%



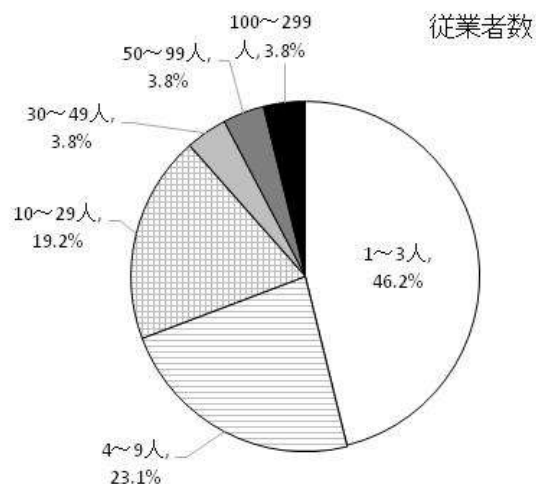
回答事業者の主たる業務として、サービス業が23%と最も多く、次いで、建設業・鉱業とその他がそれぞれ19%、卸売・小売業が15%と、合わせて8割近くを占めています。

前回調査では、回答事業所のうち製造業が約32%、その他が21%、サービス業が19%で、3業種で、回答事業者全体の約7割を占めています。なお、今回調査では、製造業（重工業）、製造業（軽工業）、電気・ガス・熱供給・水道業、不動産業では、回答事業者はそれぞれ1社と極端に少なくなっています。

問 1-2) 従業者数

【単一回答】

選択肢	回答数	割合
1～3人	12	46.2%
4～9人	6	23.1%
10～29人	5	19.2%
30～49人	1	3.8%
50～99人	1	3.8%
100～299人	1	3.8%
300～499人	0	0.0%
500～999人	0	0.0%
1,000人以上	0	0.0%
合計	26	100.0%



回答事業者の半数近くが、従業者数 3 人以下の事業所となっています。また、従業者数が 300 人以上の事業者は無く、30 人以上が 3 社のみとなっています。

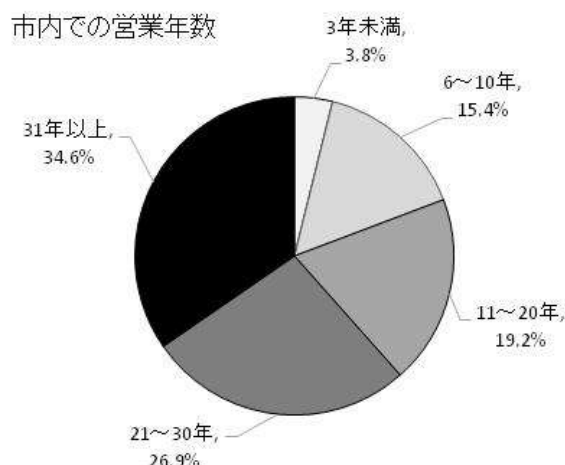
前回調査でも、従業者数 300 人以上の事業者はありませんでしたが、従業者数 10～19 人の事業者が最も多く、次いで、4～9 人の事業者で、合わせて 6 割近くを占めていました。となっていました。

前回調査では、10 人未満が 3 割であったのと比べ、倍以上となっており、今回調査の事業所の規模が小規模な事業所が多くなっています。

問 1-3) 市内での営業年数

【単一回答】

選択肢	回答数	割合
3年未満	1	3.8%
3～5年	0	0.0%
6～10年	4	15.4%
11～20年	5	19.2%
21～30年	7	26.9%
31年以上	9	34.6%
合計	26	100.0%



事業者の市内での営業年数は、31 年以上が最も多く、回答事業者の約 3 分の 1 を占めています。次いで、21～30 年の順で、合わせて約 6 割の事業所となっています。また、営業年数が少ないほど低くなっています。

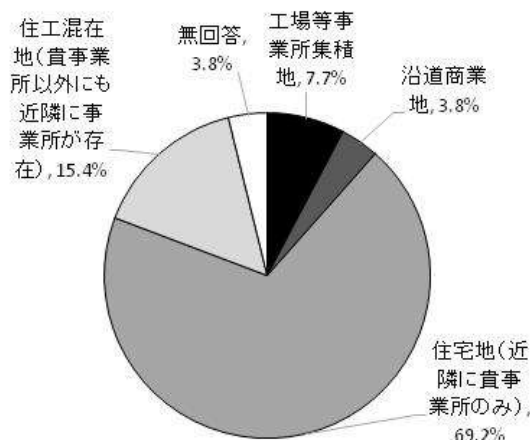
前回調査では、31 年以上が 7 割以上を占め、21～30 年の営業年数の事業者と合わせると、8 割以上を占めています。

問 1-4) 事業所の周辺環境

【単一回答】

選択肢	回答数	割合
工場等事業所集積地	2	7.7%
沿道商業地	1	3.8%
住宅地（近隣に貴事業所のみ）	18	69.2%
住工混在地（貴事業所以外にも近隣に事業所が存在）	4	15.4%
その他	0	0.0%
無回答	1	3.8%
合計	26	100.0%

事業所の周辺環境



事業所の周辺環境として、住宅地（近隣に他の事業所がない）が最も多く、全体の7割近くを占めています。また、次いで、住工混在地（貴事業所以外にも近隣に事業所が存在）の事業所となっており、回答いただいた事業所の業種や規模等とも対応しています。

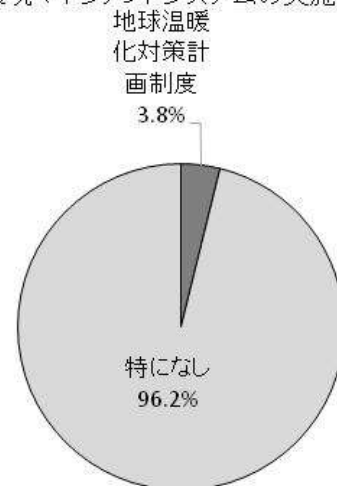
なお、前回調査では、住工混在地の事業所が35%、次いで住宅地の事業所27%、沿道商業地の事業所14%で、合わせて7割以上を占めていました。

問 2 環境マネジメントの実施状況

【複数回答（あてはまるもの）】

選択肢	回答数	割合
ISO14001 認証取得	0	0.0%
エコアクション 21 を運用	0	0.0%
埼玉県エコアップ認証制度	0	0.0%
地球温暖化対策計画制度	1	3.8%
その他環境マネジメント	0	0.0%
特になし	25	96.2%
合計	26	100.0%

環境マネジメントシステムの実施状況



環境マネジメントシステム等を導入している事業所は、「地球温暖化対策計画制度」による取組を実施している1社のみで、残りの事業所は特になしとなっています。

なお、前回調査では同じ内容の設問はありませんでした。

■問 2 「その他」環境マネジメント

<1社>

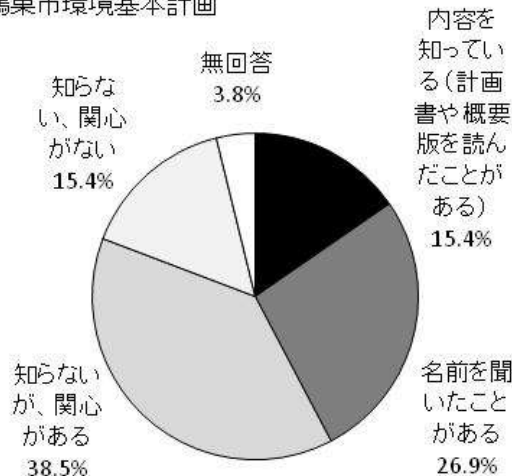
- 太陽光一部利用

問3 鴻巣市環境基本計画など市の環境保全等に関する情報

問3-1) 鴻巣市環境基本計画について

選択肢	回答数	割合
内容を知っている(計画書や概要版を読んだことがある)	4	15.4%
名前を聞いたことがある	7	26.9%
知らないが、関心がある	10	38.5%
知らない、関心がない	4	15.4%
無回答	1	3.8%
合計	26	100.0%

鴻巣市環境基本計画



鴻巣市環境基本計画について、「内容を知っている(計画書や概要版を読んだことがある)」と「名前を聞いたことがある」を合わせると、4割以上の事業者が知っているとしています。

しかし、「知らないが、関心がある」と「知らない、関心がない」を合わせると半数以上の事業者が知らないとしています。

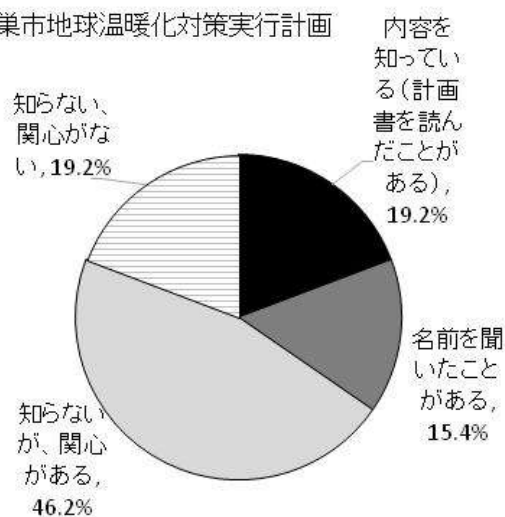
前回調査では、「内容を知っている」(0%)と「内容をおおよそ知っている」(12.7%)となっており、また、「名前は聞いたことがある」が44.4%で最も多く、合わせると6割近くの事業者が知っていましたが、今回調査では「知らない」との事業者が上回っています。

なお、「知らない」と回答した事業者のうち7割が「知らないが、関心はある」と回答しています。今後の「関心がある」や「名前を聞いたことがある」とした事業者への普及啓発が課題となっています。

問3-2) 鴻巣市地球温暖化対策実行計画

選択肢	回答数	割合
内容を知っている(計画書を読んだことがある)	5	19.2%
名前を聞いたことがある	4	15.4%
知らないが、関心がある	12	46.2%
知らない、関心がない	5	19.2%
合計	26	100.0%

鴻巣市地球温暖化対策実行計画



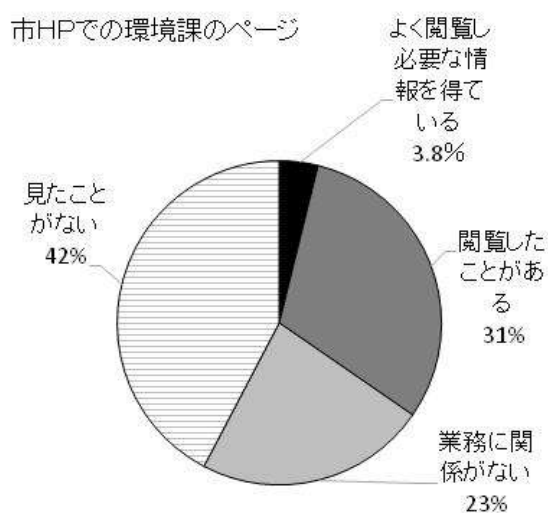
鴻巣市地球温暖化対策実行計画について、「知らないが、関心がある」と「知らない、関心がない」の「知らない」が約65%と、「内容を知っている(計画書や概要版を読んだことがある)」と「名前を聞いたことがある」を合わせた「知っている」の約35%より、30ポイント以上高くなっています。なお、「知らないが、関心がある」が約46%と最も多く、関心は持っていると考えられます。この項目は前回調査には設問がありませんでした。

問 3-3) 市HPでの環境課のページ

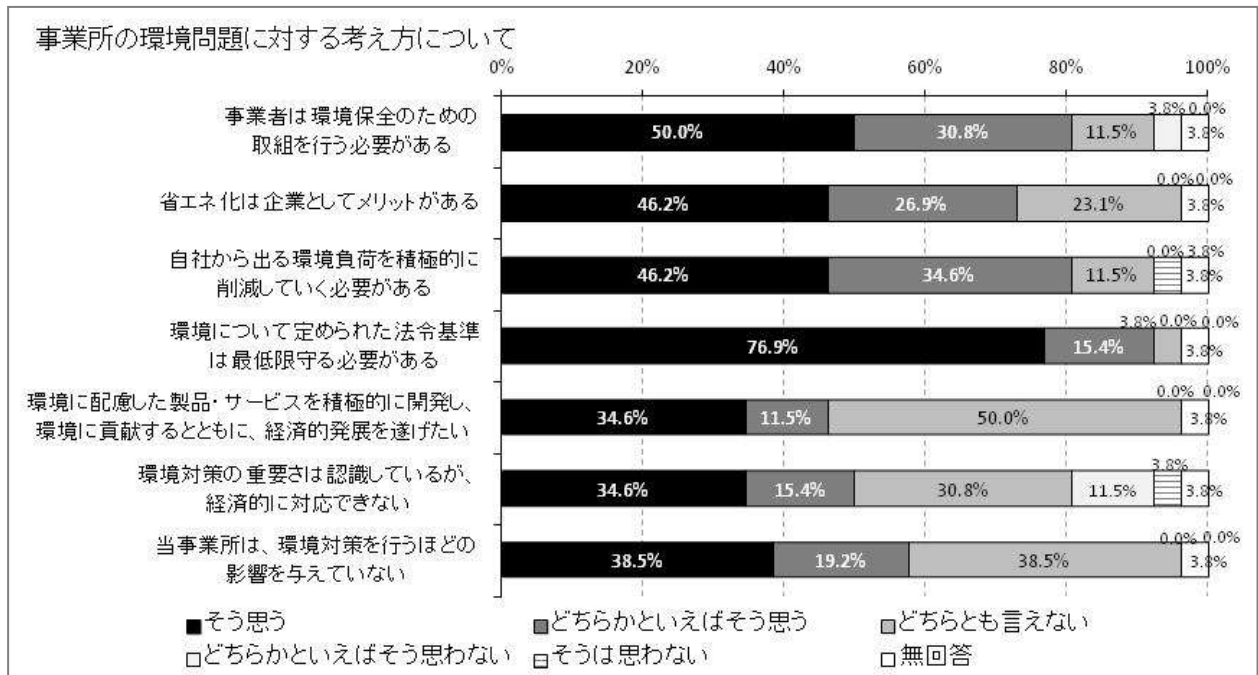
選択肢	回答数	割合
よく閲覧し、必要な情報を得ている	1	3.8%
閲覧したことがある	8	30.8%
業務に関係がない	6	23.1%
見たことがない	11	42.3%
合計	26	100.0%

市のホームページ内の環境課のページの閲覧状況について、「よく閲覧し、必要な情報を得ている」と「閲覧したことがある」を合わせても3分の1で、多くの事業者は「見たことがない」や「業務に関係がない」としています。

なお、この項目も前回調査には設問がありませんでした。



問4 環境問題に対する考えについて



(回答数 26)

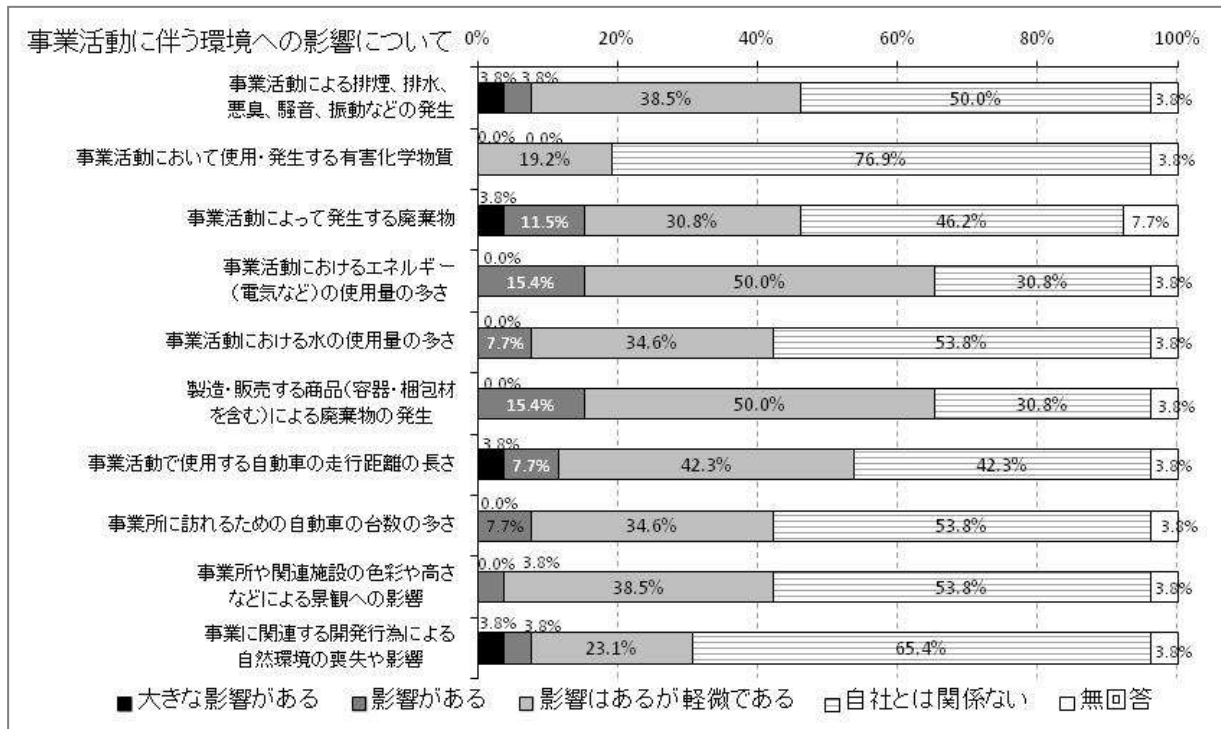
項目	考え	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらとも言えない	どちらかといえばそう思わない	そうは思わない	無回答	合計
① 事業者は環境保全のための取組を行う必要がある		50.0%	30.8%	11.5%	3.8%	0.0%	3.8%	100.0%
② 省エネ化は企業としてメリットがある		46.2%	26.9%	23.1%	0.0%	0.0%	3.8%	100.0%
③ 自社から出る環境負荷を積極的に削減していく必要がある		46.2%	34.6%	11.5%	0.0%	3.8%	3.8%	100.0%
④ 環境について定められた法令基準は最低限守る必要がある		76.9%	15.4%	3.8%	0.0%	0.0%	3.8%	100.0%
⑤ 環境に配慮した製品・サービスを積極的に開発し、環境に貢献するとともに、経済的発展を遂げたい		34.6%	11.5%	50.0%	0.0%	0.0%	3.8%	100.0%
⑥ 環境対策の重要さは認識しているが、経済的に対応できない		34.6%	15.4%	30.8%	11.5%	3.8%	3.8%	100.0%
⑦ 当事業所は、環境対策を行うほどの影響を与えていない		38.5%	19.2%	38.5%	0.0%	0.0%	3.8%	100.0%

事業所の環境保全について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた「思う」が最も高いのは、「環境について定められた法令基準は最低限守る必要がある」で 9 割以上の事業所が考えています。

次いで、「事業者は環境保全のための取組を行う必要がある」と「自社から出る環境負荷を積極的に削減していく必要がある」がそれぞれ 8 割以上と高くなっており、環境保全の対策の必要性については、多くの事業所が考えているといえます。

これらの項目について、前回調査との比較では、それぞれ 10 ポイント前後下がっており、「当事業所は、環境対策を行うほどの影響を与えていない」と考える事業所が 20 ポイント以上多く、事業所の規模や業種の相違が大きいと考えられます。

問5 環境にどのような影響を与えているかについて



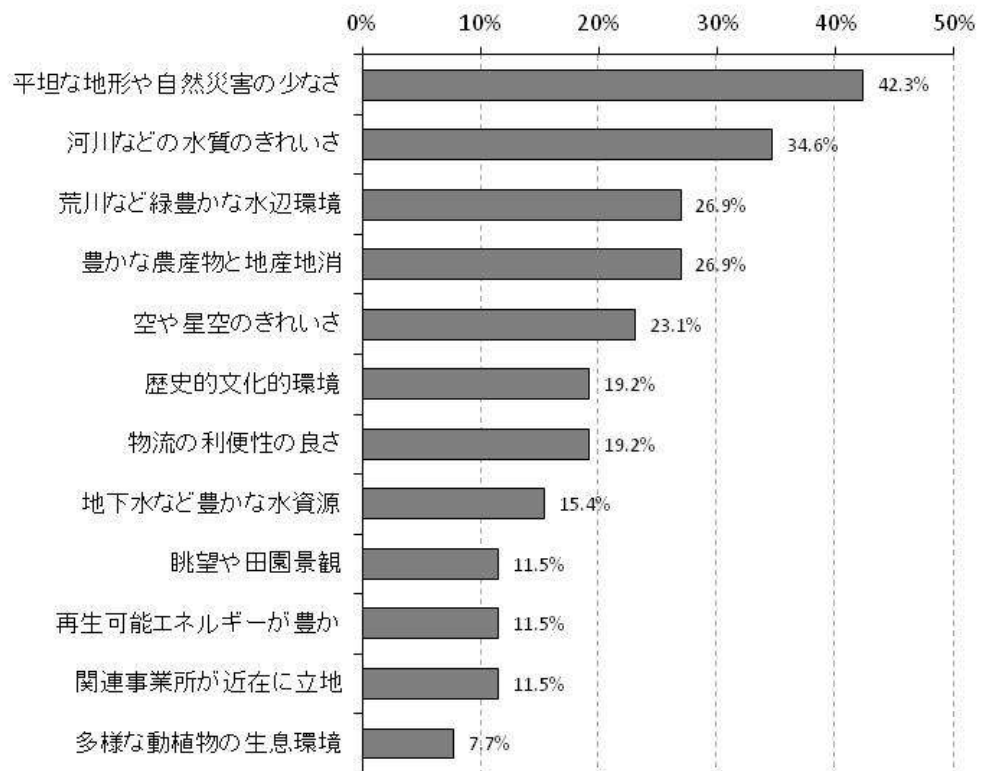
(回答数 26)

項目	大きな影響がある	影響がある	影響はあるが軽微である	自社とは関係ない	無回答	合計
① 事業活動による排煙、排水、悪臭、騒音、振動などの発生	3.8%	3.8%	38.5%	50.0%	3.8%	100.0%
② 事業活動において使用・発生する有害化学物質	0.0%	0.0%	19.2%	76.9%	3.8%	100.0%
③ 事業活動によって発生する廃棄物	3.8%	11.5%	30.8%	46.2%	7.7%	100.0%
④ 事業活動におけるエネルギー（電気など）の使用量の多さ	0.0%	15.4%	50.0%	30.8%	3.8%	100.0%
⑤ 事業活動における水の使用量の多さ	0.0%	7.7%	34.6%	53.8%	3.8%	100.0%
⑥ 製造・販売する商品（容器・梱包材を含む）による廃棄物の発生	0.0%	15.4%	50.0%	30.8%	3.8%	100.0%
⑦ 事業活動で使用する自動車の走行距離の長さ	3.8%	7.7%	42.3%	42.3%	3.8%	100.0%
⑧ 事業所に訪れるための自動車の台数の多さ	0.0%	7.7%	34.6%	53.8%	3.8%	100.0%
⑨ 事業所や関連施設の色彩や高さなどによる景観への影響	0.0%	3.8%	38.5%	53.8%	3.8%	100.0%
⑩ 事業に関連する開発行為による自然環境の喪失や影響	3.8%	3.8%	23.1%	65.4%	3.8%	100.0%

事業活動が環境にどのような影響を与えているかについてたずねています。全体的に「大きな影響がある」と「影響がある」と考えている事業所が少なく、「自社とは関係がない」との回答や「影響はあるが軽微である」との回答が、各項目で高くなっています。

前回調査との比較では、影響があると考えている事業所の割合が低くなっています。

問6 活用しているまたは活用していきたい鴻巣市の環境や資源について



事業活動に活用している、あるいは今後活用していきたいと考えている鴻巣市の環境や資源について事業活動にとって良いと思う鴻巣市の環境や資源についてたずねています。

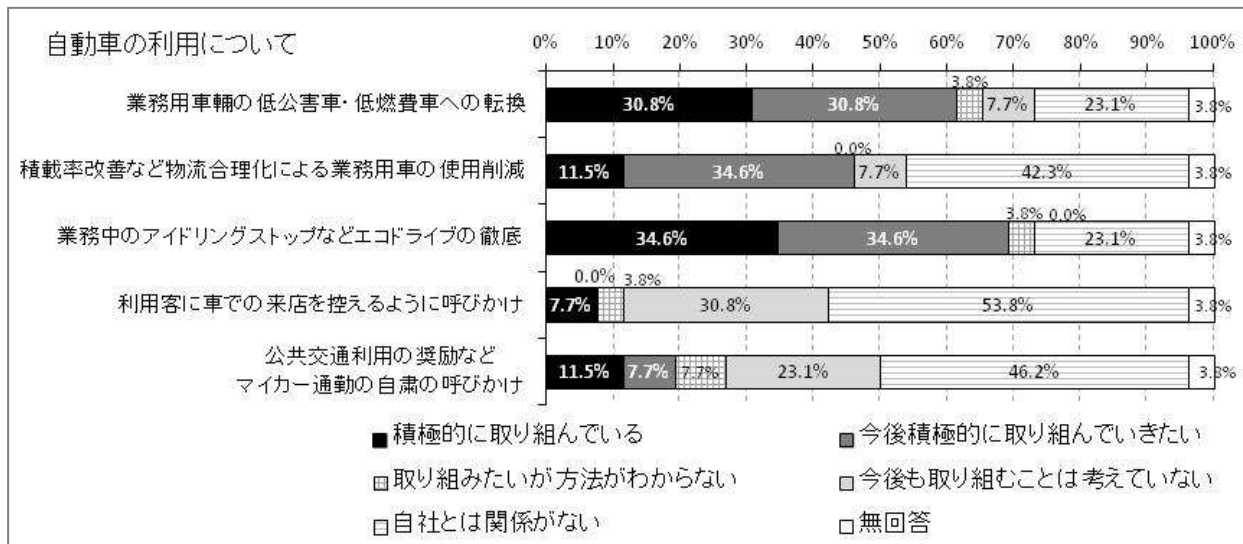
「平坦な地形や自然災害の少なさ」が約42%と最も多く、次いで「河川などの水質のきれいさ」が約35%、「荒川など緑豊かな水辺環境」と「豊かな農産物と地産地消」がそれぞれ約27%となっています。

選択肢	回答数	割合
平坦な地形や自然災害の少なさ	11	42.3%
河川などの水質のきれいさ	9	34.6%
荒川など緑豊かな水辺環境	7	26.9%
豊かな農産物と地産地消	7	26.9%
空や星空のきれいさ	6	23.1%
歴史的文化的環境	5	19.2%
物流の利便性の良さ	5	19.2%
地下水など豊かな水資源	4	15.4%
眺望や田園景観	3	11.5%
再生可能エネルギーが豊か	3	11.5%
関連事業所が近在に立地	3	11.5%
多様な動植物の生息環境	2	7.7%
回答者数	26	

問7 事業所での環境保全対策の取組状況について

事業所での省資源・省エネ対策の状況についてたずねています。

(1) 自動車の利用について



(回答数 26)

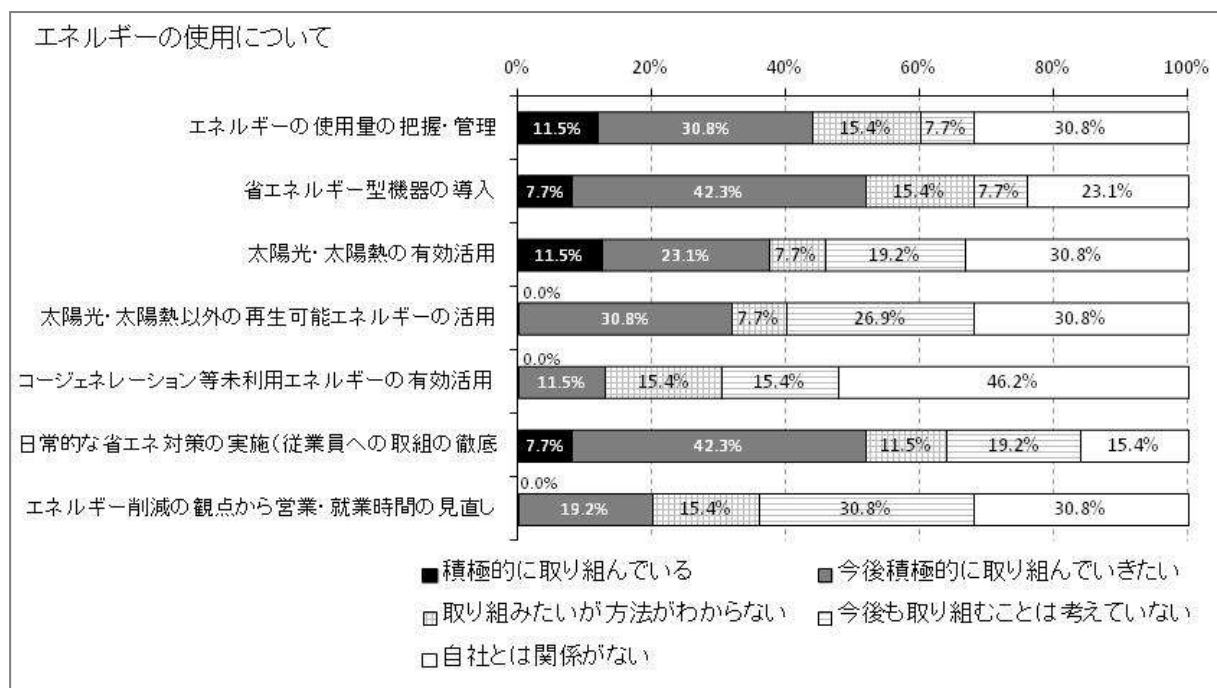
項目	取組状況	積極的に取り組んでいる	今後積極的に取り組んでいきたい	取り組みたいが方法がわからない	今後も取り組むことは考えていない	自社とは関係がない	無回答	合計
①	業務用車輛の低公害車・低燃費車への転換	30.8%	30.8%	3.8%	7.7%	23.1%	3.8%	100.0%
②	積載率改善など物流合理化による業務用車の使用削減	11.5%	34.6%	0.0%	7.7%	42.3%	3.8%	100.0%
③	業務中のアイドリングストップなどエコドライブの徹底	34.6%	34.6%	3.8%	0.0%	23.1%	3.8%	100.0%
④	利用客に車での来店を控えるように呼びかけ	7.7%	0.0%	3.8%	30.8%	53.8%	3.8%	100.0%
⑤	公共交通利用の奨励などマイカー通勤の自粛の呼びかけ	11.5%	7.7%	7.7%	23.1%	46.2%	3.8%	100.0%

自動車利用における省資源・省エネ対策で、「積極的に取り組んでいる」項目としては、「業務中のアイドリングストップなどエコドライブの徹底」が約35%、「業務用車輛の低公害車・低燃費車への転換」が約31%とそれぞれ3割以上の事業所で取り組んでいます。

「今後積極的に取り組んでいきたい」でも、この2項目と「積載率改善など物流合理化による業務用車の使用削減」がそれぞれ3割以上となっています。

反面、「積極的に取り組んでいる」と「今後積極的に取り組んでいきたい」が低い項目としては、「利用客に車での来店を控えるように呼びかけ」と「公共交通利用の奨励などマイカー通勤の自粛の呼びかけ」となっており、これらの項目については「自社とは関係がない」との回答も5割前後と、半数程度の事業所が考えています。

(2) エネルギーの使用について



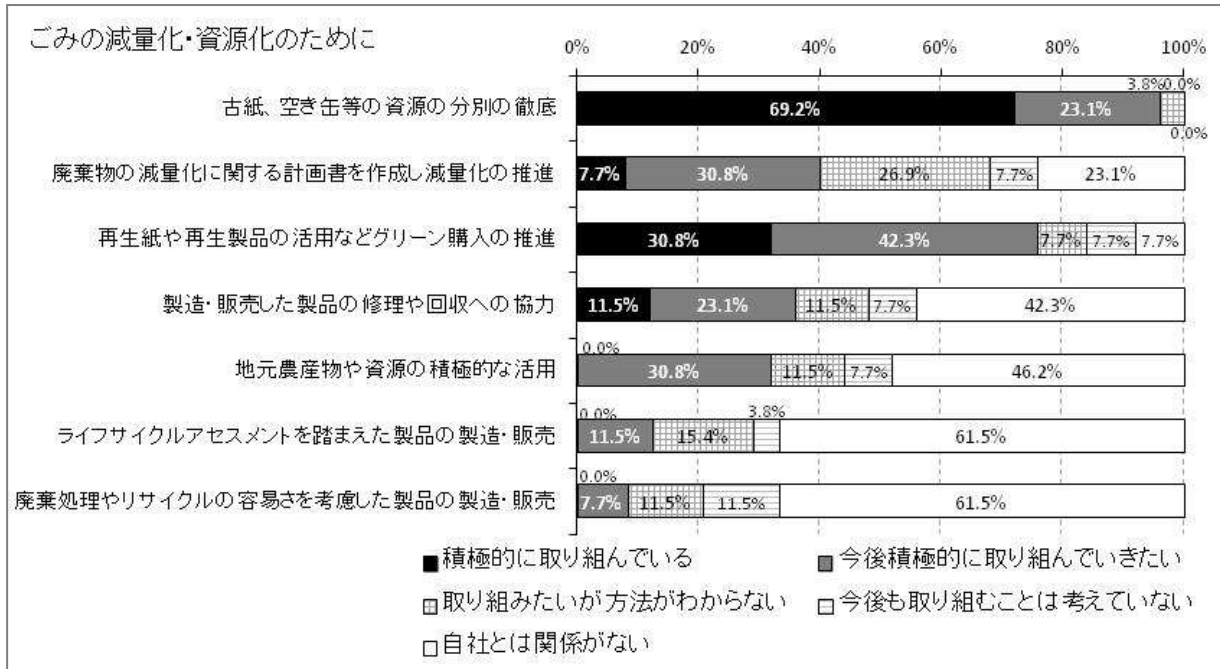
(回答数 26)

項目	取組状況	積極的に取り組んでいる	今後積極的に取り組んでいきたい	取り組みたいが方法がわからない	今後も取り組むことは考えていない	自社とは関係がない	無回答	合計
① エネルギーの使用量の把握・管理		11.5%	30.8%	15.4%	7.7%	30.8%	3.8%	100.0%
② 省エネルギー型機器の導入		7.7%	42.3%	15.4%	7.7%	23.1%	3.8%	100.0%
③ 太陽光・太陽熱の有効活用		11.5%	23.1%	7.7%	19.2%	30.8%	7.7%	100.0%
④ 太陽光・太陽熱以外の再生可能エネルギーの活用		0.0%	30.8%	7.7%	26.9%	30.8%	3.8%	100.0%
⑤ コージェネレーション等未利用エネルギーの有効活用		0.0%	11.5%	15.4%	15.4%	46.2%	11.5%	100.0%
⑥ 日常的な省エネ対策の実施(従業員への取組の徹底)		7.7%	42.3%	11.5%	19.2%	15.4%	3.8%	100.0%
⑦ エネルギー削減の観点から営業・就業時間の見直し		0.0%	19.2%	15.4%	30.8%	30.8%	3.8%	100.0%

事業所での省エネルギーや新エネルギー活用の取組状況として、「積極的に取り組んでいる」項目は、「エネルギーの使用量の把握・管理」と「太陽光・太陽熱の有効活用」がそれぞれ約12%で、回答事業所の約1割程度となっています。

なお、「今後積極的に取り組んでいきたい」では、「省エネルギー型機器の導入」と「日常的な省エネ対策の実施(従業員への取組の徹底)」がそれぞれ約42%と、取組意欲は高いと考えられます。

(3) ごみの減量・資源化について



(回答数 26)

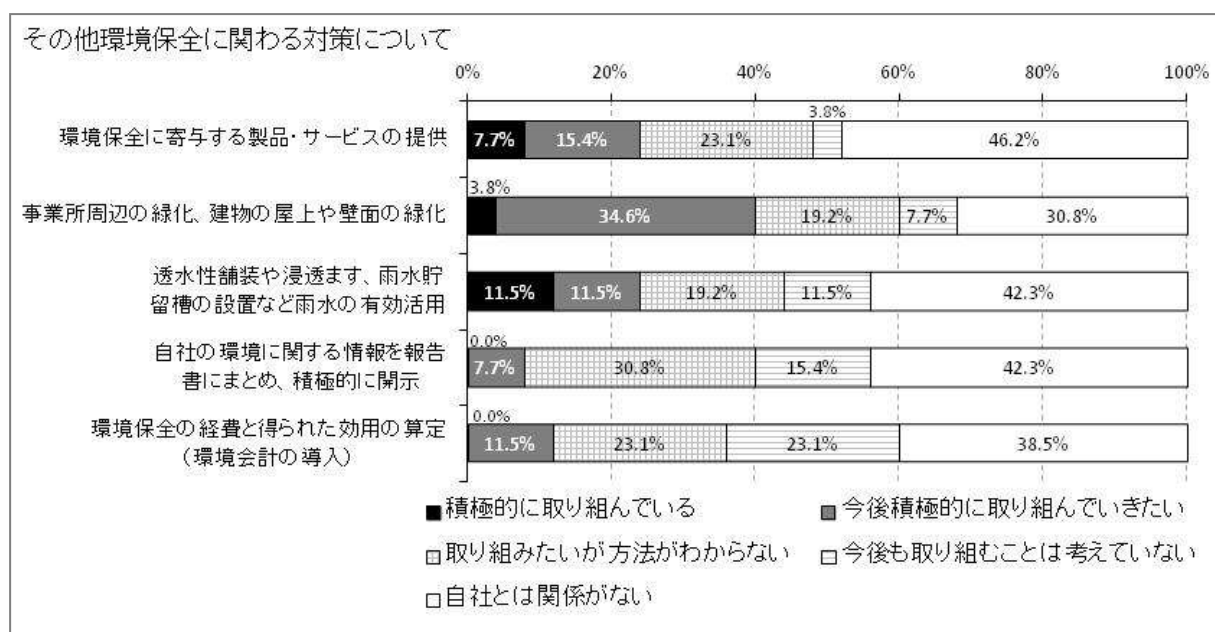
項目	取組状況	積極的に取り組んでいる	今後積極的に取り組んでいきたい	取り組みたいが方法がわからない	今後も取り組みむことは考えていない	自社とは関係がない	無回答	合計
① 古紙、空き缶等の資源の分別の徹底		69.2%	23.1%	3.8%	0.0%	0.0%	3.8%	100.0%
② 廃棄物の減量化に関する計画書を作成し減量化の推進		7.7%	30.8%	26.9%	7.7%	23.1%	3.8%	100.0%
③ 再生紙や再生製品の活用などグリーン購入の推進		30.8%	42.3%	7.7%	7.7%	7.7%	3.8%	100.0%
④ 製造・販売した製品の修理や回収への協力		11.5%	23.1%	11.5%	7.7%	42.3%	3.8%	100.0%
⑤ 地元農産物や資源の積極的な活用		0.0%	30.8%	11.5%	7.7%	46.2%	3.8%	100.0%
⑥ ライフサイクルアセスメントを踏まえた製品の製造・販売		0.0%	11.5%	15.4%	3.8%	61.5%	7.7%	100.0%
⑦ 廃棄処理やリサイクルの容易さを考慮した製品の製造・販売		0.0%	7.7%	11.5%	11.5%	61.5%	7.7%	100.0%

ごみの減量・資源化への取組状況としては、「積極的に取り組んでいる」項目は、「古紙、空き缶等の資源の分別の徹底」で、約7割近くの事業所となっています。次いで「再生紙や再生製品の活用などグリーン購入の推進」が約31%となっています。

「今後積極的に取り組んでいきたい」では、「再生紙や再生製品の活用などグリーン購入の推進」が最も多く、4割以上の事業所が進めたいとしています。

事業所の業種や規模の関係で、「積極的に取り組んでいる」と「今後積極的に取り組んでいきたい」が低い項目は、「ライフサイクルアセスメントを踏まえた製品の製造・販売」と「廃棄処理やリサイクルの容易さを考慮した製品の製造・販売」となっています。

(4) その他環境保全に関わる対策について



(回答数 26)

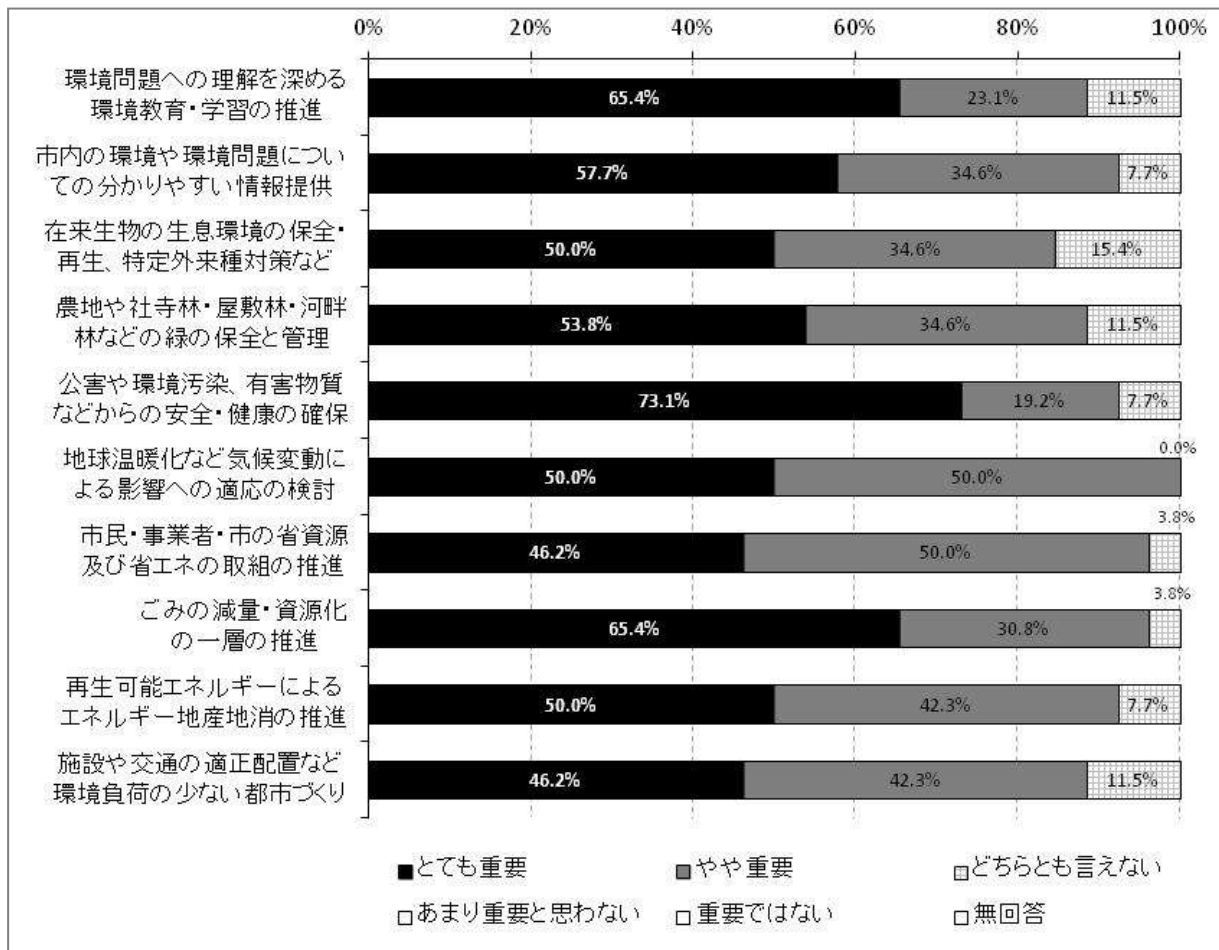
項目	取組状況	積極的に取り組んでいる	今後積極的に取り組んでいきたい	取り組みたいが方法がわからない	今後もし取り組むことは考えていない	自社とは関係がない	無回答	合計
① 環境保全に寄与する製品・サービスの提供		7.7%	15.4%	23.1%	3.8%	46.2%	3.8%	100.0%
② 事業所周辺の緑化、建物の屋上や壁面の緑化		3.8%	34.6%	19.2%	7.7%	30.8%	3.8%	100.0%
③ 透水性舗装や浸透ます、雨水貯留槽の設置など雨水の有効活用		11.5%	11.5%	19.2%	11.5%	42.3%	3.8%	100.0%
④ 自社の環境に関する情報を報告書にまとめ、積極的に開示		0.0%	7.7%	30.8%	15.4%	42.3%	3.8%	100.0%
⑤ 環境保全の経費と得られた効用の算定(環境会計の導入)		0.0%	11.5%	23.1%	23.1%	38.5%	3.8%	100.0%

事業所での環境保全へのその他の取組として、「事業所周辺の緑化、建物の屋上や壁面の緑化」を除く各項目とも「自社とは関係がない」が4割以上となっています。

「積極的に取り組んでいる」項目としては、「透水性舗装や浸透ます、雨水貯留槽の設置など雨水の有効活用」で、1割の事業所が進めているとしています。また、「今後積極的に取り組んでいきたい」では、「事業所周辺の緑化、建物の屋上や壁面の緑化」が約35%と、住宅地の中にある事業所の特徴を反映していると考えられます。

また、「取り組みたいが方法がわからない」では、各項目とも2割以上となっており、特に「自社の環境に関する情報を報告書にまとめ、積極的に開示」が3割以上となっています。

問8 鴻巣市の環境を良くしていく取組について



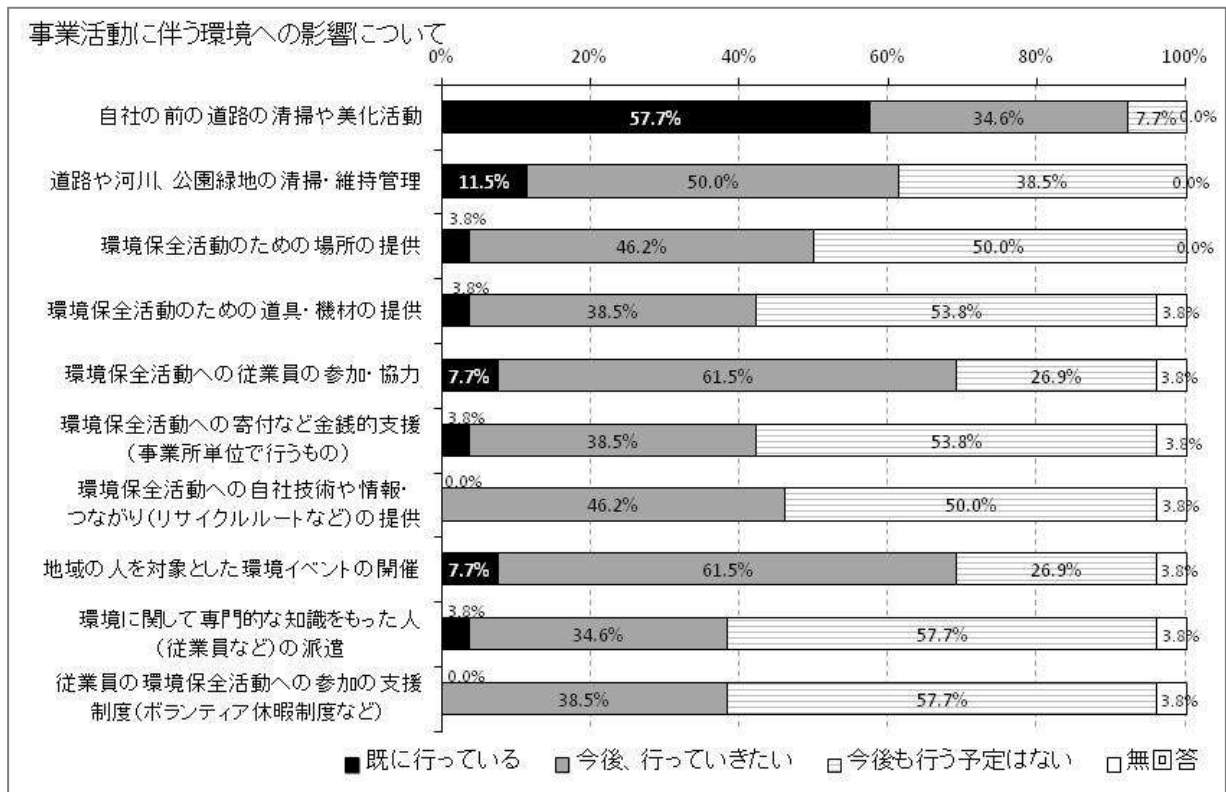
(回答数 26)

項目	重要性	とても重要	やや重要	どちらとも言えない	あまり重要と思わない	重要ではない	無回答	合計
① 環境問題への理解を深める環境教育・学習の推進		65.4%	23.1%	11.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
② 市内の環境や環境問題についての分かりやすい情報提供		57.7%	34.6%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
③ 在来生物の生息環境の保全・再生、特定外来種対策など		50.0%	34.6%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
④ 農地や社寺林・屋敷林・河畔林などの緑の保全と管理		53.8%	34.6%	11.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
⑤ 公害や環境汚染、有害物質などからの安全・健康の確保		73.1%	19.2%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
⑥ 地球温暖化など気候変動による影響への適応の検討		50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
⑦ 市民・事業者・市の省資源及び省エネの取組の推進		46.2%	50.0%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
⑧ ごみの減量・資源化の一層の推進		65.4%	30.8%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
⑨ 再生可能エネルギーによるエネルギー地産地消の推進		50.0%	42.3%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
⑩ 施設や交通の適正配置など環境負荷の少ない都市づくり		46.2%	42.3%	11.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

鴻巣市の環境を良くしていくための取組についてどのように考えているかたずねています。「とても重要」と「やや重要」を合わせた重要の割合では、各項目とも8割以上の事業所が重要としています。また、「地球温暖化など気候変動による影響への適応の検討」では、回答事業所の全部が重要としています。次いで「市民・事業者・市の省資源及び省エネの取組の推進」と「ごみの減量・資源化の一層の推進」となっています。

なお、「とても重要」が最も高かったのは、「公害や環境汚染、有害物質などからの安全・健康の確保」で、7割以上の事業所がとても重要としています。次いで、「環境問題への理解を深める環境教育・学習の推進」と「ごみの減量・資源化の一層の推進」で、それぞれ約65%の事業所で重要としています。

問9 地域の環境保全への貢献や協力について



(回答数 26)

項目	実施状況	既に行っている	今後、行っていきたい	今後も行う予定はない	無回答	合計
① 自社の前の道路の清掃や美化活動		57.7%	34.6%	7.7%	0.0%	100.0%
② 道路や河川、公園緑地の清掃・維持管理		11.5%	50.0%	38.5%	0.0%	100.0%
③ 環境保全活動のための場所の提供		3.8%	46.2%	50.0%	0.0%	100.0%
④ 環境保全活動のための道具・機材の提供		3.8%	38.5%	53.8%	3.8%	100.0%
⑤ 環境保全活動への従業員の参加・協力		7.7%	61.5%	26.9%	3.8%	100.0%
⑥ 環境保全活動への寄付など金銭的支援 (事業所単位で行うもの)		3.8%	38.5%	53.8%	3.8%	100.0%
⑦ 環境保全活動への自社技術や情報・つながり(リサイクルルートなど)の提供		0.0%	46.2%	50.0%	3.8%	100.0%
⑧ 地域の人を対象とした環境イベントの開催		7.7%	61.5%	26.9%	3.8%	100.0%
⑨ 環境に関して専門的な知識をもった人(従業員など)の派遣		3.8%	34.6%	57.7%	3.8%	100.0%
⑩ 従業員の環境保全活動への参加の支援制度(ボランティア休暇制度など)		0.0%	38.5%	57.7%	3.8%	100.0%

地域の環境保全に対して、事業所として、どのような貢献や協力をしているか、あるいはどのようなことが可能かたずねています。

「既に行っている」項目としては、「自社の前の道路の清掃や美化活動」で、6割近くの事業所で行っているとしています。その他の取組は進んでいないとなっています。

「今後、行っていきたい」では、「環境保全活動への従業員の参加・協力」や「地域の人を対象とした環境イベントの開催」への貢献や協力がそれぞれ6割以上となっている他、「道路や河川、公園緑地の清掃・維持管理」が5割と多く、そのほかの項目でも3割以上と、参加意欲のある事業所も見られます。

なお、「自社の前の道路の清掃や美化活動」や「環境保全活動への従業員の参加・協力」や「地域の人を対象とした環境イベントの開催」「道路や河川、公園緑地の清掃・維持管理」を除くその他の項目では、半数以上の事業所が「今後行う予定はない」としています。

事業者自由記載意見の内容

26事業者中19事業者方より自由記載欄に意見等を記載していただきました。その内容を主な内容ごとに示すと次の様になっています。

①環境基本計画等への意見

- 紙面やウェブページなどでの情報発信だけでなく、事業所への個別訪問による説明や、活動に対しての直接的なサポートが必要だと思います。また、弊社のような中小企業は資金面で特に対応するが難しいことがございますので、経済的なことでも援助があれば助かります。

②鴻巣市のイメージに関する意見

- 花の町を活かした環境保全と観光産業振興等策定と推進。
- 日本一川幅へのこいのぼり祭り（環境保全と環境振興）
- 環境イベントと音楽イベントのマッチング。さくまひできステージの継続の他、他のアーティストの呼び込み。SNS 発信。情報拡散。

③自然共生社会（自然、生物、公園）に関する意見

- 堤外ばかりに費用をかけず、堤内の環境計画にも力を入れて欲しい。

④低炭素社会（エネルギー、地球温暖化、地球環境問題）に関する意見

- 自然再生可能エネルギー活用計画策定、支援。地中熱利用、空調・床暖房・農業ハウス省エネ。

⑤循環型社会（廃棄物関連）に関する意見

- 農家の方より、田畑の枯れ草・雑草などを燃やすと警察に通報されて困っていると話をよく聞きますが田畑の燃やせるゴミは土壌改良の為、良いと思いますが環境に問題がありますか？

⑥安全安心(生活環境、災害、環境リスク等)に関する意見

- 家のまわり田・畑のまわり等の排水などの整備をしてもらいたい。汚水の垂れ流し悪臭の原因となる。
- 鴻巣地域は、荒川水系として水が豊富で水質も良く市内等には造り酒屋（酒造メーカー）も数件あり栄えておりました。吹上地区は、名前の通り「水が吹き上げ」て清水が湧いているところもありました。水は人類にとって一番大切な資源であります。水質保全の為に積極的な施策を期待しております。
- 環境の変化（特に異常気象）に対する対応を地球規模で対応して行きたい。

⑧交通・まちづくりに関する意見

- エルミ入口前の三角ポールと棒で自転車を無断駐輪させない様に設置しているのかと思いますが、せっかく建物の入り口がきれいなのに中途半端にみっともないと思います。すぐ横に駐輪場があるにもかかわらず少しかと道路側に置いてしまう。昔の田舎のルールがぬけきれない年配の方々が多いのか、常識を知らないのか。無断駐輪したら撤去し罰金。期日までに取りこない時は廃棄というルールにすればなくなるのではないか。
- 新しいマンションも建つのですから美観的にも行動して下さい。鴻巣より南の地区ではやっていますよ。
- 袋小路の道路整備。大幅の道路だけじゃなく細幅道路にも整備。交通事故の減少にもつながると思います。
- ドコモ入り口前のシルバー人材の方は何の為に立っているのですか？

参考資料（調査票）

1 調査票（市民アンケート）の内容

市民アンケート

環境に関する市民アンケート 調査へのご協力をお願い

～これからの鴻巣市の環境、一緒に考えてみませんか～

本市では、環境保全の方向性を明らかにするとともに、環境行政を総合的かつ計画的に推進するため、平成25年3月に策定した「鴻巣市環境基本計画」の改定準備を進めているところです。

そこで、鴻巣市環境基本条例第10条第3項の規定に基づき、市民の皆様「鴻巣市の環境」に関するご意見やご要望などをお伺いし、計画に反映させるためアンケート調査を実施することにいたしました。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、鴻巣市のより良い環境づくりのため、アンケートの回答にご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成29年7月 鴻巣市長 原口 和久

ご記入にあたってのお願い


- 1 ご回答はできるだけご本人が記入してください。
- 2 **7月28日(金)**までに調査票①、②を同封の返信用封筒でご返送ください。切手はいりません。
- 3 各問について、該当する答を選び、下の例を参考に黒い^{しるし}印をつけてください。薄かったり、外れたり、大きくはみ出ると、機械が正しく読み取れない場合があります。

良い^{しるし}印の例： 黒いボールペンや鉛筆で記入をお願いします。

読み取れず無回答となる^{しるし}印の例： 薄い ドーナツ 小さい 細い バツ 大きなはみ出し

また、その他及び自由記載は、[] 枠からはみ出ないようにご記入ください。

- 4 調査票に記入された内容につきましては、環境行政以外の目的に使用することはありません。

※調査票①の四隅についている右記マーク（QRコード）は、調査票を機械で読み取る際に調査票のページ、質問とマークの位置を識別するコードで、個人を識別するものではありません。  QRコード

- 5 この調査は、住民基本台帳から無作為に選ばせていただいた満18歳以上の市民の方1,000人にお送りしています。
- 6 この調査に関するお問い合わせは、
鴻巣市環境課 環境計画担当 電話 048-541-1281（直通）までお願いします。

参考資料

●主な用語の説明

頁	用語	説明
1	コージェネレーションシステム	内燃機関・外燃機関の排熱を利用して、動力や温熱・冷熱を取り出すことで、総合的なエネルギー効率を高めるエネルギー供給システムの一つです。家庭用では、エネファームと呼ばれる家庭用燃料電池などがあります。
1	ホームエネルギーマネジメントシステム (HEMS)	情報通信技術を用いて、住宅のエネルギー使用量を管理し、最適化するシステムのことです。照明や空調などのエネルギー設備を自動的に監視・制御し、建物内のエネルギー使用状況を一元的に把握、需要予測に基づいて設備機器の制御を行い、エネルギー使用量の最小化を図ります。通称は、「ヘムス」です。
1	燃料電池車 (FCV)	搭載した燃料電池で、水素と酸素を化学反応させて発電し、その電力でモーターを回して走行する車です。走行中は二酸化炭素や排気ガスを出さず、水だけを排出することから「究極のエコカー」とも言われます。別名 FCV (Fuel Cell Vehicle の略) です。
1	PHV車 (プラグインハイブリッド車)	モーターとエンジン両方を搭載し、モーターのみで走行もでき、エンジンを長距離走行や発電用として利用することができ、家庭用コンセントなどの外部電力で充電することが可能な車のことです。電気自動車とハイブリッド車の両方の特性を持ちます。
4	特定外来種	平成 17 年制定「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(外来生物法)により国が指定した外来生物種です。明治時代以降に日本に入り込んだ国外由来の外来種を対象に、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、または被害を及ぼすおそれがある種の中から指定されています。

●主な生物について (調査票① 2 ページ、問 4 の参考)

 <p>クマゼミ</p> <p>写真:「野辺のにぎわい」より</p>	<p>【特徴】</p> <p>黒っぽい体に透明のハネ(翅)を持つ日本最大のゼミ(6~7cm)で、鳴き声は大きく「シャアシャア…」「シャンシャンシャン」と聞こえます。関西以西で普通に見られますが、近年、関東地方でも生息が確認されています。</p>	 <p>タカ類</p> <p>写真:「野辺のにぎわい」より</p>	<p>【特徴】</p> <p>タカ類は、くちばしは鋭く曲がり、足の爪も鋭く、一般に昼行性で、飛翔能力が高く、中小型の動物などを空中や地上で捕らえて食べる里山の猛禽類です。食物連鎖の頂点に位置し、里山の自然の健全さを知る指標ともなっています。</p>
 <p>カブトムシ</p> <p>写真:「自然環境調査情報システム」岡山市より</p>	<p>【特徴】</p> <p>クヌギ、コナラ、ヤナギなどの樹液に集まります。夜行性の昆虫で、オスは頭部に大きな角、胸部に小さな角を持ち、餌場やメスの奪い合いのときに使います。</p>	 <p>ヌマガエル</p> <p>写真:「侵入生物データベース」国立環境研究所より</p>	<p>【特徴】国内移入種</p> <p>3~5cmのカエルで、背中側は小さなぼ状突起が並び灰褐色のまだら模様、腹側はまだら模様がなく白い。オスは「グエツ、グエツ、…」と聞こえる大きな声で鳴きます。沼や田に生息しますが、他のカエルよりも乾燥に強いので、田から離れた場所にもいます。本来、鴻巣市は分布域ではないが、生息が見られます。</p>
 <p>ホタル</p> <p>写真:「自然環境調査情報システム」岡山市より</p>	<p>【特徴】</p> <p>体は黒色で、胸に赤色の部分があります。大きさは1cm前後。夏の夜、おなかから光を放ちます。ゲンジボタルは清流に、ヘイケボタルは水田などの浅い水辺にすんでいます。</p>	 <p>アライグマ</p> <p>写真:「(財)自然環境研究センター」</p> <p>足あとの違い アライグマ タヌキ</p>	<p>【特徴】特定外来種</p> <p>体重 4~10 数 kg、頭胴長 41~60cm、尾長 20~41cm。白色の顔に黒色系のアイマスクをかけたような外見で、タヌキと似ていますが、白いヒゲや 5~10 本の黒いしま模様のある太く長い尾、人の手形のような足あとが特徴です。北アメリカ原産で、ペットとして流通し遺棄され、繁殖が広がっている特定外来種です。</p> <p>写真:「日本の外来種対策-特定外来生物の解説」環境省HPより</p>
 <p>メダカ</p> <p>写真:「自然環境調査情報システム」岡山市より</p>	<p>【特徴】</p> <p>浅い池(ため池など)や小川(用水路など)などにすみ、3cm くらいの大きさになります。上から見ると、背中にうすいすじが見えるのが特徴です。昼間は水面近くを群れて泳ぎます。</p>	 <p>ナガミヒナゲシ</p> <p>写真:「外来植物のリスク評価と蔓延防止策」平成17年度 科学技術振興機構 独立行政法人農研機構が所管研究より</p>	<p>【特徴】要注意外来植物</p> <p>高さ 20~50cm の一年草で、茎先に 3~6cm くらいの赤~朱赤色の 4 弁の花をつけます。原産はヨーロッパ地中海地方で、観賞用に導入され、近年道路端や畑に急速に増加している要注意外来生物(植物)です。</p>
 <p>カワセミ</p> <p>写真:「愛知県の青い鳥」観察より</p>	<p>【特徴】</p> <p>全長 17cm ほどで、背の鮮やかな青色と腹のオレンジ色、長いくちばしが特徴です。河川や湖沼の枝や岩などに止まり、水面に飛び込み魚を捕ったり、水浴びをします。「チーッ」と細く鋭く鳴きます。土の崖の斜面などに穴を掘って繁殖しています。</p>		

環境に関する市民アンケート 調査票①

この調査票①及び調査票②に回答を記入し、返信用封筒に入れてご返送下さい。



問1 あなた自身について、それぞれの当てはまるものを1つだけ選んで、印をつけてください。

- 1) 性別 男性 女性
-
- 2) 年代 18~19歳 20~29歳 30~39歳 40~49歳
 50~59歳 60~69歳 70歳以上
-
- 3) 家族構成 一人暮らし 夫婦のみ 親子2世代(18歳未満の子)
 親子2世代(18歳以上の子) 親子、孫3世代 その他
-
- 4) 居住地域 あなたのお住まいの郵便番号は -
- ※郵便番号が分からない場合は、お送りした封筒でご確認下さい。
-
- 5) 市内での居住歴 1年未満 1~3年未満 3~5年未満 5~10年未満
 10~20年未満 20~30年未満 30年以上
-
- 6) 職業 農業 商工業(自営業) 会社員 公務員・教員
 パート・アルバイト 専業主婦・主夫 学生 無職 その他

問2 家庭での省エネルギーや自然エネルギーを考慮した設備の導入状況についてうかがいます。それぞれの項目で、右の欄から当てはまるものを1つだけ選び、印をつけてください。

	導入している	導入を予定・検討している	将来的には導入したい	将来も導入しない、所有しない	わからない
--	--------	--------------	------------	----------------	-------

- | | | | | | |
|---|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1 太陽光発電 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 2 太陽熱給湯器・温水器 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 3 エネルギー消費効率の良い給湯器(高効率給湯器) | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (エコキュート、エコジョーズ、ハイブリッド給湯器など) | | | | | |
| 4 燃料電池コージェネレーションシステム [®] や蓄電池等.... | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 5 ホームエネルギーマネジメントシステム(HEMS) [®] | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 6 太陽光以外の再生可能エネルギー設備
(温度差発電、蓄熱の活用など) [| | | | | |

◆自家用車として使用している自動車について◆

- | | | | | | |
|--|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 7 クリーンエネルギー自動車(燃料電池車 [®]) | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 8 クリーンエネルギー自動車(電気自動車、PHV車 [®]) ... | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 9 上記7、8以外のエコカー..... | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (ハイブリッド車、低燃費ガソリン車などエコカー減税対象車) | | | | | |



00000001pyb





■ 日常生活での環境に配慮した取組（行動）についておたずねします。

問3 日常生活での環境に配慮した取組について、あなたは、どうしていますか。 次の各取組で、右の欄から当てはまるものを1つだけ選び、印をつけてください。	いつも行っている	今後はいつも行うようにしたい	今後も行わない	わからない、該当しない
--	----------	----------------	---------	-------------

◆省エネへの取組み◆

冷暖房の温度は適正（冷房 28 度、暖房 20 度）に設定している.....	0	0	0	0
家電製品の主電源を切るなど日常生活で節電に気をつけている.....	0	0	0	0
電気・ガス・水道などの使用量のチェックや記録をしている.....	0	0	0	0
掃除機やエアコンのフィルターを定期的に清掃している.....	0	0	0	0
食品や日用品などの買い物には自動車を使わないようにしている....	0	0	0	0
ゴーヤなどで作った緑のカーテンを設置している.....	0	0	0	0

◆水資源を大切に使うために◆

油をそのまま排水口から流さないなど、排水に気をつけている.....	0	0	0	0
風呂の残り湯の利用など日常生活での節水に気をつけている.....	0	0	0	0
雨水貯留槽などを設置し、散水などに活用している.....	0	0	0	0

◆ごみの減量化・資源化のために◆

買物袋などを持ち歩き、レジ袋や過剰な包装は断わっている.....	0	0	0	0
リサイクル製品や詰め替え商品を優先的に購入するようにしている.....	0	0	0	0
分別を徹底し、リサイクル可能なものは資源回収に出している.....	0	0	0	0
リサイクル、リフォーム、修理して使うなど、ものを大切にしている...	0	0	0	0
生ごみを堆肥化するなど有効利用に努めている.....	0	0	0	0
生ごみは水切りをして減量してから出している.....	0	0	0	0
リサイクルショップ、フリーマーケットを利用している.....	0	0	0	0

◆まちの美化のために◆

ごみは市のルール（分別、収集日時など）に従って出している.....	0	0	0	0
家の前の道路や空き地の清掃を行っている.....	0	0	0	0
公園や道路、水辺などの美化活動に参加している.....	0	0	0	0

■ 身のまわり（小学校区ぐらいの範囲）の生き物について

問4 この1年ぐらいの間に、見かけたり、鳴き声を聞いたりした生き物にいくつでも印をつけて下さい。
<input type="checkbox"/> クマゼミ <input type="checkbox"/> カブトムシ <input type="checkbox"/> ホタル <input type="checkbox"/> メダカ <input type="checkbox"/> カワセミ <input type="checkbox"/> タカ類 <input type="checkbox"/> ヤマガエル <input type="checkbox"/> アライグマ <input type="checkbox"/> ナガミヒナゲシ

【参考】身のまわりの生き物について、アンケートのお願いの裏【参考資料】に写真や特徴を示しています。参考にしてください。



00000001p2z



■ 身近な環境の満足度についておたずねします。

問5 あなたは身近な環境（小学校区ぐらいの範囲）にどのくらい満足していますか。それぞれの項目について、右の欄から当てはまるものを1つだけ選び、印をつけてください。		満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
公害関係	1 空気のきれいさ（排気ガス、ばい煙など）	0	0	0	0	0
	2 空気のおい（工場、畜舎などからの悪臭）	0	0	0	0	0
	3 まちの静けさ（騒音、振動など）	0	0	0	0	0
	4 川や水路の水のきれいさ	0	0	0	0	0
自然とのふれあい	5 水辺とのふれあい、親しみやすさ	0	0	0	0	0
	6 緑とのふれあい、親しみやすさ	0	0	0	0	0
	7 生き物（野鳥、昆虫など）とのふれあい	0	0	0	0	0
	8 農業や土とのふれあい	0	0	0	0	0
景観	9 公園や広場の環境、利用しやすさ	0	0	0	0	0
	10 まわりの景色や街並みの美しさ	0	0	0	0	0
	11 まちの清潔さやきれいさ（ごみの散乱など）	0	0	0	0	0
	12 耕作放棄地や空き地の管理状況	0	0	0	0	0
安全性	13 自然災害（水害など）からの安全性	0	0	0	0	0
	14 有害化学物質（大気や水質など）からの安全性	0	0	0	0	0
	15 放射性物質からの安全性	0	0	0	0	0
利便性	16 公共交通（バス、電車）の便利さ	0	0	0	0	0
	17 自転車の利用しやすさ	0	0	0	0	0
	18 食料や日用品などの買い物のしやすさ	0	0	0	0	0

■ 将来の鴻巣市がどのような環境のまちであつたらよいと思いますか。

問6 あなたが特に望まれる姿に当てはまるものを上位5つまで選び、印をつけてください。

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> きれいな空気が保たれているまち | <input type="checkbox"/> 魚などが生息するきれいな川や水辺があるまち |
| <input type="checkbox"/> 農地や屋敷林・河畔林が残る緑豊かなまち | <input type="checkbox"/> 子どもたちが安心して遊べる緑や水辺のあるまち |
| <input type="checkbox"/> 工場や住宅地にも緑や花がいっぱいのまち | <input type="checkbox"/> 鴻巣の自然や文化・景観を守り育てる美しいまち |
| <input type="checkbox"/> 地域の農産物が流通する地産地消のまち | <input type="checkbox"/> 環境教育や環境保全活動が進められているまち |
| <input type="checkbox"/> 地域清掃などコミュニティ活動が盛んなまち | <input type="checkbox"/> 自転車利用や歩いて暮らせる「まち歩き」が楽しいまち |
| <input type="checkbox"/> 不法投棄やポイ捨てのないモラルの高いまち | <input type="checkbox"/> 資源の再利用やリサイクルが進む資源循環のまち |
| <input type="checkbox"/> バスなど公共交通が便利で車に頼らないまち | <input type="checkbox"/> 自然エネルギーなどを利用するクリーンエネルギーのまち |



00000001paT





■ 鴻巣市の環境を良くしていく取組についておたずねします。

問 7 環境を良くしていくための取組についてどのように考えますか。 それぞれの項目について、右の欄から当てはまるものを1つだけ選び、印をつけてください。	とても重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要と思わない	重要ではない
1 環境問題への理解を深める環境教育・学習の推進.....	0	0	0	0	0
2 市内の環境や環境問題についての分かりやすい情報提供	0	0	0	0	0
3 在来生物の生息環境の保全・再生、特定外来種 [※] 対策など ..	0	0	0	0	0
4 農地や社寺林・屋敷林・河畔林などの緑の保全と管理.....	0	0	0	0	0
5 公害や環境汚染、有害物質などからの安全・健康の確保	0	0	0	0	0
6 地球温暖化など気候変動による影響への適応の検討.....	0	0	0	0	0
7 市民・事業者・市の省資源・省エネの取組の推進.....	0	0	0	0	0
8 ごみの減量・資源化の一層の推進	0	0	0	0	0
9 再生可能エネルギーによるエネルギー地産地消の推進	0	0	0	0	0
10 施設や交通の適正配置など環境負荷の少ない都市づくり.....	0	0	0	0	0
11 その他 []					

問 8 あなたは、環境保全に係る活動への参加をどのように考えますか。(印は1つ)

- 積極的に参加していきたい
 機会や時間があれば参加したい
 職場の協力があれば参加したい
 自分にメリット(価値や利点など)があれば参加したい
 参加や協力するつもりはない
 わからない

問 9 どのような環境学習や環境保全活動なら参加したいと思いますか[]内に書いてください。

[]

問 10 あなたは、鴻巣市環境基本計画や市の環境に係る情報などをご存知ですか。(①,②それぞれ1つ)

- ① 鴻巣市環境基本計画**
 内容を知っている、計画書や概要版などを読んだことがある
 名前は聞いたことがある
 知らないが、関心がある
 知らないし、関心がない
② 市HPでの環境課のページ
 よく閲覧し情報を得ている
 必要に応じて閲覧している
 閲覧したことがある
 見たことがない
 パソコンなどが使えない

本調査票は、A3版の両面からなっています。内側の面もご確認下さい。
 また、調査票②の自由記載欄に、本市の環境や環境基本計画についてのご意見などをご記入の上、この調査票①と合わせて、同封の返信用封筒に入れ、7月28日(金)までに返送してください。ご協力ありがとうございました。



00000001pb#



2 調査票（事業者アンケート）の内容

事業者アンケート

環境に関する事業者アンケート 調査へのご協力をお願い

～これからの鴻巣市の環境、一緒に考えてみませんか～

本市では、環境保全の方向性を明らかにするとともに、環境行政を総合的かつ計画的に推進するため、平成25年3月に策定した「鴻巣市環境基本計画」の改定準備を進めているところです。

そこで、鴻巣市環境基本条例第10条第3項の規定に基づき、事業者の皆様へ「鴻巣市の環境」に関するご意見やご要望などをお伺いし、計画に反映させるためアンケート調査を実施することにいたしました。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、鴻巣市のより良い環境づくりのため、アンケートの回答にご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成29年7月 鴻巣市長 原口 和久

ご記入にあたってのお願い


- 1 ご回答はできるだけ貴事業所の環境担当や総務担当部署などの方をお願いいたします。
- 2 **7月28日(金)**までに調査票①、②を同封の返信用封筒でご返送ください。切手はいりません。
- 3 各問について、該当する答を選び、下の例を参考に黒い^{しるし}印をつけてください。薄かったり、外れたり、大きくはみ出ると、機械が正しく読み取れない場合があります。

良い^{しるし}印の例 … ● ● ● ✓ 黒いボールペンや鉛筆で記入をお願いします。

読み取れず無回答となる^{しるし}印の例 … ● ● ● ① ✕ ●
薄い ドーナツ 小さい 細い パツ 大きなはみ出し

また、その他及び自由記載は、[] 枠からはみ出ないようにご記入ください。

- 4 調査票に記入された内容につきましては、環境行政以外の目的に使用することはありません。

※調査票の四隅についている右記マーク（QRコード）は、調査票を機械で読み取る際に調査票のページ、質問とマークの位置を識別するコードで、事業所を識別するものではありません。  QRコード

- 5 この調査は、市内事業者から無作為に選ばせていただいた100事業者へお送りしています。
- 6 この調査に関するお問い合わせは、
鴻巣市環境課 環境計画担当 電話 048-541-1281（直通）までお願いします。

【アンケート調査に係る主な用語の説明】

頁	用語	説明
3	コージェネレーション	<p>内燃機関・外燃機関の排熱を利用して、動力や温熱・冷熱を取り出すことで、総合的なエネルギー効率を高めるエネルギー供給システムの一つです。</p> <p>発電用ガスタービンエンジンなどから排気される蒸気を活用し、冷熱の製造や温水利用、蒸気発電などに活用し、総合的なエネルギー効率を高める設備などがあります。</p>
3	ライフサイクルアセスメント	<p>ライフサイクルアセスメント Life Cycle Assessment（略称：LCA）は、製品に関する資源の採取から製造、使用、廃棄、輸送など全ての段階を通して環境影響を定量的、客観的に評価する手法です。</p>
3	環境会計	<p>最小の費用で最大の環境業績をあげることを目標に、環境業績をあげるのに要した費用を明確にするため、会計として計算する方法です。</p> <p>環境業績が物理的に多種類にわたるため、どの業績に重点を置くかによって費用算出が異なります。このため業績に重み付けを行い、ひとつの共通の指標にする試みも行われています。環境省は「環境会計ガイドライン（2005年版）」を平成17年2月に公表しています。</p>



環境に関する事業者アンケート 調査票①

この調査票①及び調査票②に回答を記入し、返信用封筒に入れてご返送下さい。

(注) 市内にある事業所(複数ある場合は主たるもの)についてお答えください。

問1 貴事業所について、それぞれの当てはまるものを1つだけ選び、印をつけてください。

- 主たる業務 製造業(重工業) 製造業(軽工業) 電気・ガス・熱供給・水道業
 運輸・通信業 建設業・鉱業 不動産業 金融・保険業
 卸売・小売業 宿泊・飲食業 サービス業
 その他 []
-
- 従業者数 1~3人 4~9人 10~29人 30~49人
 50~99人 100~299人 300~499人 500~999人
 1,000人以上
-
- 市内での
営業年数 3年未満 3~5年 6~10年 11~20年
 21~30年 31年以上
-
- 貴事業所の
周辺環境 工場等事業所集積地 沿道商業地
 住宅地(近隣に貴事業所のみ) 住工混在地(貴事業所以外にも近隣に事業所が存在)
 その他 []

問2 貴事業所の環境マネジメントシステムの実施状況について(該当するものはいくつでも)

- ISO14001 認証取得 エコアクション21 を運用
 埼玉県エコアップ認証制度 地球温暖化対策計画制度
 その他環境マネジメント []
 特になし

その他の環境マネジメントについて、上の[]内に記入してください。

問3 貴事業所は、鴻巣市環境基本計画など市の環境保全等に関する情報をご存知ですか。

- ①鴻巣市環境基本計画 内容を知っている(計画書や概要版を読んだことがある)
 名前を聞いたことがある 知らないが、関心がある 知らない、関心がない
- ②鴻巣市地球温暖化対策実行計画 内容を知っている(計画書を読んだことがある)
 名前を聞いたことがある 知らないが、関心がある 知らない、関心がない
- ③市HPでの環境課のページ よく閲覧し、必要な情報を得ている
 閲覧したことがある 業務に関係がない 見たことがない



00000001peG





貴事業所の環境問題に対する考えについておたずねします。

問4 下記の内容について貴事業所はどのように考えていますか。 各内容について、右の欄から当てはまる考えを1つだけ選び、印をつけてください。	そう 思う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	ど ち ら と も 言 え な い	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う は 思 わ な い
① 事業者は環境保全のための取組を行う必要がある.....	0	0	0	0	0
② 省エネ化は企業としてメリットがある.....	0	0	0	0	0
③ 自社から出る環境負荷を積極的に削減していく必要がある....	0	0	0	0	0
④ 環境について定められた法令基準は最低限守る必要がある....	0	0	0	0	0
⑤ 環境に配慮した製品・サービスを積極的に開発することで、 環境に貢献するとともに、経済的発展を遂げたい	0	0	0	0	0
⑥ 環境対策の重要さは認識しているが、経済的に対応できない...	0	0	0	0	0
⑦ 当事業所は、環境対策を行うほどの影響を与えていない.....	0	0	0	0	0

問5 貴事業所の事業活動や提供する製品などを通して環境にどのような影響を与えていると思いますか。 次の影響の大きさについて、右の欄から当てはまる内容を1つだけ選び、印をつけてください。	大 き な 影 響 が あ る	影 響 が あ る	影 響 は あ る が 軽 微 で あ る	自 社 と は 関 係 な い
① 事業活動による排煙、排水、悪臭、騒音、振動などの発生.....	0	0	0	0
② 事業活動において使用・発生する有害化学物質.....	0	0	0	0
③ 事業活動によって発生する廃棄物.....	0	0	0	0
④ 事業活動におけるエネルギー（電気など）の使用量の多さ.....	0	0	0	0
⑤ 事業活動における水の使用量の多さ.....	0	0	0	0
⑥ 製造・販売する商品（容器・梱包材を含む）による廃棄物の発生.....	0	0	0	0
⑦ 事業活動で使用する自動車の走行距離の長さ.....	0	0	0	0
⑧ 貴事業所に訪れるための自動車の台数の多さ.....	0	0	0	0
⑨ 事業所や関連施設の色彩や高さなどによる景観への影響.....	0	0	0	0
⑩ 事業に関連する開発行為による自然環境の喪失や影響.....	0	0	0	0
⑪ その他 []				

問6 貴事業所が事業活動に活用している、あるいは今後活用していきたいと考えている鴻巣市の環境や資源について、次の中から3つまで選び印をつけてください。

- | | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 空や星空のきれいさ | <input type="checkbox"/> 河川などの水質のきれいさ | <input type="checkbox"/> 荒川など緑豊かな水辺環境 |
| <input type="checkbox"/> 多様な動植物の生息環境 | <input type="checkbox"/> 眺望や田園景観 | <input type="checkbox"/> 地下水など豊かな水資源 |
| <input type="checkbox"/> 豊かな農産物と地産地消 | <input type="checkbox"/> 歴史的文化的環境 | <input type="checkbox"/> 平坦な地形や自然災害の少なさ |
| <input type="checkbox"/> 再生可能エネルギーが豊か | <input type="checkbox"/> 物流の利便性の良さ | <input type="checkbox"/> 関連事業所が近在に立地 |



00000001pf6





貴事業所での環境保全対策の取組状況についておたずねします。

問7 貴事業所での省資源・省エネ対策の状況について、それぞれの項目で、右の欄から当てはまるものを1つだけ選び、印をつけてください。	積極的に取り組んでいる	今後積極的に取り組んでいきたい	取り組みたい方法がわからない	今後とも取り組むことは考えていない	自社とは関係がない
(1) 自動車の利用について					
① 業務用車両の低公害車・低燃費車への転換	0	0	0	0	0
② 積載率改善など物流合理化による業務用車の使用削減	0	0	0	0	0
③ 業務中のアイドリングストップなどエコドライブの徹底	0	0	0	0	0
④ 利用客に車での来店を控えるように呼びかけ	0	0	0	0	0
⑤ 公共交通利用の奨励などマイカー通勤の自粛の呼びかけ	0	0	0	0	0
(2) エネルギーの使用について					
① エネルギーの使用量の把握・管理	0	0	0	0	0
② 省エネルギー型機器の導入	0	0	0	0	0
③ 太陽光・太陽熱の有効活用	0	0	0	0	0
④ 太陽光・太陽熱以外の再生可能エネルギーの活用	0	0	0	0	0
⑤ コージェネレーション®等未利用エネルギーの有効活用	0	0	0	0	0
⑥ 日常的な省エネ対策の実施（従業員への取組の徹底）	0	0	0	0	0
⑦ エネルギー削減の観点から営業・就業時間の見直し	0	0	0	0	0
(3) ごみの減量・資源化について					
① 古紙、空き缶等の資源の分別の徹底	0	0	0	0	0
② 廃棄物の減量化に関する計画書を作成し減量化の推進	0	0	0	0	0
③ 再生紙や再生製品の活用などグリーン購入の推進	0	0	0	0	0
④ 製造・販売した製品の修理や回収への協力	0	0	0	0	0
⑤ 地元農産物や資源の積極的な活用	0	0	0	0	0
⑥ ライフサイクルアセスメント®を踏まえた製品の製造・販売	0	0	0	0	0
⑦ 廃棄処理やりサイクルの容易さを考慮した製品の製造・販売	0	0	0	0	0
(4) その他環境保全に関わる対策について					
① 環境保全に寄与する製品・サービスの提供	0	0	0	0	0
② 事業所周辺の緑化、建物の屋上や壁面の緑化	0	0	0	0	0
③ 透水性舗装や浸透ます、雨水貯留槽の設置など雨水の有効活用	0	0	0	0	0
④ 自社の環境に関する情報を報告書にまとめ、積極的に開示	0	0	0	0	0
⑤ 環境保全の経費と得られた効用の算定（環境会計®の導入）	0	0	0	0	0



00000001pg0





■ 鴻巣市の環境を良くしていく取組についておたずねします。

問8 環境を良くしていくための取組についてどのように考えますか。 それぞれの項目について、右の欄から当てはまるものを1つだけ選び、印をつけてください。	とても重要	やや重要	どちらとも言えない	あまり重要と思わない	重要ではない
① 環境問題への理解を深める環境教育・学習の推進.....	0	0	0	0	0
② 市内の環境や環境問題についての分かりやすい情報提供.....	0	0	0	0	0
③ 在来生物の生息環境の保全・再生、特定外来種対策など.....	0	0	0	0	0
④ 農地や社寺林・屋敷林・河畔林などの緑の保全と管理.....	0	0	0	0	0
⑤ 公害や環境汚染、有害物質などからの安全・健康の確保.....	0	0	0	0	0
⑥ 地球温暖化など気候変動による影響への適応への検討.....	0	0	0	0	0
⑦ 市民・事業者・市の省資源及び省エネの取組の推進.....	0	0	0	0	0
⑧ ごみの減量・資源化の一層の推進.....	0	0	0	0	0
⑨ 再生可能エネルギーによるエネルギー地産地消の推進.....	0	0	0	0	0
⑩ 施設や交通の適正配置など環境負荷の少ない都市づくり.....	0	0	0	0	0
⑪ その他 []					

■ 地域の環境保全への貢献や協力についておたずねします。

問9 地域の環境保全に対して、貴事業所はどのような貢献や協力をされていますか、あるいはどのようなことが可能ですか。 それぞれの項目について、右の欄から当てはまるものを1つだけ選び、印をつけてください。	既に行っている	今後、行っていきたい	今後も行わない
① 自社の前の道路の清掃や美化活動.....	0	0	0
② 道路や河川、公園緑地の清掃・維持管理.....	0	0	0
③ 環境保全活動のための場所の提供.....	0	0	0
④ 環境保全活動のための道具・機材の提供.....	0	0	0
⑤ 環境保全活動への従業員の参加・協力.....	0	0	0
⑥ 環境保全活動への寄付など金銭的支援（事業所単位で行うもの）.....	0	0	0
⑦ 環境保全活動への自社技術や情報・つながり（リサイクルルートなど）の提供.....	0	0	0
⑧ 地域の人を対象とした環境イベントの開催.....	0	0	0
⑨ 環境に関して専門的な知識をもった人（従業員など）の派遣.....	0	0	0
⑩ 従業員の環境保全活動への参加の支援制度（ボランティア休暇制度など）.....	0	0	0
⑪ その他 []			

この調査票①は、A3版両面からなっています。内側の面もご確認下さい。

また、調査票②の自由記載欄に、本市の環境や環境基本計画についてのご意見などをご記入の上、この調査票①と合わせて、同封の返信用封筒に入れ、7月28日（金）までに返送してください。ご協力ありがとうございました。



00000001ph1



